

# ICU

## College of Liberal Arts

Division of Arts and Sciences

# 2026

Guidebook for Prospective Students



## INDEX

### 003 巻頭特集「対話が生まれる森」

- 005 ー 対話に参加する
- 007 ー 対話でカラを破る
- 009 ー 対話を受け継ぐ
- 011 ー 対話 が世界を変える
- 013 数字で見る成長の手応え

### 015 ICUの教育の特長

リベラルアーツ教育の本質を感じてください。

- 017 自分だけの4年間の学びをデザインする
- 019 世界に通用する教育環境で自分を伸ばす
- 021 ICUの語学教育 バイリンガリズム／複言語主義
- 023 ELA(リベラルアーツ英語プログラム)
- 027 JLP(日本語教育プログラム)
- 029 メジャー制
- 033 学問へのいざない(教員メッセージ)  
人文科学／社会科学／自然科学／学際分野
- 037 一般教育科目  
行動するリベラルアーツ「環境研究」／必修科目
- 045 卒業研究

### 047 学びをデザインする

特徴的な学びの制度や授業科目、学修支援などを紹介します。

- 049 自分だけの、主体的なアカデミックプランニングのために
- 051 リベラルアーツを通して(在学学生インタビュー)
- 055 “私が自分の道を決めるまで” 学びのケーススタディ

### 059 学びの拡がり

留学制度や5年プログラム、大学院などについて紹介します。

- 061 留学・海外体験  
ICUでの留学ステップ／留学に向けた準備  
ICUの留学プログラム／派遣先大学一覧  
留学体験者の声／その他の国際交流
- 067 メジャーと組み合わせて学ぶ  
「行動するリベラルアーツ」としての実践的科目  
サービス・ラーニング／教職課程／学芸員課程／  
日本語教員養成プログラム
- 070 他大学との連携
- 071 5年プログラム／MIS Accelerated Entry Program
- 075 大学院

### 077 進路支援

学生一人ひとりを尊重するキャリアサポートを紹介します。

- 079 進路支援  
卒業生からのメッセージ／進路選択と支援の特長／  
進路支援行事・進路データ

### 087 キャンパスライフ

充実した学生生活が送れるよう、さまざまな面でサポートします。

- 089 施設紹介／学生寮／クラブ＆サークル／奨学金・学費

### 099 入学者選抜概要

求める学生像、主な入学者選抜制度の概要、学生の受験体験談をお届けします。

- 101 主な入学者選抜制度
- 114 私の受験体験
- 117 ICUの歴史
- 119 ICUのリベラルアーツ教育を体験する(高大接続プログラム紹介)
- 121 オープンキャンパス・その他イベント・進学相談会



## リベラルアーツは、多様な知の集合体 混迷する時代に真価を発揮します

ICUは、1953年の献学（建学）以来、一貫して本物のリベラルアーツ教育を実践してきました。

リベラルアーツは、多様な知の集合体です。ICUには、人文科学・社会科学・自然科学・そして学際的領域をカバーする31のメジャー（専修分野）があります。学生はリベラルアーツの学びを通じて、多様な知のネットワークを自分の中に構築すると同時に、それを社会の中につくり出す能力を身に付けます。

よく文理融合といわれますが、文と理に二分して融合させるだけでは組み合わせは一つしかありません。ICUでは、31のさまざまな分野を自分の中で自由に組み合わせることができます。その基盤にあるのはScience。「サイエンス」は理工系の分野を指すことが一般的なのですが、その語源（ラテン語のscio、(I know)）に遡れば、文理の別なく、自分にとって、あるいは世界において未知のものを知ること、知識を意味しています。理論とエビデンスに基づいて人間と世界を理解しようとする情熱。その情熱がかたちとなるように、リベラルアーツはアートを大切にします。まだ語られていないもの、気付かれていないものを認識可能な存在へと変形させるアート（技術・芸術・学術）。ICUの、教養学部アーツ・サイエンス学科、という名称にその思いが込められています。

Scienceの実践のなかで不可欠なものはモラル（人間の内面、道徳、倫理）です。自然環境と開発、AIと人間、戦争と和解といった現代文明が直面している課題の解決に取り組むときに、モラルが欠如しては行き詰まってしまいます。ICUはキリスト教主義をそのモラルの基盤に置いています。

日本や世界の各地から集うICUの学生や教員は、日英バイリンガルの言語環境のもと、互いのバックグラウンドを理解し合いながら、個人の意見をしっかり持ち、対等な一人の人間として、自由に議論します。キャンパスには対話と多様性があふれています。また、自分と他者をより深く理解するための批判的思考が実践されています。

分断や対立を深めているように見える21世紀の世界で、私たちは、よりよく生きるために、そして持続可能な開発を通じてよりよい世界をつくるために必要な文化や技術や環境を、確かな人間的なつながりの中で共有し、共生していく道を探らなくてはなりません。

ICUのリベラルアーツはその探求と実現を支える学びです。

### Profile

1959年宮城県生まれ。東京大学大学院人文科学研究科仏語仏文学専攻修士課程を修了(M.A.)、同博士課程を満期退学。パリ第7大学テキスト・資料科学科第三課程を修了(DEA)。東京大学助手を務めた後、1996年に人文科学科助教授としてICUに着任し、2001年から准教授、2007年からは教授を務めている。学長就任までにアドミッションズ・センター長、教養学部長を歴任。専門分野はフランス文学、演劇。多くの舞台の戯曲翻訳を手がけている。第十五回湯浅芳子賞（翻訳部門）受賞。フランス共和国から教育功労章オフィシエ級（Officier de l'Ordre des Palmes académiques）を受章。

Professor Shoichiro Iwakiri was born in 1959 in Japan. He acquired his M.A. in literature from the University of Tokyo Graduate School, and DEA from the Université Paris 7. He started teaching at ICU as assistant professor in 1996 and became professor in 2007. Prior to becoming President in 2020, he was Director of the Admissions Center and Dean of the College of Liberal Arts. His specialty is modern and contemporary French poetry and drama. He has translated more than 20 French classic and contemporary plays, and was awarded the Yuasa Yoshiko prize 2008 for his translation. He was named Officier de l'Ordre des Palmes académiques by the French Republic.



岩切 正一郎  
国際基督教大学・学長  
IWAKIRI, Shoichiro  
President, ICU

# Welcome to The College of Liberal Arts

## Division of Arts and Sciences

教養学部 アーツ・サイエンス学科へようこそ

## ICUは、一学部一学科制のリベラルアーツ・カレッジです。

国際基督教大学（International Christian University）では、すべての学生が教養学部アーツ・サイエンス学科に入学します。

日本で最初に生まれたリベラルアーツ・カレッジとして、  
学問の横断的な基礎力と、社会に貢献できる資質と能力を養い、責任ある地球市民を育てます。

リベラルアーツとは、あなたが手に入れる知識の何かではありません。

「新しい知の世界」に触れ、問い、考え、他者を発見していくなかで、あなた自身が成長し、自らを解放し、変貌することです。

生涯を通じて学び続ける姿勢を身に付けることは、あなたの人生の可能性を大きく広げる原動力となるでしょう。

このわくわくする体験を与えてくれるのが、ICUのリベラルアーツなのです。



## 『アーツ・サイエンス学科』に込められた想い

### Sciences

語源はラテン語のscio (I know)。文系・理系を問わず未知のものを探求し発見してゆく行為としての「Science」です。



### Arts

語源はラテン語のars。発見した新しいもの、新しいことを、他者と共有できるかたちにするスキル。



# 対話

Critical Thinking

## が生まれる森

「対話」に参加する  
「対話」でカウを破る  
「対話」を受け継ぐ  
「対話」が世界を変える

その森には、異なる背景・異なる価値観を持った人々が集まります。  
日本全国だけでなく世界中から学生が集い、  
教職員含め、国籍も経歴も千差万別です。  
ダイバーシティが高いコミュニティでは、違っていることが当然ですから、  
安易な「わかり合い」ではなく、「個の尊重」と「他者の尊重」が生まれます。  
一方で、好奇心が強く、学問に真剣に取り組むという  
「共通の姿勢と意識」は、ゆるやかな連帯感を生み出し、  
「安心して自分の意見を出し合える環境」＝心理的安全性を生み出します。  
学生同士で激論を交わしているかと思えば、  
さらりと親密な関係に戻っている。  
そんなシーンも日常です。  
相互に問いや学びを深め、自己と向き合う時間は、得がたい財産となります。  
こうした「対話」こそ、リベラルアーツを育む土壌にほかなりません。  
ようこそICUという対話の森へ。  
一歩一歩、足を踏み入れていきましょう。

### ICU三鷹キャンパスの森

ICUのキャンパスは環境省主導の「自然共生サイト」の認定を取得（2023年）し、生物多様性の保全を進めています。キャンパスの広さは約62万㎡（東京ドーム約13個分）。隣接する東京都立野川公園と一体となって武蔵野ならではの自然環境を形成しています。この森は「環境アセスメント実習」「生物学野外実習」「縄文遺跡の発掘」など、さまざまな授業にも活用されるほか、農場の復活、養蜂、わさび田づくりなど、学生や卒業生たちによる数々の実践的プロジェクトの舞台ともなり、日常とはひと味異なる「対話」の機会も生み出しています。



# 対話 Critical Thinking に参加する

対話とは、日常のおしゃべりやディベートではありません。

あるテーマや問いに対して、複数の人間が持論や知識をもとに語り合い、他者の意見や視点を参照し、一人ではたどり着けない高みに達する、そんな知の営みが対話です。簡単には答えが得られない問いも生まれます。たとえ答えがない対話でも、互いの成長にとって大きな意味を持ちます。

難しいものを難しいまま受け入れるのも、クリティカル・シンキングを基盤とするリベラルアーツの学びです。

とはいえ、身構える必要はありません。

自然に対話に参加していける、ICUにはそんな環境があります。

## ICU KEYWORD

### 対話型の授業、少人数制と多様性が クリティカル・シンキングを育み、 「対話」を加速する

ICUでは献学(開学)以来「少人数制こそがリベラルアーツ教育実現のための必須条件」であると考え、この信念を貫いてきました。

学生数が数万人を超える大きな大学もある一方、ICUの学生数は2,944人。学生たちは63カ国・地域から集まり、少人数制×多様性という、ICUの唯一無二の環境を生み出しています(2024年10月1日現在)。

そして、学びの中心にはいつも「対話」があります。どの授業でも、教員との対話、学生同士での対話が重視されます。同じクラスを選択する仲間は、国籍や学年、専攻が異なる人も多く、自分とは違った意見や異なる価値観に触れ、ものごとを多角的に捉えながら学んでいきます。

また、授業後に提出するコメントシートは、教員とのより深い対話にもつながります。さらに各教員が設定するオフィスアワー、学生一人ひとりへの助言を担当するアドヴァイザー制度なども、対話のある学びを支えます。

授業時間以外でも、キャンパス内のさまざまな場所で多彩な対話が繰り広げられています。学内での寮生活も、日常で多様性を実感できるコミュニティであり、対話にあふれています。

常に根源的に問い、他者の意見を尊重し、自分を客観視しながら、いつしか新たな対話を楽しめる新鮮な自分に変わっていくはずです。

#### 教員数と学生数の比率

1:17

学生一人ひとりと向き合い、各人の個性や能力を伸ばすことができる少人数教育は、リベラルアーツ教育実現のための必須条件です。 ※2024年10月1日現在

#### 学生数(教養学部)

2,944人

学生数が多く学部別に学びの場が異なるような大学と比べ、ゆるやかな連帯感と個の尊重が共存したコミュニティが生まれています。 ※2024年10月1日現在

#### 学生の出身国・地域数

63カ国・地域

多様な教育背景を持つ学生が共に学ぶ、真の多様性に満ちたICUのキャンパスは、新たな心の眼を開き、国際社会において信頼される人＝「地球市民」の素養を養います。 ※2024年10月1日現在

#### 学内の学生寮収容定員

全学生の  
約3人に1人

学内の学部生用の寮(9棟:合計定員約900人)では、全学生の約3割が、先輩・後輩・留学生たちと共同生活を体験しています。



# 対話 Critical Thinking でカラを破る

知りたいことはスマホで検索し、答がわかったつもりになる。  
フェイクニュース、生成AIによる情報があふれ、つい惑わされる。  
また、極力、人との言い争いを避ける — それが現代の日本です。  
見方を変えると、問いも議論も薄められた状態です。  
そんな中で、知らず知らずのうちに多くの「常識」や「当たり前」という既成概念が身に付いています。  
こんな不要なカラをまとったままでは、  
世界をまっすぐ見つめ直すことも、価値ある対話も望めません。  
これらを打ち破るためにICUが大事にするのが、  
クリティカル・シンキング。ICUを語るうえで欠かせない思考法です。

## ICU KEYWORD

### クリティカル・シンキングと バイリンガリズムという 一生の財産

異なる背景や価値観を持つ仲間や教員と対話するには、「クリティカル・シンキング（批判的思考）」が欠かせません。これは否定的という意味ではありません。情報を表面的に鵜呑みにせず、常識をも疑い根本的に問い直す。その結果、肯定することもクリティカル・シンキングです。

ICUではどの授業でも（授業後も）、活発な対話が繰り広げられ、異なる意見でも尊重し合いながら対話は進みます。その中で固定観念に縛られていた自分に気付いたり、教員からの問いかけに目から鱗が落ちたり。こうして思考は思い込みから解放され、考える喜びや新たな創造性もたらされます。また、学びの内容を各自が精査することは、充実した授業づくりへと生かされていきます。

このクリティカル・シンキングを最初に磨くのが「リベラルアーツ英語プログラム（ELA）」です。ELAでは多彩な題材を活用して英語運用能力を高めますが、その道のりで、文献を正確に読んで意味と論理を把握し、調べ、議論し、評価して自らの言葉で文章にまとめるなど、深く多角的に考えます。しかも、英語で…。その結果、日英両方の言語でものごとを相対化し、よりクリティカルに理解できるようになる。この「クリティカル・シンキング」と「バイリンガリズム」の徹底は、ICUならではの。自分の人生を知的に切り拓く、一生の財産となるでしょう。

#### 批判的、分析的に考える能力が向上したとを感じる学生

95.9%

ICUでは学修・教育センター（CTL）により学生の意識調査を実施。1年次終了時点でクリティカル・シンキングに関して多くの学生が成果を実感しています。

#### 授業づくりへの参加

100%

ICUの授業は、学生と教員の対話が必要。授業への意見や質問を書き込む「コメントシート」などを通して、学生と教員が共に授業をつくり上げていきます。

#### 外国籍教員比率

38.6%

教員にも多様性を求めるため、専任教員採用は国際公募が基本。外国籍教員比率は世界的にも高い水準。日本人教員も約9割が海外での教育・研究経験者です。

#### シラバスの英語率

65.8%

外国籍学生や帰国生など日本語能力がまだ十分でない学生が履修計画を立てるうえで参考にできるよう、日本語開講科目であっても英語のシラバスを公開している科目が多くあります。



# 対話 Critical Thinking を受け継ぐ

ICUの献学は、1953年。戦後の世界平和を希求する北米と日本の人々の寄付により、日本のリベラルアーツ教育を先駆ける「明日の大学」として誕生しました。七十余年前のこの誕生当初から、コアの部分は変わりません。対話の中で問いを発すること、多角的にものごとを分析し批判的に見つめ直すこと。そして、「社会で自分を生かし、世界に対して働きかけることのできる地球市民」となるべく、意志と素養を磨くこと。ICUのアイデンティティです。今日もこのバトンは綿々と次代に受け継がれています。



## ICU KEYWORD

### 常に対話し続ける「明日の大学」として

世界平和の希求という理念をどのように実現していくのか。ICUの1953年の献学までには長い道のりがあり、多くの対話が交わされました(▶p.117)。そうして育まれた精神は今も、ICUの特長となっています。

《以下参考：第1期生が見た1953年の大学入学案内より。一本書の特色一》

1 本学は全く新たにして何らの先例、伝統、制度、因習等に囚われることなくその使命を探究し開拓する自由を有する。その教育方針は、今日の時代を光輝あらしめている過去の遺産のすべてを忌憚なく活用し、明日の世界の要望に応えんとするものである。

2 その国際的な性格。本学は異った国籍、人種、文化等の価値を認め乍ら同時に普遍的な全人類の立場に於て協調融和している。本学の教職員の半数は世界の諸国から招聘せられた優れた学者、教育家である。学内に於ては日英両語を常用語とし、大学の門戸は人種、国籍、宗教、性の差別なく全世界の青年学徒に開放されている。

3 本学教職員の選任及び教育計画の編成は一貫して学問の自由、基本的人権、個人の人格の完成とその価値に対する尊敬等の淵源をなす民主主義と基督教精神によって決定される。かかる観点に立つ本学は、知識又は技能を教育の唯一、又は究極の目開とは認めない。知識技能を用いるその目的こそ最高の意義を有するものだからである。

4 人間観、世界観、或は真理観に於て基督者の信念の上に立脚している。しかし言う迄も無く、本学は信教の自由を置んじ、学生に対し強いて改宗等を迫るものではないが、基督の精神と教訓とに調和しうる生活に入ることを期待する。学内に於て、学生、教職員及びその家族と共に営む民主的にして自由な、その日その日の生活は、やがて健全な思想と健全な生活様式の発展に資するよう意図されたものであり、かくして本学は、日本が将来、一層民主的な進歩を遂げる上に於て、独自の役割を積極的に担わんと願うものである。

#### 対話のための動線



T館(トロイヤー記念アーツ・サイエンス館)は、対話を重視するICUならではの開放的な動線が設計されています。行き交う教職員と学生が自然に出会い、くつろぎ、対話できる環境。四季折々の美しさも味わえます。

#### 献学以来の卒業生数

約 **30,000** 人

1953年の献学以来、ICUのリベラルアーツ教育で巣立っていった卒業生は、約3万人。ICUで培った思考法やスタイルを社会に生かし、あらゆる垣根を越えて活躍しています。



# 対話 Critical Thinking が世界を変える

ICU出身のテレビ局アナウンサー 狩野恵里さんとの対話。

AIがどんなに進んでも、体温のある「対話」は人間同士をつなぐ。

またクリティカル・シンキングこそが、これからの社会と個人に不可欠な素養となる一。

複数の言語を学ぶと、文化の違いが見えてくる。それが楽しい。

**生駒学部長（以下学部長）** 狩野さんはICUの語学科（当時）卒ですが、その道を選んだのはなぜですか？

**狩野** 私は小学校6年生から5年間、家族とアメリカに住んでいましたが、最初に英語の壁がありました。クラスで自己主張もしない透明人間状態で本当につらかった。ところがスペイン語の授業が始まると、皆が同じゼロからのスタートです。私にとっては3つ目の言語ですが、実はその方がすぐ頭に入るようで、頑張っていたら「スペイン語が少しできる恵里」と、初めて形容詞がついたのです。そこで自信が持てて、英語も次第に話せるようになって…と、好循環が始まりました。そんな経緯から「言葉」が大好きになったのです。また「これは日本語で何と言うの？」と

聞かれることが増え、日本語にも改めて興味を持つようになりました。語彙だけでなく、英語と日本語の違いやコミュニケーション方法の違いにも気付き、学ぶのがとても楽しくなっていました。そういう実感があって「言語が学べる大学」「自由な大学」を目指して、ICUに入学したわけです。

**学部長** なるほど。そして今はテレビ局のアナウンサーですから、語学とか言葉を使って何かコミュニケーションするというのが好きだったのでしょうか。

身に付けたのは、語学プラスクリティカル・シンキング

**学部長** ICUの学びで今も役立っていることはどんなことでしょうか。

**狩野** やっぱりクリティカル・シンキングですね。英語のELPの授業（現在のELA▶p.23）ではもう最初から「Be critical!」「Critical

thinking!」と毎日言われていたのが印象に残っています。だから初めは、批判をすればいいのかと勘違いして…。

**学部長** 和訳の「批判的」と、クリティカル・シンキングはニュアンスが違いますよね。学生によっては、先生が言うことの正反対の意見をとりあえず言ってみる人もいます。そんなときは「あなたはなぜそう思うの?」と、問いを返します。批判のための批判ではなく、別の何かを生み出すための建設的な批判をしてもらいたいからです。最初はその違いがつかみきれないようですが、3～4年生にもなると、自分がなぜそう考えるのか自ら探ったり、自分の考え方の癖にも気が付き始めます。そうすると、ほかの学生の意見を聞いてすぐに畳みかけるように批判することはなくなっていきます。ただ言葉を戦わせる対話ではなくて、まずはよく聞き「なるほどね」と一回落とし込む。そして「こうも考えられるかな」と、すごく

建設的な意見の出し方ができるようになります。実はこういう成長が、ICUの対話の効用であり、教育の醍醐味かもしれません。

心地よいだけが「対話」ではないでも、それがとても大切

**学部長** 何かを深く考えていくときには、他者との対話が一番大事だと私は思っているのですが、その他者とは、自分と意見や立場が違う人や出自が違う人だと思うのです。そういう人たちとの対話って、実は気持ちよくないんですよ。ゴツゴツするというか。

**狩野** それはポイントですね。クリティカルに考える人同士なら、いつも心地よいわけがないですね。

**学部長** やっぱり「えっ!」「なんでそんなふうに考えるの?」と驚くような他者と対話することが大事だと実感しています。自分の考え方の歪みもわかるし、自分が見えていない点、相手がその意見を言う事情みたいなものもわかってくる。対話はゴツゴツしていても、相互理解が深まりますよね。一方で、自分と同じような意見を持つ人とはばかり話しても、あまり発展性はありません。SNSの配信元のターゲティング機能によって「この人にはこの情報を」と、自動的に偏った情報ばかりが送られてくる現状も、このエコーチェンバー（自分と同じ意見が反響しているだけの環境）で、たとえ間違った方向に進んでも気付かない…。ICUでは教室でも教室外でもたくさんの対話がありますから、それは本当に大事な環境だと思います。

メディアが大きく変わる時代個人の在り方も問われる

**狩野** 今は、人によってテレビやラジオ、新聞、インターネット、SNSなど、日常の情報の入手先が多様多様です。中でもSNSは、結果的に意図しない情報の波に連れていかれることがありますから、やっぱり「距離感」がすごく大事だと感じています。

**学部長** そうですね。生成AIの発展で、巧妙なフェイク情報もあります。また、悪意がなくてもAI翻訳やAIによる要約など、無機質とも感じられる情報が増えてきているのも、違和感があって気になります。例えば世界のことについて、私は現地の生の情報、生きた情報が知りたい。それも欧米圏のニュースだけでなく、複数の文化圏のニュースを受け取って考えたい。いずれにしても、受け手のクリティカル・シンキングが問われる時代になった、ということだと実感しています。

**狩野** そうですね。自分が賢く情報を取っていかないといけない。真実を見極める、自分の真価が試されているなど感じています。そういう中で、メディア人として働く自分が考えるのは、メディアはますます重要になっているはずだということです。クリティカルな情報か、偏らない公正な情報かの裏打ちが必要で、ほかと同じではなく、自分が、自社ができることを追求しないと生き残れないと思います。弊社で言えば「テレ東BIZ」（テレビ東京の経済メディア）などは独自路線で、何重にもファクトチェックをしています。

課題にあふれた世界だからこそリベラルアーツの社会実装を

**学部長** 現代の社会課題は広域に関わります。環境問題もジェンダーの問題も地域限定ではなく、紛争や貧困は他国への移民問題につながったり。本当にさまざまな国の、さまざまな立場の人たちが「対話するしかない」と思います。

けれど、現実はいずれの立場から課題を見ているから、なかなか一筋縄ではいかない。AIが進んでも、こうした人間的・感情的な対話をファシリテートできるとは思えません。立場や垣根を超え、視野を広げて対話をリードすること。そして世界平和に導いていける。それができる人をICUでは育てていきたいのです。いわゆる理系や文系の垣根を超え、例えば科学のこともわかるし文化のこともわかる。社会課題への取り組み意識も高い。そして対話のトレーニングを積んだ学生が社会に出ていくことは、すなわちリベラルアーツが社会に埋め込まれていく、そんなイメージをしています。

もちろん狩野さんもその一人ですので、ぜひ頑張ってください。学生や同窓生を刺激してください。**狩野** メディアも今後は垣根が曖昧になり、コンテンツの内容や質の勝負が顕著になると思います。同時にその核に「志」や「理想」がなければ信用されません。私もしっかりと志を持っていきたいと思っています。

WEBSITE  
この対話記録のロングバージョンが  
公式サイトに掲載されています。



狩野 恵里  
テレビ東京  
コンテンツ戦略局  
アナウンサー  
2009年 教養学部卒

#### Profile

東京都出身。小学校6年生～高校2年生までの5年間アメリカ・テキサスとカリフォルニアにて過ごす。ICU在学時はフライングディスク部所属。語学科（当時）で日本語学を専攻し卒業、2009年4月よりテレビ東京にアナウンサーとして入社。2013年より「モヤモヤさまぁ～ず2」担当。その他、「ネオスポ」「SUPER GT+」「競輪中継」などを担当。



生駒 夏美  
教養学部長  
教授（文学／ジェンダー・  
セクシュアリティ研究）

#### Profile

2002年、ダラム大学博士号（Ph.D.）取得。国際基督教大学ジェンダー研究センター長、同文学研究デパートメント長を歴任。専門分野はジェンダー、ヨーロッパ文学、文学一般、日本文学、思想史。



ICU by NUMBERS

# 数字で見る成長の手応え

学生たちの学びの成果や日々感じている手応えについて、数字からイメージしてみてください。





ICUの教育の特長

# STUDYING at ICU

未知の問題に取り組み、知の冒険に出会う。それぞれが自分の「問い」を発見していく。  
リベラルアーツを楽しむ環境がここにあります。

キーワードから見るICU

## ICU KEYWORDS

**Arts and Sciences** アーツ＆サイエンス ▶p.01**Dialogue** 対話 ▶p.03**Diversity** 多様性と少人数制 ▶p.05**Critical thinking / Bilingualism** クリティカル・シンキング／バイリンガリズム ▶p.07**Identity** アイデンティティ ▶p.09**Later Specialization** 4年間の学びとメジャー制 ▶p.17, 29





WEBSITE

ICUの学び、どんな特徴がある？  
リベラルアーツの学びとは？

ICUの教育の特長

自分だけの4年間の学びをデザインする

■ 入学時に専門を決めないレイター・スペシャライゼーション（Later Specialization）

ICUでは、メジャー（専修分野）を2年次の終わりに選択します。ただし、その学修体系は「基礎2年、専門2年」という単純なものではありません。自分の学びたい分野が見つければ1年次からでも専門の学びを始めることができます。あなたが自分自身の問いや可能性を見だし、それを存分に探究できるよう、アカデミックプランニング（▶p.47）を通じて自分だけの学びを組み立てます。

4年間の学修は「全学共通科目」と「専門科目」が柱となりますが、どの科目を取り、何を自分のメジャーとするか、留学を組み

合わせるかは学生一人ひとりが決めていきます。

また、研究やキャリア、海外での就職、国際公務員などを目指して修士・博士課程に進学する人が多いこともICUの特色です。国際機関やグローバル企業では修士以上の学位が重視されるため、大学院への進学はグローバル・スタンダードです。そのため、ICUでは大学院への進学を促進することを目指し、学士と修士を通常より1年短い期間で取得できる「5年プログラム」を設置し、リベラルアーツの素養を持つプロフェッショナルの育成に力を注いでいます。

■ 枠組みにとらわれない自由な学びを実現

全学共通科目

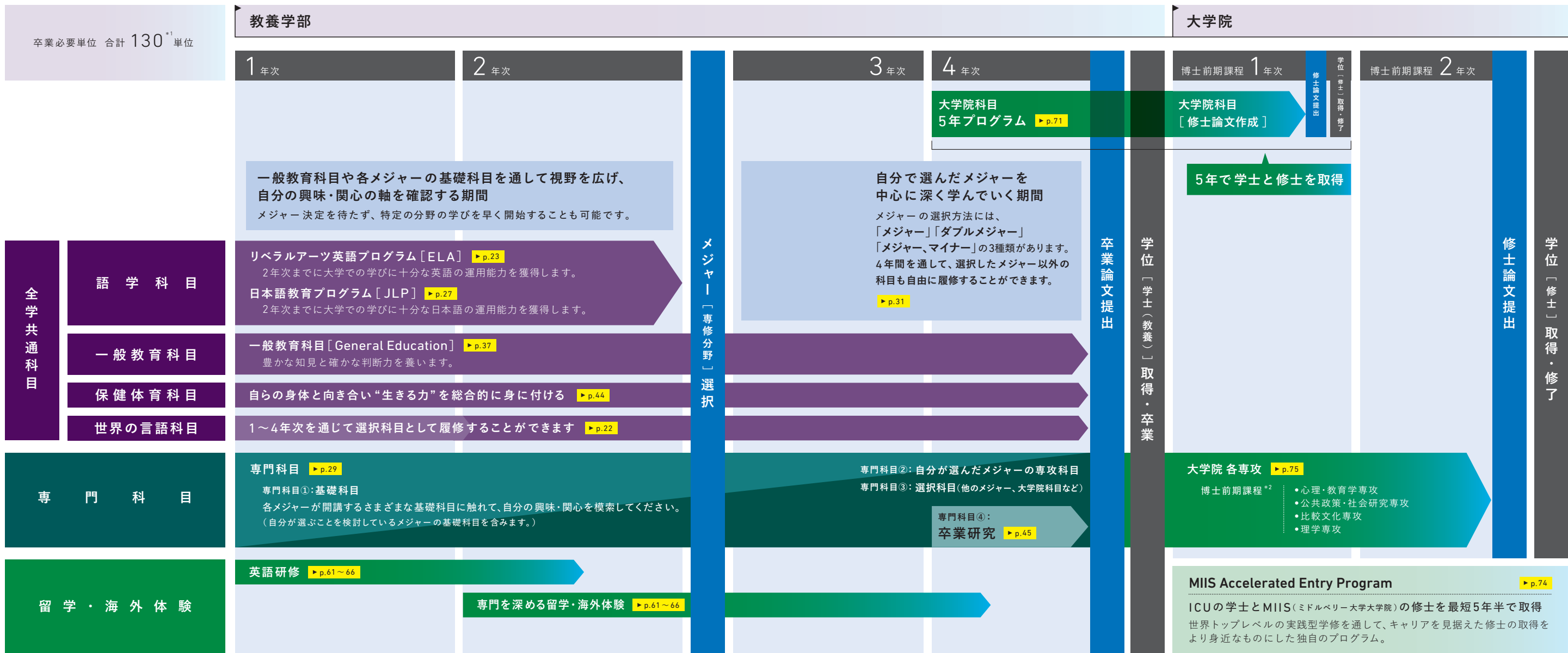
未知に触れ、複眼的な視点と  
知の技法を身に付ける

「全学共通科目」は下図のように、4種類の科目群に大別されます。日英両言語のアカデミックな運用と思考能力を高める「語学科目（ELAまたはJLP）」。また、さまざまな学問の本質に触れる一般教育科目。知的好奇心を刺激する学問領域やテーマを発見したり、ほかの視点から自分の学問分野を見つける機会が得られます。あらゆる境界線を超えるリベラルアーツの中核的な学びでもあります。保健体育科目では、身体理解などを含めた知の実践を通して全人的に成長することを目指します。世界の言語科目では、選択科目として英語、日本語以外の言語を学ぶことができます。

専門科目

学際的・複合的に専門を深める  
そして卒業論文を書き上げる

「専門科目」は、31のメジャー（専修分野）からなり、基礎科目、専攻科目、選択科目、卒業研究で構成されます。いわゆる学科やコースのように選択したメジャーに“所属する”のではなく、メジャーやプログラムを選択肢として自分で組み合わせながら学びます。例えば徹底してある専門領域を深掘りする人もいれば、複数の学問のアプローチを応用して既存の枠組みを超えたテーマを追究する人もいます。学生一人ひとりが主体的に自分のカリキュラムを考えながら組み立て、最終学年では、全員が自身の設定したテーマを1年間かけて論文にまとめる卒業研究を行います。



\*1 英語・日本語のレベルによって個々の科目の必要単位数は異なります。

\*2 大学院博士後期課程としてアーツ・サイエンス専攻を設置。



ICUの教育の特長

世界に通用する教育環境で自分を伸ばす

リベラルアーツ教育がもたらすもの

ICUは献学の理念により、地球市民(グローバル・シティズン)として平和のために貢献し、地球規模の問題に挑むことのできる資質を備えた人材を育成する、リベラルアーツ大学です。

リベラルアーツ教育を掲げている大学は、日本でも増えつつありますが、ICUは世界18カ国30のリベラルアーツ大学が加盟するグローバル・リベラルアーツ・アライアンスに日本で唯一加盟しています(2025年4月現在)。これはICUが、真のリベラルアーツ教育の実践に不可欠な教育環境(人文科学、社会科学、自然科学分野を有し、少人数制、英語による授業開講、高い外国籍教員比率など)を備えているためです。

では、学ぶ人にとってのメリットはどのような点にあるのでしょうか。ICUでは最初の2年間は、学問分野を超えて幅広く学びながら、「本当に学びたい分野」を見極め、3・4年次で専門を深めるという、レイト・スペシャリゼーションを採用しています。日本の多くの大学では入学する前に専攻分野を決め、学部・学科という枠組みの中でそれを学びます。入学後に新たな興味が芽生えても、専攻を変更することは簡単ではありません。レイト・スペシャリゼーションの利点は専攻を決定するまでに試行錯誤できる点だけではありません。選んだ専門を軸に4年間を通して31メジャーを自由に履修できるので、多くの分野にまたがる横断的な学びを経験し、広い視野や高い視座、複眼的な思考に基づく気付きが得られたり、他分野の学問的アプローチを参考にできたりするのです。さらには、自分と異なる分野を専門とする学生や教員と日常的に接して対話を重ね、刺激を得られるなど、自身の成長に役立つ多くの恩恵が挙げられます。

知的好奇心をくすぐり、世界を舞台に豊かに生きるための養分があります

ICUには本当にさまざまな人びとが、多様な志を持って集まっています。背景や常識、価値観も異なる人びとが学問を通してつながり、学問を通して世界とつながっていく。海外からの留学生が多いうえに、日本人学生にも海外経験者が多いことや、教員の1/3以上が外国籍であり日本人教員も約9割が海外での教育・研究経験者であることも、ICUに常に世界からの新しい風を呼び込む一因となっています。各種制度とあわせ、このような世界基準の環境は日本では珍しいものですが、ICUでは献学から70余年間継承し発展させてきました。

こうした環境を生かして、あなた自身が熱中できる学問に出合ってください。「これだ」と思えるような学問に出合う瞬間の、その喜びを味わえることこそが、リベラルアーツ教育の強みであり、深い学びと研究の始まりとなります。

そして世界の在り方を肌で知り、親しい友人をつくり、グローバルな視点と経験を身に付けることで、卒業後も長く続く人生はより一層豊かになっていくはずです。

地球市民育成のために

学びの時間設計の最適化

週に複数回の授業で集中的に学ぶ

多くの日本の大学では1科目につき週1回授業が行われますが、ICUでは授業の大半は、1科目につき週に複数回行われます。授業のない日は学んだことを踏まえて課題(レポート作成や調べてまとめ発表するなどのグループワーク等)に取り組む時間になっており、インプットとアウトプットを短いスパンで繰り返し重ねていくことで、密度の濃い学びができます。

ICUと他大学の1週間の違い(例)

|               | 月  | 火         | 水  | 木         | 金  | 土・日       |
|---------------|----|-----------|----|-----------|----|-----------|
| ICU<br>週3回の授業 | 授業 | 予復習<br>課題 | 授業 | 予復習<br>課題 | 授業 | 予復習<br>課題 |
| 他大学<br>週1回の授業 | 授業 | 予復習・課題    |    |           |    |           |

※実際の時間割例は(▶p.25、51、53)で紹介しています。

異学年、異分野、留学生と一緒に学ぶ

専門性が高まっても、分野を超えた対話は続く

ICUでは卒業に必要な130単位を自分の興味や関心に応じて組み立て、4年間を通して自由に履修科目を選択できます。1・2年次は分野を超えて幅広く学び、2年次の終わりにメジャーを選択。3・4年次は選択したメジャーのほか、他メジャーの科目なども複合的に履修できます。授業では学年や専門分野が異なる学生や留学生が混在するのが通常で、分野横断的な対話で切磋琢磨できます。

ICUの授業における学年の混在例

| 初級 HST102 西洋史(イギリス)Ⅰ |     |     |     |     |
|----------------------|-----|-----|-----|-----|
| 1年生                  | 2年生 | 3年生 | 4年生 | 計   |
| 20人                  | 25人 | 15人 | 10人 | 70人 |

まだメジャー選択していない  
1・2年生が大半

歴史学メジャーの  
3・4年生は10人だけ

| 中級 HST241 ヨーロッパ文化史 |     |     |     |     |
|--------------------|-----|-----|-----|-----|
| 1年生                | 2年生 | 3年生 | 4年生 | 計   |
| 0人                 | 5人  | 15人 | 10人 | 30人 |

中級コースのため3・4年生が多いが、  
歴史学メジャー以外の学生も半数いる

NURTURING GLOBAL CITIZENS

履修の自由度の高さ

4年間で12回の履修科目選択

ICUでは、1年間で3学期に分けており、授業は学期ごとに完結します。1年間で前期・後期に分けている大学では、履修科目の選択機会が4年間に8回ですが、ICUでは4年間に12回もあり、それだけさまざまな学問を学ぶ機会があるといえます。1学期は9週。短期集中型で、学期ごとに4〜5科目を履修できます。そのため、学ぶ過程で生まれた興味、関心に合わせたカリキュラムの組み立てが可能になります。また、3学期制は交換留学や、7月から始まることの多い海外の夏期プログラムに参加しやすいという利点もあります。

ICUと他大学の学期の違い

| 月        | 4    | 5  | 6    | 7    | 8 | 9    | 10   | 11   | 12   | 1    | 2  | 3    |
|----------|------|----|------|------|---|------|------|------|------|------|----|------|
| ICUの3学期制 | 春学期  |    |      | 夏期留学 |   |      | 秋学期  |      |      | 冬学期  |    |      |
|          | 履修登録 | 履修 | 単位取得 |      |   |      | 履修登録 | 履修   | 単位取得 | 履修登録 | 履修 | 単位取得 |
|          |      |    |      |      |   |      |      |      |      |      |    |      |
| 他大学の2学期制 | 前期   |    |      |      |   | 後期   |      |      |      |      |    |      |
|          | 履修登録 | 履修 | 単位取得 |      |   | 履修登録 | 履修   | 単位取得 |      |      |    |      |
|          |      |    |      |      |   |      |      |      |      |      |    |      |

GPA制度(Grade Point Average System／成績平均点数制度)

学習到達度を客観的に捉え把握する

履修した科目1単位あたりの成績平均点数、GPA。学業成績を測る基準であり、奨学金や交換留学の学内選考の可否にも影響する重要な数値です。ICUでは、授業は学期ごとに完結し、成績がつきます。GPAは全ての授業から算出され、優秀な成績をおさめた場合、教養学部長により表彰され、学生のモチベーション向上につながります。ほかに、成績が点数化されることで、それぞれの学生の学習到達度を把握しやすくなり、きめ細かなアドバイスが可能になります。GPAは「学びのスタイル」を自ら創るための指標でもあるのです。

GPA算出方法(例)

A:優(4pt) B:優(3pt) C:良(2pt) D:可(1pt) E:不可(0pt)

| 授業科目名(科目番号)      | 単位数     | 評価 | ポイント数        |
|------------------|---------|----|--------------|
| 社会と文化(GES026)    | 3単位     | A  | 4.00×3=12.00 |
| 基礎生物学(BIO101)    | 2単位     | C  | 2.00×2=4.00  |
| コンピュータ言語(ISC222) | 3単位     | B  | 3.00×3=9.00  |
| 法学入門(LAW102)     | 3単位     | A  | 4.00×3=12.00 |
| 教育の社会的基礎(EDU103) | 2単位     | E  | 0.00×2=0.00  |
| 合計               | 13単位(①) | 合計 | 37.00ポイント(②) |

GPA=②÷①→37÷13=2.85ポイント

外国語による授業科目数

日英バイリンガリズムの教育理念に基づき、教職科目など日本語での開講が適切な科目を除き、英語での開講が可能な科目は英語で授業を提供。専門の学びを日英両語で学べる環境を整えています。

※2023年度実績

在学中の海外留学経験率

留学も学びの選択肢の一つです。半数以上の学生が卒業までに海外に旅立ち、現地学生などと共に学ぶことで、それぞれの可能性をさらに広げていきます。

英語による卒業論文執筆比率

学生は全員、卒業論文を執筆します。論文作成のための科目の新設や英語開講科目の開講増などにより英語で学び、書く機会を増やし、英語による卒業論文執筆をサポートしています。

※2022年度実績

卒業要件に占める英語開講科目比率

卒業までに修得する単位数のうち、日本語開講科目と英語開講科目のバランスがとれた履修を奨励しています。このことは、英語開講科目の修得単位数の多さにも表れています。

※2023年度 ELA Stream3履修者の場合

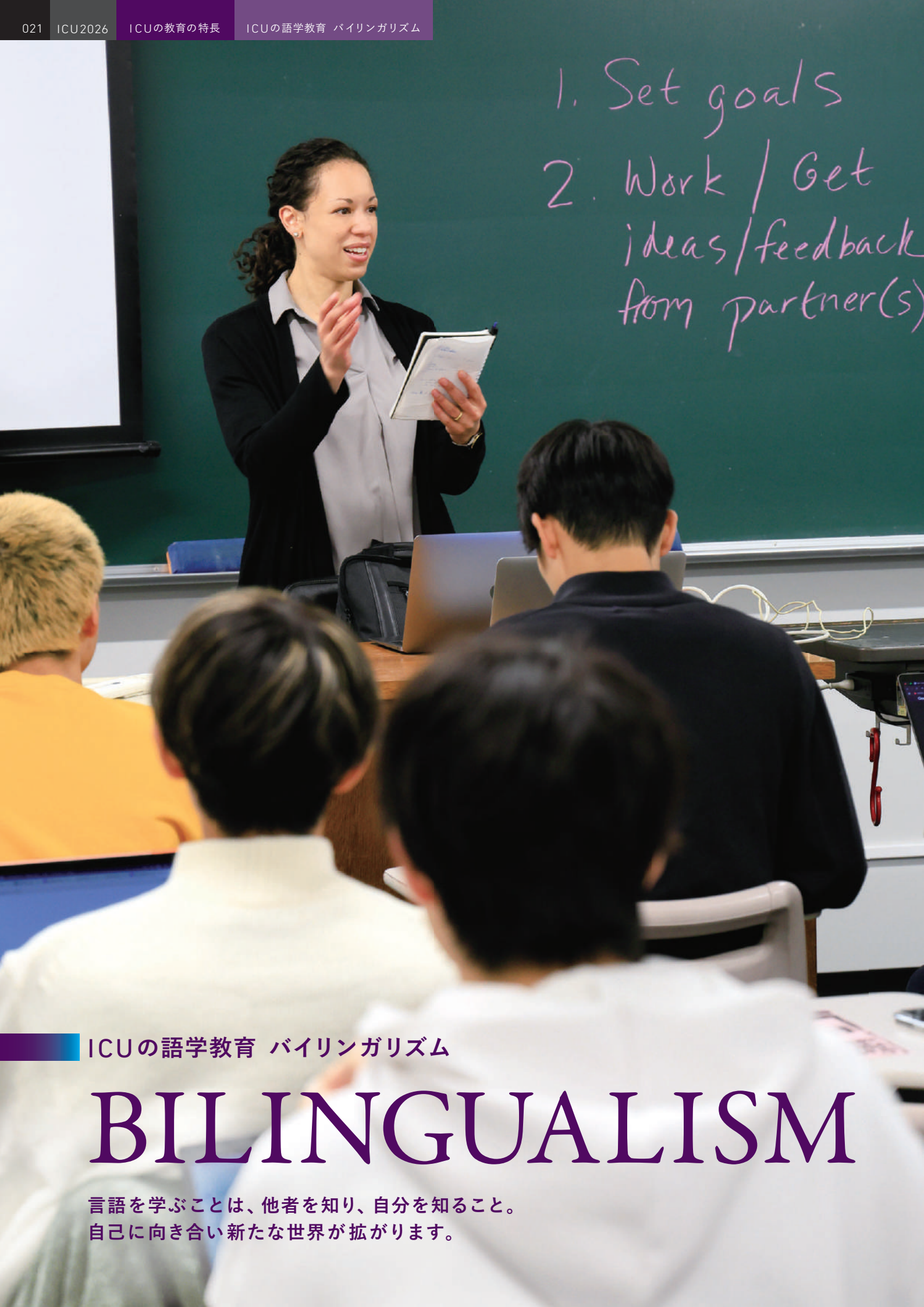
日英バイリンガル教育を支える職員体制

全職員の65.1%が、TOEIC800点以上のスコアを保持。あらゆる業務に日英バイリンガルで対応し、外国籍教員や海外からの留学生を中心に、ICUの日英バイリンガル教育をサポートしています。

※2023年5月1日現在

65.1%





ICUの語学教育 バイリンガリズム

# BILINGUALISM

言語を学ぶことは、他者を知り、自分を知ること。  
自己に向き合い新たな世界が広がります。

## BILINGUALISM バイリンガリズム

全ての学生が日英両語で学ぶ。自然に混ざる分断のない環境を創出する。

ICUでは献学以来、日本語と英語の「バイリンガリズム」を貫いています。日英の2言語を運用することは、他者を通して自己を知る助けになります。さらに、大学での学修だけでなく、仕事や国際交流など多くの場面で世界の人々と対話し、協働し、「世界に参加する」ことができるのです。

自分が育ってきた環境や社会の常識にとらわれず、未知の価値観や思想に接して対話を重ねることは、他者との新たな関係を築くことに繋がります。その過程で自己を見つめ直すことが、国際社会の平和に必要なだとICUは考えます。

このような広い意味での異文化コミュニケーションに必須となるのが、言語運用能力です。ICUでは日英バイリンガリズムの理念のもと、卒業要件として、リベラルアーツ英語プログラム(ELA)、または日本語教育プログラム(JLP)の修得が課されています。主に日本語を第一言語とする学生はELAで英語を学び、日本語を第一言語としない、あるいは家庭内など限定的な場面で日本語を使ってきた学生はJLPで日本語を学びます。日英両語でコミュニケーションできるようになることがICUの学生生活には必須であり、教室や事務室、クラブ活動、寮など、学内ではバイリンガリズムの原則が浸透しています。

## 2 + 1 複言語主義

世界にアクセスするための「日英2言語 + 1言語」の習得

ICUには、世界各地から学生や教員が集まっており、さまざまな言語が飛び交います。こうした環境を生かし、世界に自らを開いてもらうため、「日英2言語 + 1言語」の習得を推奨し、「世界の言語」というプログラムを用意しています。

世界は日本語と英語だけで解釈できるものではありません。世界を知れば知るほど、英語圏以外にも目を向け、アクセスする必要があるでしょう。

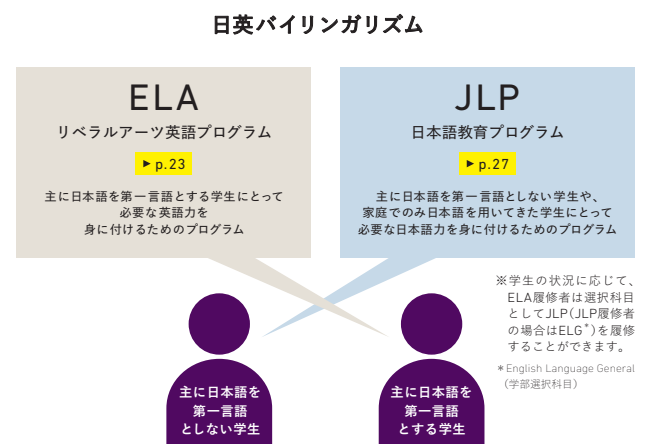
ICUには第一言語が日本語でも英語でもない学生や教員もいます。英語を学ぶELA(▶p.23)のクラスでも、日本語を第一言語とする学生に加え、多彩な言語的背景を持つ学生が共に学んでいます。また、例えばフランス語が堪能な日本人教員が多くの刺激をもたらすなど、そこには魅力的なダイナミズムがあります。日英だけではない、複言語の先に広がる新たな地平がすぐ目の前に広がっているのです。

こうした得がたい環境を活用して世界に自らを開いてもらうため、ICUでは「日英2言語 + 1言語」の習得を推奨し、「世界の言語」というプログラムを用意しています。

プラス1として学べる言語は9つ。教員の半数以上はネイティブスピーカーで、生きた言語を習得しながら、その背景にある文化や思想を学ぶことができます。さらに、学び得た言語を現地で活用できる留学先も多数あります。

言語を学ぶことは相手の文化を相手の立場で理解し、自分と相手、自分と世界への認識を深めることです。その経験を通じて、世界を受容し、異文化間の架け橋となって世界へ積極的に働きかける人となることができます。

それこそが外国語を学ぶ意義であり、喜びでもあります。言葉その



ものの魅力を感じながら、自分の中の言語空間をより多面的なものにし、しなやかに世界の多様性と向き合い、世界の新しい魅力を深く知る。その一步を、ぜひ踏み出してください。

選択科目

### 世界の言語

World Languages

ELA/JLP 2 JPN ENG + 1

**世界の言語**

ARA ITA CHI  
KOR FRA RUS  
GER SPA IND

●科目紹介

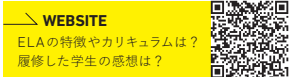
|         |                                      |
|---------|--------------------------------------|
| アラビア語   | ・アラビア語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ                          |
| インドネシア語 | ・入門インドネシア語                           |
| 中国語     | ・中国語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ ・上級中国語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ                |
| フランス語   | ・フランス語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ ・上級フランス語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ ・海外フランス語研修 |
| ドイツ語    | ・ドイツ語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ ・上級ドイツ語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ              |
| イタリア語   | ・イタリア語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ                          |
| 韓国語     | ・韓国語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ ・上級韓国語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ                |
| ロシア語    | ・ロシア語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ                           |
| スペイン語   | ・スペイン語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ ・上級スペイン語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ            |



# ELA リベラルアーツ英語プログラム

English for Liberal Arts Program

- 履修対象者
- 一般選抜を経て入学した学生（▶p.102）
  - 転編入学制度／学校推薦型選抜＜4月入学専願＞を経て入学した学生（▶p.107）
  - 総合型選抜＜4月入学専願＞を経て入学した学生（▶p.108）
  - 総合型選抜＜4月入学＞帰国生を経て入学した学生（▶p.110）
  - 総合型選抜＜4月入学＞社会人を経て入学した学生（▶p.111）
  - 総合型選抜＜4月／9月入学＞EJU（日本留学試験）利用を経て入学した学生のうち、必修語学科目として「英語」（ELA）を選択した学生（▶p.112）



## クリティカル・シンキングを身に付け、 「英語で考え、英語で対話し、英語で発信する」 ためのプログラム

ICUを語るうえで欠かすことができない特長的なプログラムが「ELA」です。1年次の大半を費やして、ICUで効果的に学ぶための思考力に重点を置き、英語での学習を通して創造的、批判的、主体的に考える力を身に付けていきます。ELAの最後には、教養学部での研究や論文執筆に備え、全員が学術研究の基礎や論文作成を英語で学ぶコースを履修します。

## 少人数教育だからこそできる、 学生一人ひとりの英語運用能力とニーズに 合わせたきめ細かい丁寧な指導を実践

ELAの英語教育の目標は、ICUの学びに必要なAcademic English、プレゼンテーションや論文執筆などのAcademic Skills、そしてリベラルアーツ教育の根幹となるCritical Thinking Skills（批判的思考能力）を養成することです。ELAの全ての授業が英語で行われることもあり、ハードルが高いと思われるかもしれませんが、実際の授業は約20人の少人数クラスで、個々の学生の英語運用能力やニーズに合わせたきめの細かい丁寧な指導を行っています。コア・コースであるARWやRCA（▶p.25）のクラスは、それぞれ週2～3回の授業に加えて、個別指導を受けるチュートリアルがあり、わからないことや困っている点をいつでも教員に相談することができます。同じ教員との授業が週に複数回あるので、教員は個々の学生の英語運用能力の長所や弱点を把握することができます。個々の学生のニーズに合った丁寧な指導こそが、ELAの一番の特長です。



### ELA Director's Voice



WATANABE-KIM, Izumi  
Director, English for Liberal Arts Program

渡邊（金） 泉  
リベラルアーツ英語プログラム  
主任

## グローバル社会に通用する創造的で批判的な思考を、 ELAの集中的な英語学習環境で身に付けてほしい

The English for Liberal Arts program (ELA) aims to accomplish two goals. The first is to help students acquire English proficiency, and the second is to promote the acquisition of critical thinking and study skills for academic work. In order to meet these two goals, the ELA classes are taught solely in English in small-size groups of approximately 20 students.

The ELA provides customized instruction to meet each student's needs and proficiency. Through actively interacting with teachers and classmates, students learn a range of academic skills in English, including reading academic materials critically and analytically, discussing and presenting ideas and opinions, note-taking, listening and responding to what other students have to say, and writing academic papers. Students also participate in individual tutorials with teachers to help improve their academic writing.

The types of questions and activities in the ELA are designed to make the students think critically and creatively. For example, when studying “Issues of Race” in the Autumn Term, the students are asked to create a system for classifying “human beings.” They are then asked to answer two questions:

- How do we categorize humans?
- How should we categorize humans?
- What is the point of categorizing humans in the first place?

In the ELA, you will not “study” English. Instead, you will be invited to take a journey through which you discover how to be critical, creative, and independent thinkers as you “use” English.

We hope that you will take full advantage of the opportunities offered at ICU. In order to do so, we also hope that you will take on the challenge of the ELA; we are ready to support you.

## 英語で社会的問題を考え 議論する授業のおかげで、 光の当たらない問題を意識する 視野が身に付いた

柿沼 黎生

教養学部 2年  
東京都／明治大学付属中野高等学校出身

ELAは単に語学スキルを伸ばすためのプログラムだという先入観があった私は、入学早々戸惑いました。実際には、社会問題やニュースをはじめとしたさまざまなトピックについて英語でディスカッションを行い、英語「で」学ぶためのスキルを伸ばすためのプログラムだったからです。高校までは先生から一方的に教えを受け、決められた正解を考える学び方だったので、「あなたは どう思う？ どう考える？」と自分の意見を求められることに慣れていませんでした。履修し始めた頃は発言もままならない日々が続きましたが、先生方はじっくり耳を傾け、どんな意見も尊重して次の議論につなげてくれます。そうした“英語で考え、伝える訓練”を繰り返すうち、次第に発言することが苦にならなくなり、むしろ自分の考えを述べるのが楽しくなってきました。印象に残っているのは、自分が興味のあるトピックについて調査し、小論文にまとめ、問題解決のためのアイデアを提案する授業です。私はかねてより関心のあった社会的弱者にまつわる問題について、多発性硬化症という神経難病にテーマを絞って発表しました。身近にその病気にかかっている人がいることがきっかけですが、調査を進めていくなかで欧米に比べて日本では社会的認知が進んでいないことを知り驚いたことを覚えています。自分が知らないだけで社会にはまだ光の当たらない問題が数多くあるのではないかと。ELAで鍛えたアカデミック・スキルを、こうした問題の解決に生かしていきたいと思います。



## 英語運用能力だけではない。思考する訓練の場

「語学科目」として英語を学ぶのではなく、学術的活動のための「道具」として英語を学び、創造的、批判的、主体的に考える力を身に付けます。

### ELAの特徴

#### 習熟度別

個々の学生の英語運用能力に応じて4つの課程(Stream)に分かれて学びます。

#### 集中的

科目を組み合わせた週4～11コマの授業で集中的に学びます。

#### 少人数

1クラスは約20人。グループディスカッションなどで切磋琢磨します。

#### 個人指導<sup>(チュートリアル)</sup>

専任教員と1対1の個別指導が受けられます。

#### 英語で学ぶ

ELAの授業は全て英語で行います。

### ▶ ELA科目 リベラルアーツ教育のもとで学ぶために「英語で読み、聞き、話し、論文を作成する」スキルを身に付けるプログラム

#### ARW

Academic Reading & Writing  
読解と論文作法

#### RCA

Reading & Content Analysis  
精読と英文構成法

#### AS

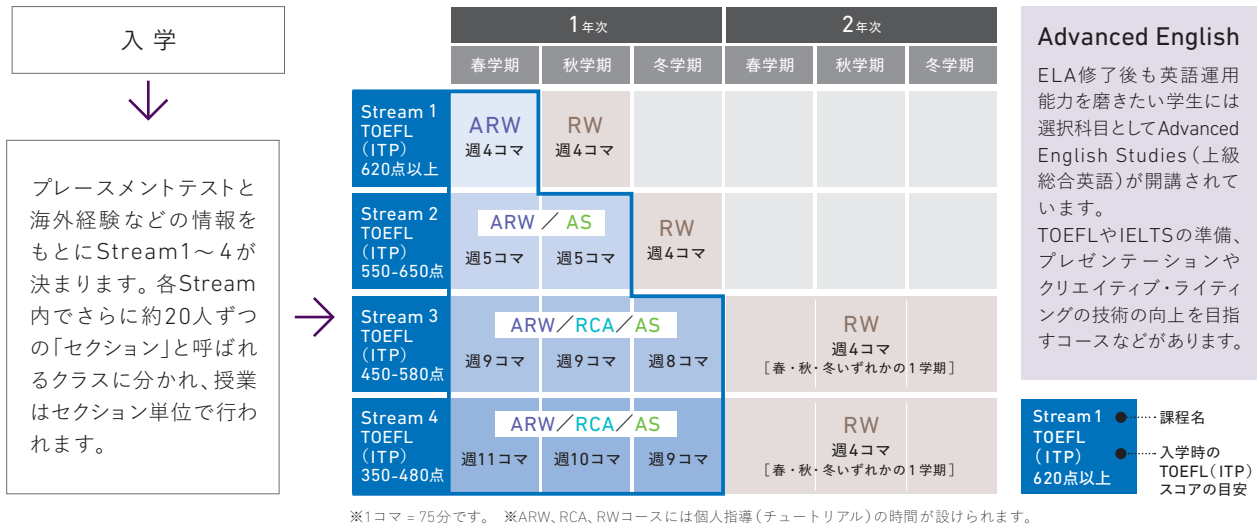
Academic Skills  
アカデミック・スキル

#### RW

Research Writing  
論文作成

### ▶ ELA Curriculum Structure

ELA履修生は、それぞれの英語運用能力やニーズに合った課程(Stream)で、「リベラルアーツ教育のもとで学ぶために必要な英語運用能力」を身に付けます。最後の1学期は「Research Writing（論文作成）」を履修。関心ある研究テーマについて資料を集め、個人指導を受けながら英語で論文を書き上げます。



### ▶ ELA Model Schedule まずは集中的に英語「で」学問するための力を身に付ける

1年次の時間割はELAの授業が中心となります。多くの学生がStream3と4に配置されますが、例えばStream3の春学期は右の時間割表にあるように、週に9コマELAがあります。

ARW, RCA, ASなどの授業は週に複数コマあるので、それぞれの授業で出される課題(assignment)を次の授業までにこなす必要があります。どの授業でも自主的かつ積極的な参加が求められ、プレゼンテーションや討論をしながら、テキストの内容について自分の考えを文章で表現します。授業は全て英語で行われ、課題の量も多いため、リズムをつかむまでは少し時間がかかるかもしれませんが、しかし、毎日繰り返していくなかで、確実に英語を使う力が向上していくことを実感できます。また、同じセクションと一緒に学ぶセクションメイトたちとの共同作業も多く、力を合わせて取り組む醍醐味も味わえます。

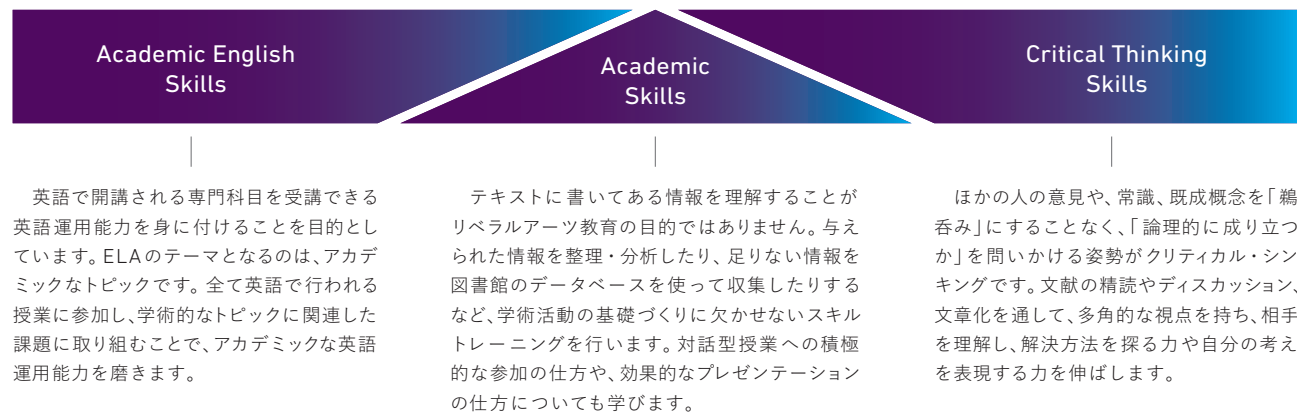
ELAを修了する頃には、気後れすることなく英語で読み、書き、話しているあなたがいるはずです。

#### 1年次春学期 時間割の一例(Stream3)

|   |             | MON                              | TUE                              | WED                              | THU          | FRI                              |
|---|-------------|----------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|--------------|----------------------------------|
| 1 | 08:45-10:00 |                                  | ARW<br>Tutorial                  |                                  |              |                                  |
| 2 | 10:10-11:25 | Academic<br>Skills               |                                  | Academic<br>Skills               | 基礎科目         | Academic<br>Reading &<br>Writing |
| 3 | 11:35-12:50 | 一般教育科目                           | 基礎科目                             | 一般教育科目                           | 基礎科目         | 一般教育科目                           |
|   | 12:50-14:00 | LUNCH                            |                                  |                                  |              |                                  |
| 4 | 14:00-15:15 | Academic<br>Reading &<br>Writing |                                  | Academic<br>Reading &<br>Writing |              | Academic<br>Skills               |
| 5 | 15:25-16:40 |                                  | Reading &<br>Content<br>Analysis |                                  | 保健体育<br>講義科目 | Reading &<br>Content<br>Analysis |
| 6 | 16:50-18:05 |                                  |                                  | 保健体育<br>実技科目                     |              |                                  |

※上記時間割以外にも個人指導(チュートリアル)があります。

## ELAで養う力



### 集中的に英語を学ぶ留学プログラム

留学体験者の声 ▶p.65

## 海外英語研修(SEA)プログラム [1・2年次対象]

### ELAの単位の一部を海外で修得できる

夏休みを利用し、異文化体験をしながら視野を広げ、集中的に英語を学習することで英語でコミュニケーションする力を身に付けます。海外生活未経験者には積極的に参加してほしいプログラムです。また、自分がマイノリティとなる経験を通して、自分を知る、自信を持つなど、自分自身の内面的成熟も期待されています。



カナダ：マギル大学(McGill University)

※費用は2024年度実績です。為替の影響等により変動します。 ※プログラム情報は2025年実施のものです。

### フレッシュマンSEAプログラム [1年次対象]

- 日程：夏休み期間中、約6週間
- 定員：115人
- 研修校：[Canada] The University of British Columbia / University of Victoria / McGill University  
[United States] Wilkes University  
[New Zealand] The University of Auckland  
[United Kingdom] The University of Sheffield
- 選考方法：応募者多数の場合、海外経験などを考慮したうえで抽選
- 取得単位：5単位
- プログラム費用：約78～102万円(授業料、宿泊費、渡航費など)

### ソフォモアSEAプログラム [2年次対象]

- 日程：夏休み期間中、約6週間
- 定員：20人
- 研修校：[Canada] University of Victoria
- 選考方法：書類と面接により選考
- 取得単位：6単位
- プログラム費用：約110万円(授業料、宿泊費、食費、渡航費など)



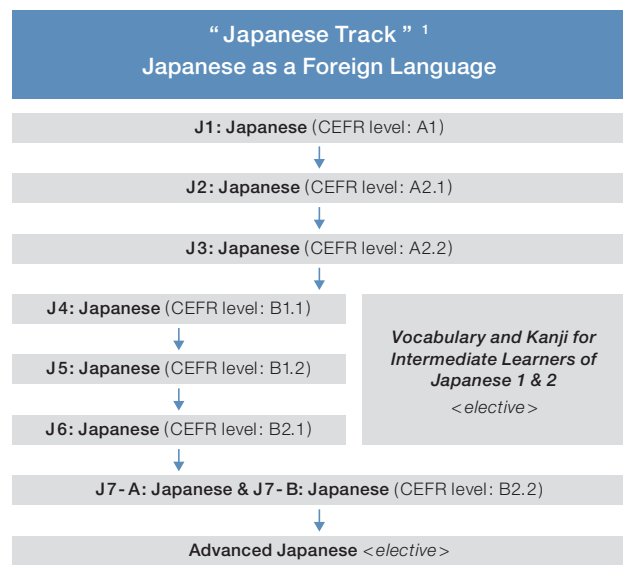
# JLP 日本語教育プログラム

Japanese Language Program

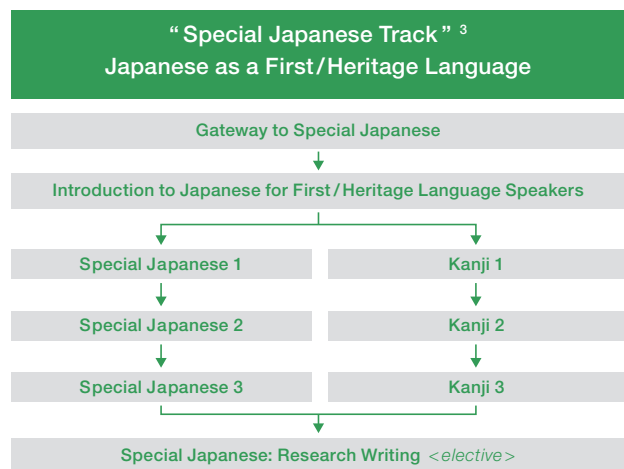
- 履修対象者
- 総合型選抜<4月／9月入学>English Language Based Admissionsを経て入学した学生（▶p.111）
  - 総合型選抜<4月／9月入学>EJU（日本留学試験）利用を経て入学した学生のうち、必修語学科目として「日本語」（JLP）を選択した学生（▶p.112）

The Japanese Language Program provides the foundation upon which students can fulfill their potential in the current dynamic and diversified world.

日本語教育プログラム（JLP）では、初めて日本語を学ぶ学生から日本語ネイティブに近い学生まで、さらに、家庭では日本語を用い、学校教育は海外や国内のインターナショナルスクール等で受けた学生など、多様な学生が日本語を学んでいます。JLPでは、一人ひとりに合った適切な日本語教育を提供し、学生たちの日本語力を高めると共に、知的営みの基盤を築いていきます。



<sup>1</sup>If students complete the courses shown in this chart, they are deemed to have reached the equivalent level for CEFR<sup>2</sup>.



- 1: 4-Year Regular and Transfer Students placed in the “Japanese Track” are required to complete up to “J7-A: Japanese & J7-B: Japanese”.
- 2: The CEFR (Common European Framework of Reference for Languages) organizes language proficiency in six levels, A1 to C2. For more information, please refer to the following.  
< <https://www.coe.int/en/web/common-european-framework-reference-languages> >
- 3: 4-Year Regular and Transfer students placed in the “Special Japanese Track” are required to complete up to Special Japanese 3 and Kanji 3.

## JLP Director's Voice



OZAWA, Ikumi  
Director,  
Japanese Language Program

小澤 伊久美  
日本語教育プログラム  
主任

## 社会の一員としての日本語力と多様な文化・価値観への 相対的な視点を養ってほしい

JLPは1953年に日本語を外国語として学ぶ学生向けにスタートした、日本の大学では初めて単位認定された日本語教育です。その後、日本語を第一言語・継承語として学ぶ学生のための日本語特別教育 Special Japaneseを開始し、以来日本語を外国語として学ぶ学生、第一言語・継承語として学ぶ学生向けの2種類のコースを提供しています。

大きな特徴としては、初めて日本語を学ぶ学生、日本語ネイティブに近い学生、日英両語共が第一言語でない学生など、教育背景やニーズが大きく異なる学生が学ぶプログラムだということです。そのため、学生一人ひとりに適した丁寧な指導が可能になるよう、少人数教育を行っています。また、教員と学生1対1の個別指導の時間（チュートリアル）があり、会話や発音の練習、課題やテストのフィードバック、レポートの作成などについて個別に話し合い、次のステップを目指します。

授業では、日本語の学習以外にも、客観的、相対的、多角的な視点を持ち学術的活動ができるよう、各レベルのコースで個人の興味・関心に基づいたテーマでのプロジェクトを課しています。授業や個別指導を通して、プロジェクトを進め、コースの最後には、全員が大きな成果を発表します。こうした一連の指導を通して、大学生活で必要な日本語力はもちろんのこと、卒業・修了後も日本内外で社会の一員として能力を発揮し、貢献するための土台となる思考力やコミュニケーション能力の養成を目指しています。

これからICUで学ぼうとしている皆さんには、国籍・居住地の違いにとどまらない多様な背景の人が集うICUのキャンパスでの学びを謳歌してほしいと願っています。そのためのサポートをJLPは惜しみません。

## JLPは日本語を学びながら 日本を知り、自分を知る 濃厚なプログラム

ナキャン 沙良

教養学部 2年  
神奈川県／Zama American High School出身

私は9歳までアメリカで育ち、帰国後は小・中・高とアメリカンスクールで学んできたため、日常会話レベルの日本語しか身に付けておらず、入学時の日本語力では日本語開講の授業を履修するには大きな不安がありました。JLPのクラスは10～20人程度で、私と同じような境遇の学生が多くおり、すぐに打ち解け合って心強く感じたことを覚えています。授業は主に、日本国内の出来事に関する新聞記事や書籍を読み、それについてどう考えるかを発表してディスカッションを行うスタイル。近年問題となっている熊害から、あるジャーナリストが唱えた「日本人は集団主義思考」という説についての検証など、テーマは多岐にわたります。中でも私が関心を抱いたのは、日本で増加している引きこもりの問題です。「周りとのわずかな認識や認知の食い違いから心に傷を負い、自分の部屋や心の中に閉じこもってしまう人たちがいる。しかしその食い違いは、時として新たな視点やアイデアを社会にもたらすファクターともなる」。そうした議論を重ねるうち、次第に社会学と心理学の側面から原因を探り、理解したいと考えるようになりました。現在私は心理学をメジャーに選択し、将来は心理カウンセラーの道を歩みたいと考えています。この目標を見いだせたのは、やはりJLPでクラスメイトや先生との濃厚なディスカッション、交流があったからだと思います。



## メジャー制

THE  
MAJOR  
SYSTEM

メジャー／ダブルメジャー／メジャー、マイナー  
自分の軸足を決め、広く深く、学びたいことをとことん学ぶ仕組みです。

## 広く深く学際的に学び、自分だけの専門を見極める。 主体的に学びを深めていくICUのメジャー制

教養学部で学ぶと、専門性が深まらないのでは？リベラルアーツを語るとき、よく受ける質問です。そんなとき、私たちは自信を持って「専門を深く学べます」と答えます。ICUは、「広く、そして深く学ぶこと」を目指すからです。1953年の献学以来、学問分野の垣根を越え、学際的に学びを深めていくカリキュラムや少人数教育、学生が受け身でなく、主体的に学ぶ授業の進め方は、今も変わらない特長の一つです。

ICUでは学生が本当に学びたいことを見つけられるように、幅広い分野の科目で学問的基礎力を養いながら、興味のある分野を絞り込み、2年次の終わりまでにメジャー（専修分野）を決めます。これは、「専門をじっくり見極め、幅広く学ぶために時間を割く」という考え方に基づく教育システムで、海外のリベラルアーツ・カレッジではスタンダードな学び方です。文系・理系という枠組みにとらわれず、学びたいことをとことん学ぶことで、分野ごとの領域の違いを

確認でき、自分の興味は何で、何をどのように学びたいのかを比較したうえで、自分のメジャーを自信を持って決定できます。さらにさまざまな分野を学ぶこの時期には、知の基盤となるものごとの考え方、アプローチの仕方が養われます。このような能力は生涯にわたり有用性があり、時代やトピックスが変化しても学びを深めていく思考力として役立ちます。31のメジャーには、文学、物理学、心理学などの伝統的な学問分野と、「平和研究」「アジア研究」などの問題解決型や地域研究型があります。どの分野も、他大学の学部に対応する科目群を配し、専門を系統的に学ぶことができます。全てのメジャーを4年間自由に履修できます。

### 学びのゴールは卒業論文です。

ICUでは、自由な学びの中で全ての学生が自らのメジャーと研究テーマを見つけ、最終学年に卒業研究として掘り下げていきます。（▶p.45）

### 一般的な学部・学科制とメジャー制の違い

### 自分の学びの「CORE」を決め、広く深く、学際的に学ぶ

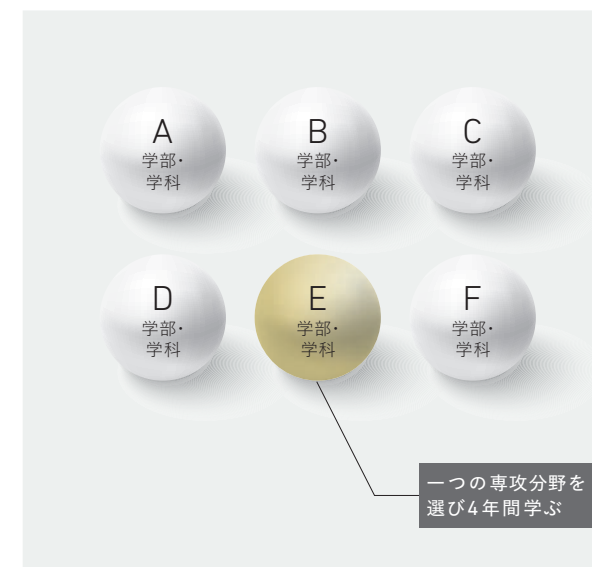
#### 一般的な学部・学科制

出願時に4年間を通じて学ぶ学部・学科を選択。

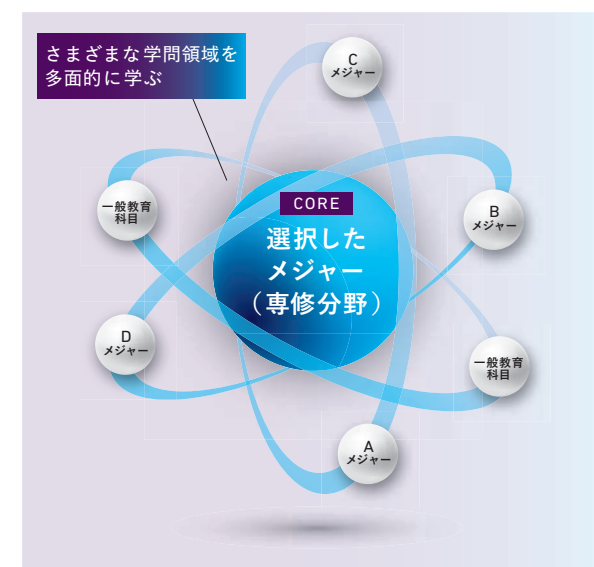
#### ICUのメジャー制

2年次の終わりにメジャーとして専修分野を選択するが、4年間を通して多分野にも触れながら創造的・発展的に学ぶ。

※メジャーを2つ選択することも可能



- 入学時に選択した学部・学科で専門知識を深めていく。
- 本当にそれが自分の学びたい分野なのかを吟味する機会がないまま、4年間学び続ける。
- 専門性を向上させることはできるが、ほかの学問的アプローチや、ほかの領域の専門家とのインタラクションがないために、学際的・複合的な視点を持ちづらい。
- 学んだ専攻分野に進まない(就職しない)ことも多いため、専門性を高めても生かせないことがある。



- 入学時ではなく、2年次の終わりまでにメジャー（専修分野）を決める。
- じっくりと本当に学びたい分野を吟味できる。
- メジャーとして選択した分野を軸に、関連するほかの分野を学び、専門的・学際的な視点を得ることができる。さらに創造的、相対的、統合的な思考力が養える。
- メジャー制での学びを通して得た能力は生涯にわたり汎用性があり、時代やトピックが変化しても生かすことができる。



# 31 Majors 31のメジャー（専修分野）

31あるメジャーには、それぞれに決められたカリキュラムがあるわけではありません。2年次の終わりに選択したメジャーの科目を中心に、学生一人ひとりが学びを組み立てます。興味・関心があるテーマや、自ら立てた「問い」の答えを見いだすため、選択したメジャー以外の科目も履修しながら、学びを深めていきます。

### メジャー（専修分野）選択の方法

2年次の終わりに行うメジャー選択には3つのかたちがあります。

#### Major（Single Major）

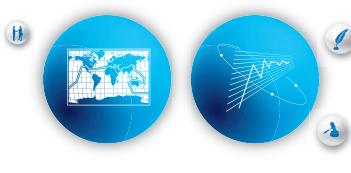
1つの分野を修める  
「メジャー」



**基礎科目**  
選択したメジャーから  
6単位以上  
+  
**専門科目**  
メジャーから21単位

#### Double Major

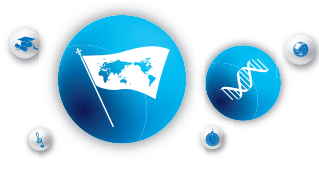
2つの分野を修める  
「ダブルメジャー」



**基礎科目**  
選択した2つのメジャーから  
各6単位以上  
+  
**専門科目**  
1つ目のメジャーから21単位、  
2つ目から30単位

#### Major／Minor

2つの分野の比率を変えて修める  
「メジャー、マイナー」



**基礎科目**  
選択したメジャー、マイナーから  
各6単位以上  
+  
**専門科目**  
メジャーから21単位、  
マイナーから15単位

### 専門科目（メジャー）88単位

+

### 全学共通科目 計42単位

合計130単位が学位取得要件です。

- ELA[Stream3]の場合。英語・日本語の習熟度で決まる語学科目(ELA、JLP)のクラスによって個々の取得要件は異なります。
- 「専門科目」は、基礎科目、専攻科目、選択科目、卒業研究に分けられます。
- 「全学共通科目」は、リベラルアーツ英語プログラム(ELA)、または日本語教育プログラム(JLP)、一般教育科目、保健体育科目があります。



**美術・文化財研究**  
Art and Cultural Heritage

美術・文化財を通して「過去」を知り、そこに込められた真の意味を探究する。



**音楽**  
Music

音楽の理論や実践の学びを通じ、人間の文化、歴史、社会、言語、科学、テクノロジーについての理解を深める。



**文学**  
Literature

「文学」を通して、知的に、感覚的に、世界と人間を意味づける。



**哲学・宗教学**  
Philosophy and Religion

存在、認識、倫理、信仰、神について、古今東西の古典に基づいて探究する。



**歴史学**  
History

世界のさまざまな地域と文化を時間軸の中で考察する。



**政治学**  
Politics

政治が変われば世界は変わる。政治学の知見を実社会に生かす「アーツ」を修得する。



**経済学**  
Economics

現代社会を深く理解し、諸問題について対応策を講じるための基礎となる学問。



**法学**  
Law

正義と人権の探究、そしてポストヒューマンの時代へ。



**国際関係学**  
International Relations

インタラクティブな日英バイリンガル対話を通じて現代の国際関係を理解する。



**経営学**  
Business

企業とそれを効果的に動かす人間の資質について多くの学問の知見を生かしながら深く学ぶ。



**公共政策**  
Public Policy

世界や国、社会の課題の原因を、政策的・政治的立場から分析する理論や手法を学ぶ。



**社会学**  
Sociology

個人と社会の関わりについて、理論的かつ実証的に研究する。



**文化人類学\***  
Cultural Anthropology

人間存在の普遍性と多様性の両方を理解する。



**メディア・コミュニケーション・文化**  
Media, Communication and Culture

日々変化するメディアとコミュニケーションのプロセスを批判的に捉える。



**生物学**  
Biology

生命の多様性とその仕組みを明らかにする。



**物理学**  
Physics

自然界を支える真理を解明し技術に応用する。



**化学**  
Chemistry

自然界と人間活動における物質の変化を探究する。



**数学**  
Mathematics

現代数学を通して、論理的分析的かつ柔軟な思考力を培う。



**情報科学**  
Information Science

情報科学の実用的な側面と、より普遍的なリベラルアーツの学びの両立を目指す。



**言語学**  
Linguistics

人間とは何かを「言語」の科学的分析から探究する。



**心理学**  
Psychology

人間の心を科学的な方法論に基づいて探究する。



**言語教育**  
Language Education

言語教育に必要な理論的、実践的な知識と技術を習得する。



**教育学**  
Education

教育のさまざまな課題を多面的に考察し、教育のあり方と未来を探究する。



**アメリカ研究**  
American Studies

アメリカの文化と政治に学際的にアプローチする。



**アジア研究**  
Asian Studies

アジア地域の多様性を学び、アジアの人びとと共に生きるリーダーを育成。



**開発研究**  
Development Studies

途上国や先進国にある貧困や格差、社会的排除の問題を知り、考え、学ぶ。



**環境研究**  
Environmental Studies

環境に対して学際的でグローバルな視野を持つ地球市民を育成する。



**ジェンダー・セクシュアリティ研究**  
Gender and Sexuality Studies

ジェンダーやセクシュアリティの視点から、新しい知の地平を開く。



**グローバル研究**  
Global Studies

21世紀グローバル社会の問題解決に果敢に挑戦する勇気と判断力を習得する。



**日本研究**  
Japan Studies

「日本」のさまざまな側面について考える実践的な場を提供する。



**平和研究**  
Peace Studies

平和をつくる人びとをつくる大学、それがICUの原点。

※2026年4月より、人類学メジャーは文化人類学メジャーへ名称が変更になります。

各メジャーについての詳細は公式サイトを参照してください。（担当教員がメジャーの学びや魅力を語っています。）

ICU  
公式サイト

https://www.icu.ac.jp/academics/undergraduate/major/

メジャーについて  
～各メジャーでは何を学べるの？～

公式サイト ▶  科目一覧シラバス ▶ 



先輩たちは、どのようにメジャーを決めていったのか？

リベラルアーツを通して ▶ p.51

学びのケーススタディ ▶ p.55

授業を受けてみたい！

WebでICUの授業を体験してみよう！ ▶ ICU OpenCourseWare



巻頭特集

ICUの教育の特長

学びをデザインする

学びの拡がり

メジャー制

進路支援

学問へのいざない

一般教育科目

卒業研究

キャンパスライフ

入学支援

キャリア支援

国際交流

学生生活

卒業生

お問い合わせ

ICUについて



HUMANITIES

## 人文学

文学、日本研究

### 日本古典文学の音の響きに魅せられて

古典文学を最初に耳にした時の衝撃をよく覚えています。いつも聞いている日本語とは違う音色がすることに感動して、言葉の持つおもしろさや美しさに関心を抱くようになりました。『源氏物語』や『枕草子』などの文学は千年以上も古い作品ですが、登場人物たちは現代の私たちと同じように考えたり、悩んだり、喜んだりします。和歌というコミュニケーション手段は今でいうSNSのようなものなのかもしれません。

最近では日本古典文学の自然、特につくられた自然をどうみていくか、ということに着目しています。平安時代の貴族は宮中で生活するのが主ですから、外の本物の自然に出会うことはほとんどありません。しかし、古典文学には四季を彩る可憐な植物が物語や和歌にとり込まれ、手紙を書く折にも季節の挨拶や植物が添えられたり、箱庭をプレゼントしたり、自然と生活との関わりが密接です。でもその自然はすべて人為的なものです。そのような人為的な自然を対象にして、文学における人間と自然表象との関係について研究しています。

自然について考えるようになったのは、海外での経験がきっかけとなっています。私は長い間、ポーランドの大学で日本文学を教えていました。現地の研究者や学生とのやり取りのなかで、日本文学に自然が多いのはなぜかと問われることが多々ありました。日本文学の舞台である日本をあえて出ること、今までとは異なった価値観を得ることもでき、この経験は私の専門分野に深みを与え、視野を広げることに繋がっています。

### 古典文学とリベラルアーツ

古典は私たちとは次元を超えた時代のものであります。たしかに違うのですが、現代の感覚で読むことができるものもあります。それは遠い時代の古典を身近に感じる大事な瞬間です。ヨーロッパではClassical literatureというと、ギリシャ・ローマの作品を指し、古典という規範のもと今でも普遍的な影響力を持っています。日本では江戸期の戯作までが「古典」といわれます。古典は多くの人によって受け継がれ、人間の叡智の蓄積を知るだけでなく、時をこえて常に新しい見方を生み出す原動力もあります。

日本古典文学には、千年以上前という歴史認識が存在します。今から約100年前となると日本は大正時代(1912～1926年)です。平安時代の文学を専門とする私にとって大正時代はつい最近のような時代感覚です。グローバルな世界になりつつある今、国際人として世界的な視野で物事を考えようとする時、100年くらいの歴史認識では不十分だと思っています。千年以上前の人類の叡智である文学や文化を知っていることは世界的な歴史認識として大きな助けになるはずです。地球温暖化、災害、紛争などの社会問題についても過去に遡って問題の糸口を探すことがあります。これからの時代、過去・現在・未来を見渡す広い視野と洞察力が必要であると感じます。

### 先を見通す生きる力

リベラルアーツ教育とは大学を卒業してからも一生涯グローバルに活躍できる人を育てます。活躍の場は日本でも世界でもどこでもよいと思いますが、自分の思考でもって問題解決をする時に、現代の感覚だけで考えるのではなく、日本の千年前の文学をめぐる横断的な研究を知っていると知らないのとでは世界の捉え方が変わってきます。古典文学には今にも通じる力があるのです。



#### 園山 千里

教授

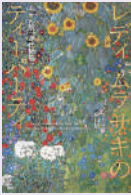
##### Profile

立教大学大学院文学研究科日本文学専攻博士課程前期・後期課程修了。博士(文学)。大学院在学中にポーランド国立ワルシャワ大学に派遣留学。2009年秋からポーランド国立ヤギェロン大学文献学部東洋学研究所日本学科に准教授として赴任。2020年7月ポーランド共和国学位授与機構よりHabilitated Doctor of Humanities in Literary Studiesを授与。2021年9月から現職。

##### My Recommended Book

『レディ・ムラサキのティーパーティ』  
穂矢 まりえ・森山 恵 著  
講談社／2024年

「レディ・ムラサキ」というのは『源氏物語』の紫式部のことです。1925年に初の英語版『源氏物語』がアーサー・ウェイリーによって翻訳されました。その後、世界各国で『源氏物語』は翻訳され、世界文学としての存在感を示しています。本書は、アーサー・ウェイリーの『ザ・テイル・オブ・ゲンジ』(源氏物語)を現代日本語訳に翻訳したものです。再翻訳を「くらせん訳」と称して、時空を超えた物語が世界文学になった道程を辿ります。『源氏物語』を多面的に知ることができるおすすめの本です。



SOCIAL SCIENCES

## 社会科学

経営学、開発研究

### 銀行は信用がすべて

私が就活をした就職氷河期のピークでは、銀行がダントツで人気でした。私のファーストキャリアは銀行員です。配属は日本橋支店でした。入行してほどなく、アジア通貨危機や、都銀、証券、長信銀が破綻するなど予期していなかった金融激動の時代が始まります。貸し渋りや貸し剥がしといった言葉が使われるようになったり、金融庁による検査が始まったのもこのころです。3年の支店勤務のあと本部へと異動し、調査研究、商品開発、経営管理などに携わりました。業務を通じて、銀行は信用がすべてであることを何度も痛感しました。このあと外資系金融機関などでの経験を経ていまに至っています。今後キャッシュレス決済がデフォルトとなり、銀行はIT企業になります。そして業務の効率化、店舗や人員の大幅な削減でコストを極小化し、金利の競争に突き進んでいきます。大変革期を迎える銀行は、古いやり方にとらわれない学生たちにとって、活躍できる機会の宝庫となるでしょう。

### 金融を学ぶ「近道」

NISAによって金融(投資)がぐっと身近になりました。投資に興味を持つ学生も増えています。テレビでは天気予報と同等の頻度で、為替や株価指数、物価や失業率、金利などの動向について報じています。金融について学ぶとき、専門書ですすい理解できるのであればそれが一番です。でも専門的な用語が多いので、なかなかそうもいかないのではないのでしょうか? そんなとき、金融を学ぶ「近道」として映画を観るという方法があります。たとえば過去にどのような金融の大事件があったのかを知りたいとします。直近の大事件は2007年や2008年頃の米国を震源地とした世界的な金融危機です。サブプライム・ローンを裏付けとした証券化商品やレバレッジを効かせて多くのデリバティブを束ねたCDOなどの金融技術が問題の鍵となりました。これらをざっくりと掴むには、『マネー・ショート華麗なる大逆転』や『マージン・コール』などの映画を観ることをお勧めします。映画ですから、面白おかしく痛快な内容に仕立てられています。もちろん脚色もありますが、大きな嘘はありません。時代背景や空気感も映像から見て取ることができます。映画を観て、金融に嫌悪感を抱く可能性もあるでしょう。でもこれも勉強です。そして映画の中で彼らはなぜこれほどまでに、利益を追い求めたのかということを考えてみることも重要です。お金を稼ぎたいという個人的なモチベーションのほか、企業(株式会社)という組織が関係しているとみることもできます。

### 企業の社会的責任

大学生の多くは卒業と同時に企業に勤めますが、こういった事件とは無関係でいられるでしょうか。そもそも企業とは何を目的とした組織なのでしょうか。最近では企業の社会的責任、ESGやSDGsへの取り組みが話題になることがあります。これについて著名な書籍では「企業が負うべき社会的責任は、公正かつ自由でオープンな競争を行うというルールを守り、資源を有効活用して利潤追求のための事業活動に専念すること」などと解説しています。企業が生み出す利潤とは、単純化すると売上高から費用(コスト)を差し引いた残りですから、これを増やすには、売上高を増やすかコストを減らすかしかありません。ESGやSDGsなどの活動にかかる経費が企業の内部でどのように整理されているのか、興味を抱きませんか? 経営者は、良い活動なのだからといって利潤を度外視して活動を継続したり拡大させることはありません。アダム・スミスのいうところの「見えざる手」に導かれながら、丁度よい活動の度合いを探っています。もちろん、全くそうではないんだ!という意見もあります。加えて年金基金をはじめとする多くの機関投資家がPRI(責任投資原則)に署名していることも、企業経営に大きく影響しています。さまざまな情報を吟味しながら企業や金融が今後どうなっていくのか、ICUで一緒に考えてみませんか?



NATURAL SCIENCES

自然科学

化学、環境研究

極小物質が秘める無限の可能性

私の研究では、目に見えないほど小さな世界、すなわちナノスケール（1ナノメートルは1メートルの10億分の1）の化学に焦点を当てています。このミクロな世界では、私たちの肉眼では捉えられない複雑な現象が繰り広げられています。その中でも特に私を魅了するのは、「小さくても大きなものを凌ぐ能力を持つ」ナノクラスター（数～数十個の原子からなる粒子）の不思議な世界です。

最新の技術では、原子1個単位で粒子の大きさを制御することが可能になりました。そしてたった原子12個や60個のナノクラスターが、数千～数万個の原子からなる通常のナノ粒子と同等の触媒活性を示すことが明らかになっています。このような小さな構造が見せる驚異的な能力は、触媒設計や材料科学に新たな可能性をもたらしています。

この小さな世界を理解するため、私は放射光という強力な光と表面分析法を使い、ナノクラスターやナノ粒子の挙動を観察し、小さな物質が反応中に果たす役割を解明しています。そして、既存の観念が覆される瞬間には、いつも科学の新たな地平を感じることができ、探究心をかき立てられます。

多様で柔軟な考え方が科学を深める

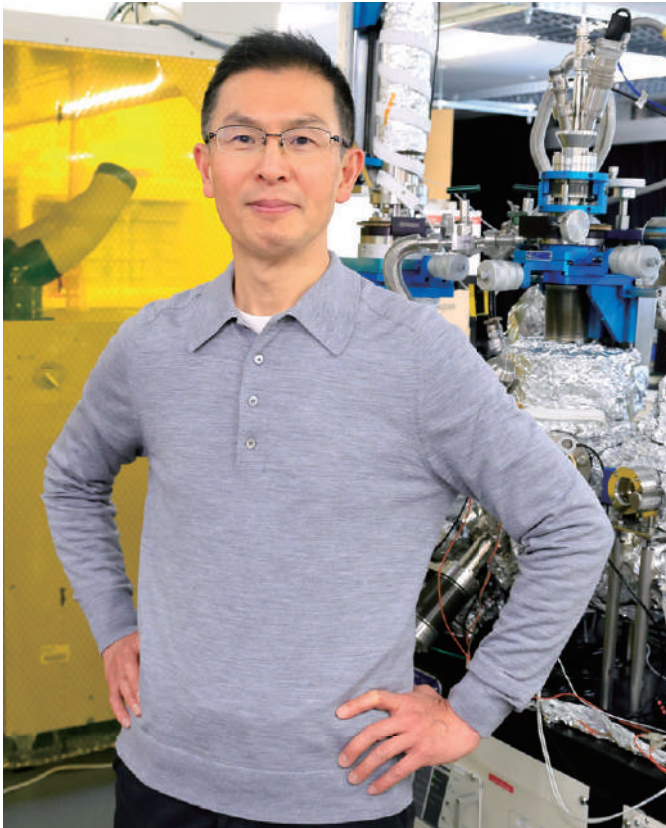
リベラルアーツ環境での研究は、化学の専門性だけを深めるだけでなく、異分野の知見が融合し新たな視点が得られる貴重な場です。私の研究分野も同じく材料科学や生物学、物理学が交わり、新たな手法とその応用が生まれる場でもあります。

また、ナノスケールの物質がもたらす予想外の物性には、「無秩序さのなかの秩序」や「不均一さのなかの均一さ」、「無用の用」といった、一見矛盾する性質が多く見られます。このような現象を解き明かすには、ときに哲学や芸術的な観点がブレークスルーになります。

ですので、多様な背景を持つ学生や教員との意見交換は、柔軟な発想をもたらし、研究に新しい展望を与えます。また、学生との議論を通じて自身の研究を異なる視点で再評価することも、刺激的な経験です。こうした経験は、単なる知識の深化にとどまらず、複雑な課題にも創造的に取り組む力を育むことにもつながります。

小さな世界への探求心を持つ学生へ

化学にはまだ多くの謎があり、特にナノスケールの世界は新たな発見に満ちています。そして、小さなナノクラスターが見せる大きな能力には、常に新たな視点が求められます。これらの極小物質が示す特性や反応は、触媒化学や材料科学だけでなく、私たちの科学の根本的な理解をも刷新する可能性を秘めています。この未知の世界に飛び込み、一緒に化学の新たな扉を開いてみませんか？



田 旺帝

教授

Profile

韓国出身。東京大学 大学院理学系研究科 化学専攻(理学博士)、(株)三菱化学(現 三菱ケミカル)、Virginia Polytechnic Institute and State University、北海道大学 触媒科学研究センター(現、触媒科学研究所)准教授などを経て、2007年ICU着任(上級准教授)、2012年より現職(教授)。

My Recommended Books

書籍 『世界で一番美しい化学反応図鑑』セオドア・グレイ 著／ニック・マン 写真／若林 文高 監修／武井 摩利 訳 創元社／2018年  
本書は化学反応が生み出す美しい現象を鮮やかな写真で紹介し、まるでアートのように楽しめる一冊です。化学が持つ美しさと驚きが視覚的に表現され、化学への興味を深めたい方はもちろん、芸術的視点でも楽しめる内容です。この本を通じて、化学の魅力に触れてみませんか。  
『すごい物理学講義』カルロ・ロヴェッリ 著／竹内 薫 監訳／栗原 俊秀 訳 河出書房新社／2017年  
本書は時間や宇宙、量子力学などの壮大なテーマを詩的な語り口で解説する入門書です。難解な物理学が身近に感じられ、自然の法則を通して考えさせられます。高校生にも読みやすく、物理学に興味がある方や新たな視点を求める方におすすめです。  
『アンドロメダ病原体』マイケル・クライトン 著／浅倉 久志 訳 早川書房／1969年  
未知の病原体による脅威に挑む科学者たちの奮闘を描いたSF小説です。ストーリーの面白さだけでなく、研究の進め方や科学的思考の重要性がリアルに描かれています。病原体の特定や解決策を探る過程は、研究現場を覗き見るような感覚を味わえ、問題解決プロセスを学びたい高校生にもおすすめの一冊です。

INTERDISCIPLINARY

学際分野

文化人類学、グローバル研究



BROWN, Bernardo Enrique

Associate Professor

Profile

Bernardo E. Brown was born in Buenos Aires, Argentina, where he lived until he completed his undergraduate studies. He received a M.A. from the New School for Social Research in New York and a Ph.D. in Anthropology from Cornell University. His research focuses on Catholicism and transnational religious networks in Sri Lanka and Southeast Asia. He has been working at ICU since 2017, where he teaches Cultural Anthropology and Global Studies.

My Recommended Book

Amitav Ghosh, 2016, *The Great Derangement: Climate Change and the Unthinkable*, The University of Chicago Press



The book I recommend is titled, *The Great Derangement* (2016), by Amitav Ghosh. Although Ghosh is a famous fiction writer, this book is non-fiction and contains a series of essays about climate change that are very provocative. He is curious to know why, with so much information about climate change, people seem to be so uninterested in it. He asks, why people reject common sense and refuse to take actions that will stop an almost certain catastrophe. Have we gone mad? Ghosh studied anthropology in university, and I believe has a nuanced anthropological perspective in his writings that I find very appealing.

How to think about Globalization in the 21st century?

Throughout my career as an anthropologist, I have always been interested in how migration and religion intersect. Human mobility is key for religion to reach new people in different parts of the world. You can think of migrants, but you can also think of pilgrims, missionaries or refugees, they all contribute to bringing religion to new places. But what about globalization? Is it only about global networks of trade, communications technologies, entertainment, the environment or political movements? I think that religion is also fundamentally global, and thinking about religion can also help us understand globalization. Take the example of world religions like Buddhism, Christianity or Islam, and imagine what it took for them to travel across oceans and continents, how they adapted to local cultures, and how they were transformed by different people. I think that you will find few better examples of globalization. But don't stop at their historical expansion. Look at today's world and you'll see that some of the most sophisticated global networks of trade, communication, or culture, are made possible by religious organizations. My research is therefore interested in examining global religious movements, as they provide some of the most stable, long-lasting and fluid forms of circulation and integration in the world. But more importantly, my work tries to highlight that studying religion is fundamental to understand contemporary globalization.

Why the Liberal Arts

Until I came to ICU, I always studied and worked at large 'research-oriented' universities, so I was curious to know why many of my colleagues loved the Liberal Arts. As an anthropologist, I was always surprised that so many people I worked with had their first exposure to the field of Anthropology at a Liberal Arts college. Now I see why. I think that the Liberal Arts environment is truly about exploration. The distance that you find between students in the Humanities and in the Natural Sciences is minimal, partly because they can step into each other's world all the time, ask questions, and learn together. Working at ICU is also a constant learning experience for me as a professor, because students have different interests and backgrounds, which demands that I respond to their questions in a versatile way. Less than half of the students in any of my Anthropology or Global Studies classes will major in those fields, so I need to be able to engage with students whose curiosity comes from different places. The Liberal Arts offer students the opportunity of finding new interests almost 'by chance'. Taking classes about topics that you didn't know you were interested in, engaging in projects that transform how you think about the world, or learning about what others around you are passionate about. You will be fascinated by how ICU surprises you all the time.



## 一般教育科目

GENERAL  
EDUCATION

4年間を通して学ぶ一般教育科目。  
学問領域の枠を超え、柔軟で幅広い思考を得るために。

WEBSITE  
一般教育科目の詳細は？  
履修のしくみとは？

一般教育科目（General Education／GE）を生かすことが、  
4年間の学びを立体化する

学問はある特定分野だけが独立して成り立っているのではありません。また社会の課題解決には、分野を横断した視野が欠かせない時代になっています。自分の軸足として専門を持ちつつも、その枠を超え

広い視野を持って見渡すことで学びは深まり、また、他分野との相互対話や協力ができる能力が養えます。誰もが文理を超え、分野を超える、そのための枠組みが一般教育科目（General Education／GE）です。

## 一般教育科目（GE）の特長

## 1 4年間いつでも履修できる

一つの問題に対して多くの視点を持つことを目的としたGEは、4年間履修できるため、メジャー選択後も別分野の学問に触れることが可能です。また、共に履修する学生は学年やメジャーの異なる学生。そうした仲間との対話は想像以上の価値を生むはずです。

学修者自身がさまざまな学問領域を関連付けながら、考え、気付いていく作業そのものがICUでの学びを豊かにします。

2 専門科目の担当教員から  
学問の面白さを知る

GEは、メジャーを学ぶ素地をつくるための、「メジャーへの導入編」ではありません。教壇に立つのは各メジャーで専門科目を教える教員です。

この仕組みが意味するものは授業（教育）の質の高さです。専門家がそれぞれの分野へのいざないとして学問の面白さ、研究のリアル、そして分野のつながりを伝えることで、1年次から、深い知識や多様な視点を得る機会になります。

3 学問領域の枠を超え  
多角的に学びを深める

GEを通して大学で探究したい問いやテーマを見つける学生がいます。あるいは、選択した専門科目と並行して履修することで、自身の研究を客観的に見直したり、別分野の学問アプローチを参照したり、幅広い視野で専門を深めていく学生もいます。時代に即した多彩な科目が毎年準備されています。各自の興味・関心に沿って、将来に向かっての学びのかたちを追究してください。

4 文理を越える、統合する  
柔軟で幅広い思考を得る

GEは複数領域から履修します（下記参照）。これはディプロマ・ポリシーやアドミッション・ポリシーにある「文理にわたる多様な知識やデータを統合し、実践の場で活用する能力」「文系・理系にとられない広い領域への知的好奇心と創造力」、あるいは現代社会が求める科学的思考力を養う基礎ともなります。

## 一般教育科目（GE）の履修分野

## 複数領域を履修

キリスト教  
概論

ICU唯一の全学生必修科目。日本語と英語で開講されています。授業内容は教員によって異なりますが、共通しているのは、キリスト教の基本的内容を理解しながら、その思想的意義や問題点を考察し、ほかの宗教や文化との関連において捉えることを目的としているところです。ほかの思想や宗教への理解を深めることができるのも魅力です。（▶p44）

## 人文学

人間そのものの在り方、人間が創り出してきた文化などを研究の対象とする学問カテゴリー。美術・音楽・文学・哲学・思想・言語などについて、その発展の背景から現代的な解釈、人間の生活や社会にとっての価値などを探究します。

## 社会科学

人間の「社会」のさまざまな面を、科学的に研究する学問カテゴリー。政治・経済・国際関係・メディア・教育・平和・人権・ジェンダー・サステナビリティなど、現代社会が取り組むべき課題や未来に向けた策などを探究します。

## 自然科学

自然界の事象、法則性を明らかにし、活用方法を探る学問カテゴリー。数学・生命科学・物理・化学などに加えて、ネットワーク情報活用・マルチメディア・データサイエンス・環境・食品科学・科学哲学など取り扱う対象は多岐にわたります。

リベラルアーツ  
セミナー・  
特別講義

リベラルアーツセミナー：定員15人の少人数のセミナー形式で、リベラルアーツ教育への理解を深め、学修に必要な方法論的知識や技能を習得します。

特別講義：複数領域の教員による共同授業を行います。



## 一般教育科目「環境研究」に見る対話型の学び

# 静的な「教養」から「行動する知性」、 「行動するリベラルアーツ」へ。

ICUは少人数教育を基本としますが、講義＋ディスカッション＋グループワークなどを併用した大人数クラスも存在します。「環境研究」もその一つ。毎年150人の募集定員が満員になる、自然科学系の人気科目です。3カ月間の濃密な探究と対話を通して、課題の発見～解決に取り組みます。その過程で、クリティカル・シンキングとクリエイティビティの体得、アウトプットまでを含んだ、まさに「行動するリベラルアーツ」のための教育。ICUならではの科目です。

## 「答えのない問題」に取り組む

私たちは今、どのような時代に生き、どこへ行こうとしているのか。ニュースをひもとくまでもなく、世界各地、社会のあらゆる分野で予測を超えた出来事が相次いでいます。変化が激しく、将来を見通すことが困難な「VUCAの時代」※のまただ中に私たちはいます。この不透明な時代を生き、社会を少しでも前に進める人になるには、「何を学んだか」ではなく、「何を学び、何を身に付け、何ができるようになったのか？」が問われます。ここに紹介する環境という課題と独自の授業スタイルは、そうした学びの姿勢と素養・実力を身に付ける場となるでしょう。

答えのない複合的な問題を前にして、きっと、より大きな問いも生まれます。例えばそれは、「私たちは世界の課題に対してどのような働きかけができるのか。自分自身はどう動くのか。どう生きて、どのように自分を実現するのか」。成長の中で自問自答と対話を重ねていく。これもリベラルアーツの学びにほかなりません。

## 環境課題を自分ごと化する

「環境研究」では、グループに分かれて自分たちが探究するテーマを設定します。あなたは何を探究テーマとして思い浮かべでしょうか。その問題は、社会にどのように認識され、解決に向けてどのようなアプローチが進められているでしょうか。もしかすると、高校時代に同様のグループ研究をしたことがあるかもしれません。しかし、ICUの授業ではその探究の深さも広さも異なります。

まず、環境に関わる数々の問題を、その根本や広がり、深刻度、解決にはどのような学問分野の協力が必要かなど、多角的な

### 環境問題は、VUCAの時代の代表的課題、人類の緊急課題

地球温暖化、人口増加、エネルギー問題、経済格差などとも密接に関連する。

その多くが、  
人類が初めて直面する課題



これまでの経験が  
そのままには通用しない

- 解決方法には一つの正解があるわけではない！
- 一つの学問分野で解決できることではない！
- 分野横断的に、知識を統合・協働してやってみること、
- そして評価して、もっといい方法がないかを考え、またやってみることが必要

だから、リベラルアーツの出番。その学びをアクションにつなげる、

## 行動するリベラルアーツ！

※VUCAの時代：将来の予測が困難で、変化が激しく不透明な時代  
Volatility(変動性)：技術進化や、それに伴うさまざまな価値観や社会の仕組みが短期間で目まぐるしく変化する。  
Uncertainty(不確実性)：将来の予測が困難な状況。社会の仕組みにおいても過去の慣習が崩壊しつつある。  
Complexity(複雑性)：さまざまな問題が複雑に絡み合っている状況。グローバル化によりさらに複雑化している。  
Ambiguity(曖昧性)：上記の「変動性」「不確実性」「複雑性」が重なり、ものごとの因果関係が曖昧になっている。

視点から学んでいきます。異なる立場の専門家の意見も参考にします。

また、受講者それぞれが情報を集め、クリティカルに見つめ直し、教員や学生同士で対話を重ねていくことになります。自らの理解を深めつつ、さまざまなアウトプットを繰り返していきます。その過程でおそらく問題の見え方・捉え方は変化していきます。日常的な行動も変わっていくかもしれません。机上の学びに終わらずに、自分なりの視点と論拠を持ち、行動変容や他者への働きかけにつながっていく、そんな学びがここにあります。

## 1 世界の見方が変わる

# 思考スタイルや行動を変えていく 「週3回」の授業デザイン

## ■批判的で柔軟な思考を養うために

「環境研究」の授業は、受講生150名のうち約60%が1・2年生、残りの多くは3・4年生で、環境研究メジャーでないばかりか、理系以外の専攻の人も多数います。こうした学年も専攻も異なる人々とグループを組み、対話を繰り返しながら、クリティカル・シンキングとクリエイティビティを磨く場として設計されており、1年生にとっては入学早々にICUの学び方の洗礼を受ける機会といえます。

例えば、環境問題の探究に欠かせないのが、信頼できるデータを収集することです。出典によっては恣意的に一部を切り取っている場合もあり、注意が必要です。また、傾向や推移などを読み取る際には、何とどのような相関関係があるのか、あるいは因果関係があるのかなどを俯瞰して判別する視点が大切です。いわゆる文系学生でも、こうして事実を見極めることは不可欠な素養であり、しっかりクリティカルに考えることが求められます。

また、私たちの目の前にある事柄の「後ろ」に隠れたものを探る視点も必要です。例えば500円で売っているTシャツ。日本でその値段でつくれますか？ 開発途上国で児童労働や過酷な条件での労働が報告されています。では、皆さんはこのTシャツの不買運動をしますか？ その労働の背景には貧困が潜んでいることもあります。不買は貧困を悪化させるでしょう。― 答えの無い問題に、どう創造的に取り組むか。そのトレーニングを繰り返していく授業です。

## ■具体化の壁や意見の相違。その葛藤を経験する意義

どんな現状があって、どう動いて打破するのか。これを考え提案することが各グループに課せられます。テーマは必ずしも地球レベルの話ばかりではなく、例えば「キャンパス内でのカーボンニュートラル」なども含まれます。改善策を具体化する過程では、外部講師、担当教員、ときに学長や理事との対話もあり、いわば社会との対話を経験します。多くの場合、費用や人手、持続可能性などの壁が提示され、クリエイティビティが問われます。

対話とは「自分が持っている価値観を打ち壊してくれるもの」という側面を持ちます。自分の発想の弱点や、異なる立場では別のアプローチが必要だと気付く。真剣に調べて考えた事柄が無駄になることもある。こうしてグループ内でも再考を重ね、意見の調整をして、発表(次ページ参照)をつくり上げていきます。



### 布柴 達男

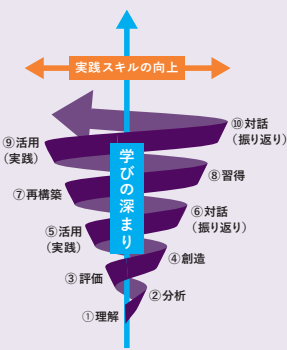
特任教授(生物学／環境研究)

#### Profile

同志社大学工学部卒業。同大学大学院工学研究科博士前期課程修了。医学博士(京都大学)取得。ハーバード大学公衆衛生大学院博士研究員、東北大学大学院理学研究科助手、同生命科学研究科准教授を経て教授。2025年度より特任教授。専門は微生物遺伝学、環境遺伝毒性学、科学教育、環境教育。

### 螺旋的に深まる 学びのイメージ

「環境研究」の授業は、知見の獲得に加えて、クリティカル・シンキングとクリエイティビティを磨く場としても設計されており、授業での学びを行動に移すことで各種リテラシーが螺旋的に身に付いていきます。



### 高密度で進む授業ステップ（2024年度シラバス例）

- 4/10 ガイダンス
- 4/12 環境研究とは？
- 4/15 システムとしてみる環境－物質循環－（環境）
- 4/17 地球気候の崩壊が始まった今、開発が進むカーボンニュートラル、カーボンマイナス製品（客員教授）グループプロジェクトI
- 4/19 考古学で見る環境適応と文化崩壊（考古学）
- 4/22 因果関係を調べるのにデータを集めなければならないのはなぜか？（経営・環境）
- 4/24 環境と放射能（化学・環境）
- 4/26 持続可能な開発とは（環境）
- 4/29 グループプロジェクトII（布柴・藤沼）
- 5/1 休講
- 5/3 持続可能エネルギーの開発（物理・環境）
- 5/6 植物の開花時期と地球温暖化の影響（生物・環境）
- 5/8 スポーツの立場から見る環境保全（生物・環境）
- 5/10 ICUの環境と多様な生物（生物・環境）
- 5/13 グループプロジェクトIII
- 5/15 特別講義 野川公園の環境保全（NPO事務局長ほか）
- 5/17 化学物質のハザード同定とリスク評価（生物・環境）
- 5/20 環境教育・学びをアクションにつなげる意義（生物・環境）
- 5/22 グループプロジェクトIV
- 5/24 特別講義 ESG投資の光と影（ICU理事）
- 5/27 特別講義 ビジネスと人権（コンサルティング企業）
- 5/29 特別講義 サステナビリティと地域創生（仮題）（企業役員）
- 5/31 特別講義 エシカル消費（エシカル協会代表）
- 6/3 ポスターセッションI
- 6/5 ポスターセッションII
- 6/7 ポスターセッションIII
- 6/10 特別講義 気候変動が開発途上国の小規模農家に及ぼす影響（国連FAOプログラムマネジャー）
- 6/12 ディスカッション&リフレクション
- 6/14

「環境研究」の授業は月水金の週3回（10週間全30回、2024年度の場合）、以下のようなさまざまな授業形態を組み合わせて進行します。この進行の中で、授業中の教員・学生同士の対話、ゲストスピーカーとの対話、授業時間外のグループ活動における対話などを螺旋的に積み重ね（左図参照）、環境問題を「自分ごと化」していきます。

- アクティブラーニング型授業（講義＋グループプロジェクト）
- 講義：環境課題の多角的な視点、社会課題との繋がりなどの理解  
人文、社会、自然科学分野の教員、学外の講師による講義
- グループプロジェクト（6人グループ）  
興味ある環境課題について調査・分析する、自身の視点を知る、対話を通して知識の理解を深め、ICUでのアクションを提案
- ポスターセッション（3回）  
プレゼンテーション：毎回プレゼン～peer-assessmentにより発表を工夫
- リフレクション（個人・グループ）  
・何を学んだか、何を考えたか、学びをどのように活かしたいか？  
・履修前後の価値観の変化：自分にとっての環境とは？豊かさとは？





2 全員参加で磨き合う

## 自分なりの課題設定から、解決策の発見、アウトプットまで。授業で自分を鍛える

### 大学とは大きく学ぶところ。まず自分の思い込みを知る

皆さんは、通学途中の景色を誰かに説明できますか？もう一歩進んで、その街並みに隠れた課題を考えてみたことがありますか？私たちは驚くほど周りを見ていません。同様に、勝手に当たり前（ノーマル）だと思い込んでいることがたくさんあります。正しく見て、ノーマルを疑えますか。ある事柄は、自分が見慣れているだけで、誰かにとってはノーマルではないかもしれない。どの分野でも、丁寧に、クリティカルに考えることがとても重要です。

大学とは、大きく学ぶところです。とくに環境は総合的・包括的な分野です。科学であり、社会学、経済学でもある。様々な立場から見て、ある施策がどのような成果や影響、利害をどこに生むのかを知るために大きく学ぶ必要があるのです。問題の広がりや現実などを知り、何ができるかと思考を鍛えるのが「環境研究」の授業です。

### 授業だけで終わらない、自分ごととしての学び

ポスターセッションを知っていますか？これはポスターを使って発表者が研究・学修成果を参加者にプレゼンし、その場で質問に答えていくもので、各種学会で使われている発表手法です。「環境研究」では、このポスターセッションを3回にわたって同じポスターの説明をくり返し行います。くり返すことで、知識の単なる蓄積で終わらず、問いと気づきを重ねることができます。これが、知識の深い理解となり、本当に実を結ぶ学修になっていきます。

さらに、この「環境研究」の最大の特徴として、履修者の多くが意識や行動を変えている点があげられます。環境への意識を「自分ごと」にすることで、学内で環境関連プロジェクトを立ち上げる人や、既存のさまざまなプロジェクトを継承していく人がいます（右ページ参照）。卒業研究で自身の専攻分野と環境との関わりを論文にまとめる人がいます。あるいは、環境系NPOとして活動したり、国際機関やコンサルティングファームに進路を決めたり。この「環境研究」の授業が始まってからの15年間で、確かな潮流を生み出しています。私たち教員や外部講師、関係者も毎年大きな刺激を受けていて、みなさんに会うことを楽しみにしています。さて、あなたならどんな目覚めを実感するでしょうか。是非、自分自身の変化にご期待ください。



藤沼 良典

教授（環境土壌学／森林生態学／環境科学／環境農学／環境保全）

#### Profile

ウィスコンシン大学マディソン校 農・生命科学部土壌学科博士課程修了。土壌学博士。米国、豪州で研究・教育に関わった後、2018年よりICUの准教授を経て2025年度より教授。専門は、土壌学・森林生態学。土壌管理、生態系の物質循環に関する研究を行っている。

## GE「環境研究」ポスターセッション

2023.6.9-6.14



### ポスタータイトル（一部）

- エネルギー問題 ICU：電力消費の未来
- 地球温暖化・気候変動 マイボトルでCO<sub>2</sub>削減～ペットボトルの需要と供給を調整
- ゴミ問題 日本における生ゴミ問題：ICU内の現状と解決法
- 食糧問題 ビーガンズは食料問題を解決しうるか。ICUの第一歩は・・・？
- 水質・海洋汚染 災害だ！水はどこへ？
- 絶滅危惧 学内の絶滅危惧種保全状況
- プラスチック問題 捨てられたプラスチックはどこに行くのか～ICUで出来ること～
- 森林破壊・再生 日本の林業における問題点は？
- 大気汚染 大気汚染の真相と対策
- 開発と持続可能性 持続可能性を踏まえた本館のリノベーション提案
- 倫理的消費 「ファストファッション」と私達—あなたが着ている服の背景、考えたことはありますか？
- SDGs 今の生活いつまで続けるの？～Here's what you need to think to be sustainable & fashionable～
- 環境教育 はたしてレジ袋有料化は意味がある（あった）のか？
- 環境倫理 企業と環境倫理 企業のCSRの評価

3 毎日の行動が変わる

### 授業をきっかけに取り組んだ正課外活動例

#### 絵本翻訳プロジェクト

末吉里花によるエシカル消費についての絵本の英訳、2020年8月出版

#### Snaction：食品ロスへの取り組み

賞味期限間際の食品でお菓子の家をつくって食べ、子どもたちと食の問題を学ぶ  
賞味期限が近い非常食を利用したランチメニュー提案

#### ICUハニープロジェクト：キャンパス内での養蜂

養蜂・蜂蜜の販売と共に農業や環境、生物多様性などについて発信

#### SDGs推進室学生メンバー

ウェブサイト「つながるエシカル」の運営、さまざまなプロジェクトの企画・実施  
●竹林管理と竹細工WS・青空シェアリング ●パタゴニアWorn Wear Project  
●フェアトレード大学認定プロジェクト ●フード（ジビエ、MSC/ASC認証の幸えびメニュー）ほか

#### ブラゴミ削減にむけてリ・リパック導入：ICU SUSTENA

大学食堂のテイクアウト容器を使い捨てからReuse/Recycleへ

#### 啓発活動：E-week（環境を考える、エコを実践する）

セミナー、自然観察会、ワークショップなど

#### 畑プロジェクト：ICU Slow Vill JA東京むさしとの協力

落ち葉で堆肥づくり⇒野菜づくり

#### Table for Two：地産地消＋開発途上国の給食支援

#### 地産地消プロジェクト：三鷹市の農家さんと協力

三鷹産野菜の販売・大学食堂への新メニューの提案

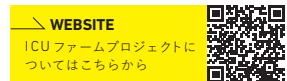
#### 給水機プロジェクト：ペットボトルの使用削減

マイボトルの持参呼びかけ⇒給水機導入



### 環境に関わる取り組みの一つ「ICUファームプロジェクト」

ICUのキャンパス内のわさび田や果樹園など、とくに「食」「農」に関わる活動をするエリアを総称して「ICUファーム」とし、全体の活性化や連携を推進。より多くの学生が食や自然に関心を持つ機会を創出しています。

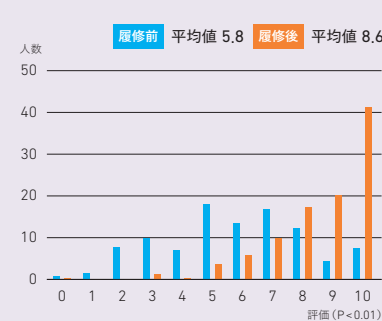


### 受講後に「意識・思考・行動」が変化する授業科目

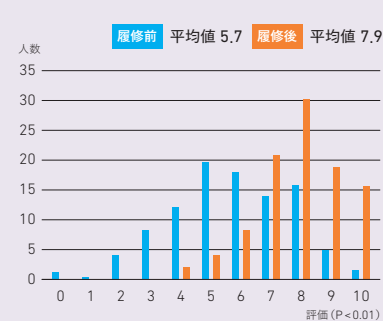
#### 学修目標の自己評価の変化（10点法 2016～2019年度 n=243～245）

ノンパラメトリック 対応サンプルによるWilcoxonの符号付き順位検定

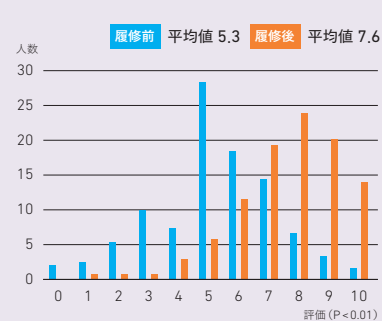
#### 自分なりの環境の視点の気づき



#### クリティカル・シンキング



#### 環境意識向上・アクションの実践





## 4 人生に影響し続ける

### 授業後の学生の感想

## この授業で何が得られるのか

※学生のプロフィールはインタビュー時のものです。



高尾 文子

教養学部 4年 東京都／白梅学園清修中高一貫部出身

Major / Minor 国際関係学／環境研究

2025年8月よりジョンズ・ホプキンス大学（アメリカ）  
高等国際関係大学院進学予定

### 一緒に気候変動対策に取り組む、ICUの仲間になりませんか

「環境研究」で最初に印象に残ったのは、さまざまな“大人（外部講師）”が若者の環境活動を認識し応援してくれていたことです。私は高校で環境団体を設立し活動していたので、非常に励まされました。さらに、ライフサイクル、金融、環境保全など、さまざまなセクターの方々からお話を伺っていくなかで、環境×国際関係の分野に進むことを決めました。その後、環境NGOでの活動を通して、COP27をはじめとした気候変動関連の国際会議に日本ユース代表として参加したり、日本政府や環境大臣などへの政策提言活動、環境教育等促進法の改定に伴う専門家会議に専門家委員として参画させてもらったりと、得がたい経験を積むことができました。

ICUでは「先輩開拓」をお勧めします。先輩や先生方、関係者には頼りになる人がたくさんいるのです。そして同じICUの仲間として、一緒に気候変動対策に取り組んでいきませんか。

### 「多様性」と「対話」。その強みをフルに享受できる授業です

この「環境研究」の授業は、学生への問いかけが多く、アウトプットの間もたくさんあります。つまり自分の考えを問い直したり、学びを生かす「対話」の機会にあふれています。

異なる意見を持つグループ、関係する人々、取材先や関係先の人々との「対話」は、“視点の多様性”という対話の利点をフルに実感できます。例えば、自然を守ることによって人々の生活が損なわれてしまうこともあるなど、環境保全における大事な視点「持続可能性」や多角的な思考について、この授業を通じて学びました。

いろいろな専門分野が関わるので、きっと誰もが興味あるテーマを見つけられると思います。私の場合は以前から環境問題に関心がありましたが、自らが動くことで得られる力よりもさらに大きな可能性を持つ、企業の環境保全コンサルティングの道に進むことを決めました。



豊島 亮

教養学部 4年 東京都／広尾学園高等学校出身

Major / Minor 環境研究／生物学

### 教育的に見てもものすごく効果的だと実感。ICUならではの授業です

「環境研究」はICUの特徴を詰め込んだような授業です。「答えはひとつじゃない」ということも知ってはいましたが、リアルに実感したのはこの授業が初めてでした。また、高校までの学びにはなかった分野間のつながり・横断など含め、新鮮な体験ばかり。まわりの学生もとても意識が高く、私は初めの頃「このままではまずい」と焦ったのを覚えています。

けれども、授業が進展するうちに自分なりの興味が芽生えてきました。「対話をあきらめず、全ての人がwin-winでいられる方法を模索したい」と思い、そのためには「相手にどのように伝えるかが重要だ」と考え、ついに「環境教育」という専門分野を目指す自分にたどり着きました。いま振り返ると、この授業は学びを現実につなげる「実現可能性」を重視して考え抜かれています。だからこそ影響力があります。教育に興味のある方、是非履修をお勧めします。

### 自然や環境問題に対する「知りたい欲求」が高まり、自分の進路が決まりました

高校時代から環境問題への関心はありましたが、社会的事象として「知る」ことにとどまっていました。けれども授業を通して環境問題を自分ごととして考えるようになり、自分ができることを模索し、行動する楽しさを知りました。これが一番の新しい経験で、高校の頃との大きな違いです。私はその先の進路として、母校で食農の切り口から学生がキャンパスの自然に関わる機会を推進していく「ICUファームプロジェクト」のマネージャーに就任しました。ICUで学ぶ皆さんにさまざまな機会を提供していきます。是非「環境研究」を入口に、自然豊かなキャンパスを満喫してください。



堀内 千種

教養学部 2023年3月卒業

静岡県／県立菰山高等学校出身

Major 環境研究（学部時代）

ICUファーム 初代マネージャー

## 必修科目

ICUでは、一般教育科目（下記、キリスト教概論を含む）、語学教育科目（ELA／JLP）のほか、保健体育科目が全学必修科目です。

## キリスト教概論（一般教育科目）

### 献学の理念を体現した全学生必修科目

ICUは国際的社会人としての教養をもって、神と人ともに奉仕する有為の人材を養成し、恒久平和の確立に資することを献学の目的としています。これは、より具体的には、第二次世界大戦という悲惨を受け止め、反省し、単に一国だけではなく、世界全体を視野に入れた、平和と自由と相互理解と責任の感覚を持つ人間、すなわち「責任ある地球市民」を育む教育と表現することができます。わたしたちが「責任ある地球市民」として世界の人びとと喜びを共にしていくにはどうしたらよいのか。また、異質な他者との出会いのなかで、寛容さをもって互いを受容し、活動を共にしていくにはどうしたらよいのか。そういった関心を深く掘り下げて考えていくために、「人文科学」「社会科学」「自然科学」の3つの領域のベースに「キリスト教概論」を用意しています。

シラバスから、学修目標を紹介しましょう。

「キリスト教とは私にとって何か。否定的・肯定的を問わず、この問題に対して、受講者それぞれが自分の考えを説得的に表現できるようになることがこのコースの目標である。これはキリスト教

からの思想的挑戦に、現代に生きる私たちがどう応答するのかということでもある。この授業では信仰の有無や、キリスト教に関する知識をどれだけ習得したかではなく、柔軟な思考と問題解決のために知識を活用する能力を評価する。」



## 保健体育科目

### 身に付けるべき教養としての保健体育

保健体育科目は、本学のリベラルアーツ教育の一端を担う科目として必修になっています。個人の体力や運動能力の向上を重視するこれまでの体育とは異なり、クラスメイトとの関わりの中で自分を知り他者を理解することを基盤とする体育を通じた教養教育を行います。

必修講義科目である「健康科学」のほか、必修実技科目のPEエクササイズⅠ・Ⅱ・Ⅲでは、楽しくからだを動かしながら多様な価値観を共有し、誰でも楽しめるスポーツ・身体活動を通じてリーダーシップ、フォロアーシップ、インクルーシブ等について考え学び、さらに社会人として身に付けるべき健康法や救急安全法などを習得します。また、選択科目として、テニス、バレーボール、水泳、ヨガ、フリークライミング、社交ダンスなどのスポーツ・身体活動が開講されています。加えて自然豊かなキャンパス環境を生かした野外活動など、さまざまな活動が体験できるようになっています。



WEBSITE  
保健体育の具体的な内容と  
科目は？





# 卒業研究

## 全学生が自らの「問い」に挑むリベラルアーツの学びの集大成

ICUの学生は全員、4年次に学びの集大成として卒業論文を執筆します。自らが発見したテーマをここでも多様な学問領域を自由に組み合わせて知識の有機的な結合をはかります。1年間かけて行う「卒業研究」の論文タイトル例を見てください。ICUの学びがいかに創造性を育み、多様性と可能性に満ちているのかがわかるはずです。



## 卒業研究の流れ

ICUでは卒論アドバイザー（教員）の専門的な指導を受けながら、自分の研究したいテーマを絞り、自分のメジャーを中心に関連分野を自由に組み合わせて整理し、論文のかたちにまとめていきます。ゼミ形式だったり、個別指導だったり、教員により指導方法は異なりますが、対話を通して、自分の研究を見直し、テーマへの理解を深めながら卒業論文執筆を進めていきます。



### 私の卒業研究の進め方（例）



#### ライアン・エルネスト・ベラスケス・オレリヤナ

教養学部 4年 Honduras／Private school 出身

**Double Major** 化学／生物学

■ 卒論タイトル : Platinum metal complexes with chalcogen-alkene ligands: Exploring double bond migrations of platinum(II) compounds with thio-alkene ligands

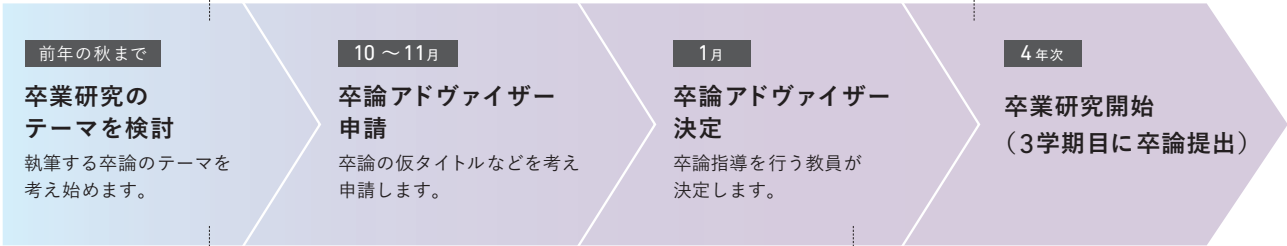
■ 卒論アドバイザー：コウ, ジュリアン R. 教授

#### Point

初めは自分で化学に関する研究テーマを決めようと考えていたのですが、分野が幅広くてなかなか絞りきれず、最終的にコウ先生に相談することにしました。先生の授業はとてもレベルが高いのですが、小テストなどを通じて学生のやる気やポテンシャルをうまく引き出してくれる工夫があり、好感を持っていくつかの授業を受けていました。

#### Point

ケガのためにあきらめたスポーツを治療のおかげで再開できるようになった経験から、スポーツ整形外科医になりたいという夢があり、もともと医学分野に関心がありました。コウ先生の研究室では医学に関する研究をすることができ、実際に抗がん剤の合成に関する研究に取り組んでいた先輩がいたことを知り、自分もこの分野で人と社会に役立つ研究がしたいという思いから、コウ先生に指導をお願いすることにしました。先生との面談、相談を重ねた結果、卒業研究では抗がん剤などにも応用が期待されるプラチナ金属錯体の新たな可能性について探究したいと考えるようになりました。研究では、プラチナ金属に複数の物質を結合させ化学反応を見ていきます。先生からは「自分で推論を立て、得た研究成果について考察し、自分の力でしっかり研究することが大切」との教えを受けながら、進捗を報告するたびに研究の方向性を導いてもらっています。卒業後は、ヨーロッパの大学の医学部に進学したいと思っています。卒業後も、先生の教えを忘れず、人と社会に役立つ挑戦と研究を地道に続けていきたいと考えています。



#### Point

サービス・ラーニングで、バングラデシュの子どもたちに教育支援を行うNPO活動に参加し、障がいのある子どもがほかの子どもたちと区別なく一緒に学ぶ姿を目にしました。一方、日本では特別支援が必要な子どもが一緒に学ぶインクルーシブ教育がなかなか進まない現状があり、そうした分離教育への課題意識と共に解決について興味を抱くようになりました。

#### Point

そこからインクルーシブ教育に関する研究を指導してもらえる先生を探していたところ、過去に同様のテーマを扱った卒業生の卒論を見つけました。その論文の指導教員が布柴先生でした。布柴先生は生物学や環境研究がご専門ですが、インクルーシブ教育に関する調査も行っておられます。相談に伺ったところ快く引き受けてくださり、2年次の頃から先生の指導の下で探究を進めています。先生は私の研究テーマに私以上と思えるほど興味を示してくださり、ことあるごとに研究のヒントになる本や情報を紹介してくださいます。そんな先生に負けないよう私も必死で調査・研究を行い、研究談義に花を咲かせる日々でした。そうした先生との対話の中で気付いたのは、特別支援が必要な子どもとそうでない子どもがともに学ぶことも、子どもに沿った特別支援を維持することも、両方大切だということ。子どもや親御さんが自由に選択できる環境を整えたいうえで、インクルーシブ教育の課題解決について探究を続けていきたいと思います。

### 卒業論文タイトル例

※(E)は英語で執筆されたことを表します。



**Platinum metal complexes with chalcogen-alkene ligands: Exploring double bond migrations of platinum(II) compounds with thio-alkene ligands**

カルコゲンアルケン配位子を有する白金金属錯体：チオアルケン配位子を有する白金(II)化合物の二重結合移動の調査(E)

ライアン・エルネスト・ベラスケス・オレリヤナ

教養学部 4年 Honduras／Private school 出身

**Double Major** 化学／生物学

インタビュー記事は p.46



**「場所」は、なにを内包し、どのように愛着を形成するのか - 下北沢を事例にした質的研究 -**

*What does a "place" embody, and how does it form attachment? - A qualitative study using Shimokitazawa as a case study -*

形部 愛

教養学部 2025年3月卒業 徳島県／徳島文理高等学校出身

**Major** 社会学

インタビュー記事は p.55



**日本における実現可能なインクルーシブ教育に向けて -大阪府豊中市の『ともに学び、ともに育つ』教育の実践-**

*Towards the Feasible Inclusive Education in Japan -Practice of "Learn Together, Grow Together." Education in Toyonaka City, Osaka Prefecture-*

渡邊 宮子

教養学部 2025年3月卒業 東京都／関東国際高等学校出身

**Major / Minor** 教育学／心理学

インタビュー記事は p.46



**No Evidence of Sterile Inflammation or Traumatic Hyperglycemia After Injury to Hepatocyte-like Oenocyte Tissue**

無菌性炎症が引き起こす血糖値異常(E)

野口 瞭一

教養学部 2025年3月卒業 愛知県／東海高等学校出身

**Major / Minor** 生物学／法学

インタビュー記事は p.55



**International Mediation in Conflict Resolution: Exploring State Motivations and Diplomatic Constraints** (予定)

国際調停と紛争解決：国家の動機と外交的制約の探究(E)

山口 ジュリア アルジャン

教養学部 2025年7月卒業予定 アメリカ／Iolani School出身

**Major / Minor** 国際関係学／公共政策

インタビュー記事は p.51



**Science education in Japan ~Strategies for effective teaching and learning in chemistry laboratory classes~**

日本の理科教育 ~化学実験授業における効果的な指導と学習の戦略~(E)

宮本 寛希

教養学部 2025年3月卒業 東京都／安田学園高等学校出身

**Major / Minor** 化学／教育学

インタビュー記事は p.57



**共食体験と宗教的アイデンティティの結びつき -インド・アムリサルにおけるシク教徒の語りから (予定)**

*The connection between communal eating experiences and religious identity - From the narratives of Sikhs in Amritsar, India*

石井 海成

教養学部 4年 千葉県／日本大学習志野高等学校出身

**Major** 社会学

インタビュー記事は p.53



**幼児期の音楽活動が認知・非認知スキルの発達に与える影響**

*The Influence of Early Childhood Musical Activities on the Development of Cognitive and Non-cognitive Skills*

安田 菜々花

教養学部 2025年3月卒業 宮城県／宮城学院高等学校出身

**Major / Minor** 心理学／音楽

インタビュー記事は p.57



**Phonetics and Phonology of Modifier Adjectives in Siswati**

スワジ語修飾形容詞の音声と音韻(E)

位田 隼琉

教養学部 2025年3月卒業 東京都／国際基督教大学高等学校出身

**Major** 言語学

インタビュー記事は p.55



**Microwave Response of Magnetic Vortices in Superconducting Thin Films** (予定)

超伝導薄膜における磁気渦のマイクロ波応答(E)

平野 美愛

教養学部 2025年7月卒業予定 アメリカ／ウェストサイド高等学校出身

**Major / Minor** 物理学／数学

インタビュー記事は p.57

**渡邊 宮子**

教養学部 2025年3月卒業 東京都／関東国際高等学校出身

**Major / Minor** 教育学／心理学

■ 卒論タイトル：日本における実現可能なインクルーシブ教育に向けて -大阪府豊中市の『ともに学び、ともに育つ』教育の実践-

■ 卒論アドバイザー：布柴 達男教授





学びをデザインする

# ACADEMIC PLANNING

あなたが自分自身の問いや可能性を見だし  
それを存分に探究できるよう、自分だけの学びを組み立てます。

自分だけの学びをデザインした経験が、  
その先の人生を豊かにしてくれる

大学で深く知りたいこと、身に付けたい能力は何ですか。それは具体的にどのような学問を選べば実現できるのでしょうか。その答えは、学びながら見つけてください。ICUでは、自分が専攻する学問分野を入学前に決めません。スタートに必要なのは大きな問題関心と、知的好奇心です。リベラルアーツのための語学力とアカデミック・スキルを習得しながら、文系・理系の枠をこえて多くの学問に触れ、時間をかけて、自分が中心的に学ぶメジャー（専修分野）を決めていけばいいのです。

あとからメジャーを決める“later specialisation”だけがICUの特徴ではありません。自分の学びの軸が定まると、改めて他の学問分野との組み合わせが面白くなってくるはず。たとえば、国際ビジネスについて議論するためには法学や心理学の考え方を身につける必要に気付くでしょう。ジェンダーやセクシュアリティについて考えるために、哲学あるいは歴史学を役立てることもできるのです。自分とは異なる分野を専攻する仲間から刺激を受けるのも、リベラルアーツ大学で学ぶ醍醐味です。さらに、交換留学先の授業をメジャーの学びに役立てたり、新しい言語を学んだり、サービス・ラーニングなどのプログラムと組み合わせたりすることもできます。どの授業でも、最先端の研究を続ける教員たちが、皆さんの真剣な問いかけを待っています。

ですから、取るべき科目と順番があらかじめ決められたセット・メニューを選ぶという考え方は、ICUにはありません。メジャーやプログラムの内容を吟味しながら、学生一人ひとりが自分の学びを主体的に組み立てることが求められます。これをアカデミックプランニングと呼びます。

アカデミックプランニングは、4年間の学びを進めながら変化していくのが普通です。テンポのよい3学期制度のメリットを生かして、何度でも修正してください。またアカデミックプランニングは、独りで言う必要はありません。誰もがユニークな学びを追求しているからこそ、ほかのひととの対話が大きな力になるのです。ICUでは入学時からすべての学生にひとりずつ教員アドバイザーがついて、皆さんの学修計画をサポートしています。また、豊富な知識をそなえたアカデミックプランニングサポートのスタッフや学生ピア・アドバイザーたち（IBS）も、いつでも相談に応じます。思い切って、学びの海に漕ぎ出してください。自分だけの学びをデザインした経験は、その先の人生をきっと豊かにしてくれるはずです。



那須 敬

学修・教育センター長／教授  
（西洋史）

Profile

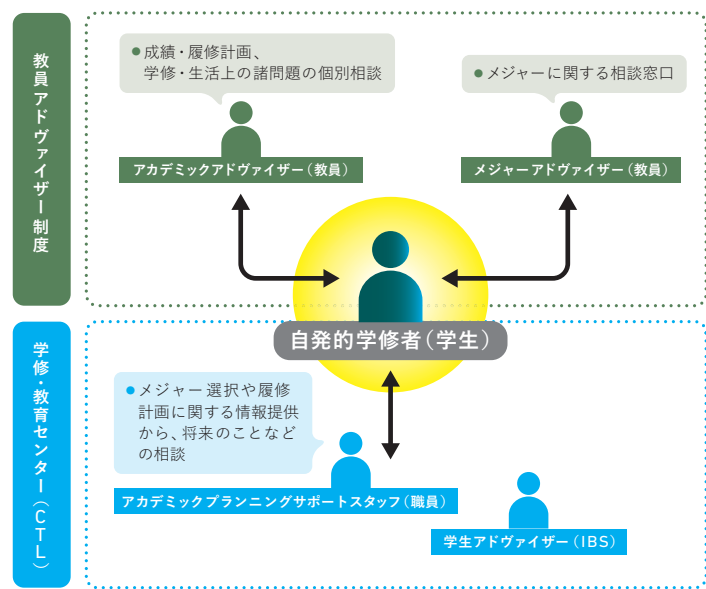
イギリス・ヨーク大学大学院Ph.D.（歴史学）。2001年、ICU着任。歴史学デパートメント長、研究戦略支援センター長などを歴任。専門は近世イギリス史、西洋文化史。最近の研究テーマは17世紀イギリスの聴覚史。



## 自分だけの、主体的なアカデミックプランニングのために

ICUでは、学生一人ひとりが受け身ではなく主体的に学修を進めます。そのため履修についても常に1、2学期先、1年先を見据えると共に、メジャー（専修分野）の選択、卒業研究までの道筋を意識して計画する必要があります。また、留学や教職課程などの各種プログラムと時間的整合性をつけるための工夫や知恵も欠かせません。アカデミックプランニングに「正解」はなく、その自由度の高さゆえに、迷いや悩みを持つ人もいます。ときには道を修正することも必要でしょう。

こうした相談に乗るため、ICUでは異なる視点を持つさまざまなアドバイザーが学生に寄り添い、多角的に支援する体制を組んでいます。どのタイプのアドバイザーであっても、アドバイザーと学生の間にあるのは「個と集団」ではなく、「個と個」の関係です。お互いに相手を尊重し、丁寧に対話します。安易に「答え」を求めるのではなく、むしろ「問い（何を、なぜ、どう学ぶのか）」を中心として対話を進めることが、自発的な意思決定につながっていきます。



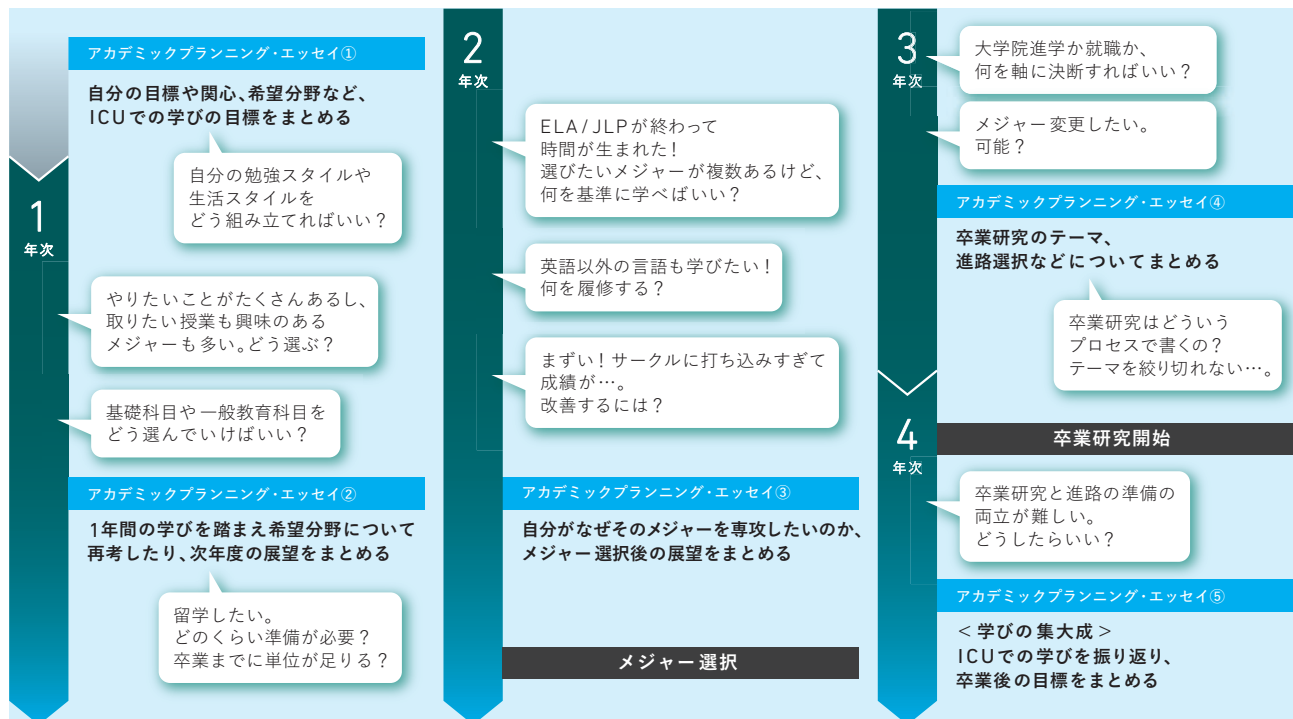
## 迷いながら、相談しながら、自分の道を見つけていく

### アカデミックプランニング・エッセイ [ 入学から卒業まで ]

アカデミックプランニングの支援ツールとして、学生のパーソナルページ（icuMAP）があります。学生は入学から卒業までの節目において、4年間で5回（下図参照）、学びの目的や希望、振り返りなどをアカデミックプランニング・エッセイにまとめ、icuMAPに蓄積していきます。積み重ねられたアカデミックプランニング・エッセイは教員アドバイザーやCTLのアカデミックプランニングサポートスタッフにも共有され、学びの支援に活用されています。



### よくある相談の例と時期



## 対話を通して学びを支えるサポート体制

### 教員アドバイザー制度

#### アカデミックアドバイザー

専任教員がアドバイザーとして学生一人ひとりに付きます。1年次から3年次までは、入学時に指定されたアドバイザーが、4年次からは卒論アドバイザーが指導にあたります。学生は履修計画や卒業研究以外にも、学生生活・成績・進路・就職などに関するさまざまな悩みを相談することができます。

#### 卒論アドバイザー

学生が卒業研究を進めるにあたり、1人に1人必ず付く、論文作成に向けて専門的な指導やアドバイスをを行う教員です。自分の研究テーマに合わせて学生が出した希望をもとに学内検討の結果、決まります。（▶p.46）



#### メジャーアドバイザー

各メジャーにはメジャーに関する窓口となるメジャーアドバイザー（専任教員）がいます。履修相談だけでなく、卒業研究・留学・教職課程・就職・大学院進学など、それぞれのメジャーに関連する内容の相談に専門的視点から対応しています。

#### オフィスアワー

ICUには「オフィスアワー」があります。これは学生からの質問・疑問・相談を受けるために、教員が研究室に在室する時間のことです。学生はこの時間を活用して自身のアドバイザー以外の教員にも、さまざまな相談をすることができます。このようにICUには、学生と教員が気軽にコミュニケーションできる環境が整っています。



### 学修・教育センター（Center for Teaching and Learning）

総合的な学修支援体制として、学修・教育センター（CTL）では、アカデミックプランニングサポートや学生によるピア・アドヴァイジング、ライティングサポートデスク、数量的スキルサポートなど、学修に関するさまざまな支援を行っています。

また学修アクセシビリティ支援、卒業時調査など各種学生調査、ICT活用の支援、そして教員の能力開発（FD）などを通じて、学修環境や教育の質を高めています。



#### ライティングサポートデスク（Writing Support Desk / WSD） ～ライティング能力の本質的な向上をうながす～

WSDでは、研修を受けた学生がチューターとなり、学生の文章作成の支援を行っています。チュートリアルで学生は、自らの文章について語ることで、説明することが求められます。そしてチューターが投げかける質問に答える中で、文章の抱える問題点に気付いていきます。第三者に説明するという行為が学生の「気付き」と「解決」をうながし、自らの力で文章をつむぐ力が養われていくのです。

#### アカデミックプランニングサポート

##### CTLスタッフによるアドヴァイジング

- ICUにおける学びの仕組みについて理解をうながす
- 留学や教職課程などを履修計画に組み込む手助けをする
- 能動的なメジャー選択の実現を後押しする
- 長期的な視点を伴ったプランニング支援を行う

##### 学生による学生のためのアドヴァイジング

「ICU Brothers and Sisters」通称IBSと呼ばれる学生アドバイザーが、頼れる先輩として後輩をサポート。

#### 数量的スキルサポート（Quantitative Skills Support / Qサポ） ～文系・理系の背景にとらわれずに学べる環境を目指す～

Qサポでは、学部生によるラーニングサポーター（略称：LS）が数理・情報科学・統計に関わる一般教育科目や基礎科目の履修に必要な前提知識や基礎知識の習得をサポートします。「共に考え、共に学び合う場」というコンセプトのもと、単に問題の答えや解き方を教えるのではなく、ほかの問題・学修にも応用可能な「学ぶチカラ」を育むことを心がけてサポートします。

### IBS（ICU Brothers and Sisters）からのメッセージ

#### いろんな悩み、解決策を一緒に探ります

こんにちは、IBSです。IBSは2年生から4年生までの学生で構成された学生アドバイザーです。履修や4年間の学び、留学や教職課程など、ICUでの生活におけるさまざまなトピックについて「学生の視点から」アドバイスをを行っています。最大の強みは、「実体験を伴った」「現役学生による」アドバイジングを提供できること。学生の不安や悩みを同じ目線でサポートします。また、相談内容をもとに、学生を大学の適切な部署につなげる窓口としての役割もあります。

高校と違って、大学では4年間の学びの目標とプロセスを自身でつくり上げていきます。特にICUならではの自由な学びには悩みが付きもの。自身も悩んできた私たちIBSのメンバーは、一緒に考え、解決策を探手助けをしたいと思います。どんなに些細なことでも相談できますので、少しでも困ったり悩んだりすることがあるときは会いに来てください。オスマー図書館で待っています。







# OPEN YOURSELF TO A WORLD OF POSSIBILITY THROUGH LIBERAL ARTS AT ICU

## リベラルアーツを通して

「心から情熱を注げることは何か」。  
対話と議論を通して  
それを探るのが、  
ICUのリベラルアーツだと思う

山口 ジュリア アルジャン

教養学部 2025年7月卒業予定  
アメリカ／Iolani School出身

Major / Minor 国際関係学／公共政策

■ 卒論タイトル：International Mediation in Conflict Resolution:  
Exploring State Motivations and Diplomatic  
Constraints (予定) (▶p.45)

■ 夏期留学プログラムを利用。  
ヨーテボリ大学（スウェーデン）に留学

「国際法と国連は、今日の戦争を完全に止めたり防いだりする力を欠いている」。そのことに気づいたときに湧き起こった憤りと無力感が、私を紛争解決のための研究へと突き動かす原点です。私が母国アメリカを離れ日本のICUを志望したのは、国内でアメリカ社会というフィルターを通して世界を見るのではなく、アメリカを客観視できる環境で国際的な問題を考えたかったからです。入学当初は経済学や法学、開発研究、教育学などの授業を履修し、「はたして自分は本当に国際問題を研究したいのか」を自問自答しながら幅広く学びを進めました。3年次に履修した授業で、「現在中東で起こっている紛争は、国際法や国連、国際司法裁判所をいかに動かせば解決できるか」というテーマで先生やほかの学生たちと議論しました。私たちはディスカッションを重ねてその方法を探り、発表し合いました。議論を尽くした末、先生がおっしゃったのが冒頭の言葉です。「ではいったいどうすれば？」。世界への理不尽な思いと共に、私たち学生と先生との議論の応酬が始まりました。そうしたなか、気づいたことがあります。それは、「国際法や裁判のシステムの外で、第三者による調停や解決策を探ってはどうか」ということ。私の学びへの情熱が、一気に『調停と裁判外紛争解決』というテーマに傾いた瞬間でした。ジュネーブで国際調停代理人の資格を取得できることを最近知り、それも非常に興味深いキャリアの道だと感じました。自分の情熱が深まるにつれて調べるなかで、そのような選択肢があることを初めて知ったのです。そんな私から皆さんに言えることは、「自分は何を学ぶことに情熱を注げるか」をリベラルアーツで探ってほしいということ。自分の心が突き動かされるテーマとの出会いを、ここICUで楽しんでほしいと思います。

## 学びの軌跡

一人ひとり学び方が異なるのがICUの自然なスタイル。  
春・秋・冬の3学期制のなか、学期ごとに自分で学びをデザインします。（アカデミックプランニング▶p.47）

### 学びの ターニング ポイント

4年間の学びのなかで、振り返ればここが転機だったという学期の時間割を紹介します。

授業科目の凡例： JLP 一般教育科目 保健体育科目 専門科目  
授業時間<sup>※1</sup>： 1限 8:50～10:00 2限 10:10～11:20 3限 11:30～12:40 4限 13:50～15:00<sup>※2</sup>  
5限 15:10～16:20 6限 16:30～17:40 7限 17:50～19:00

※1 授業時間は、受講当時の時間割です（2025年度から変更）。  
※2 火曜日と木曜日の4限は13:15～15:00です（～2024年度）。  
※授業名が日本語→日本語開講、英語→英語開講。

| 1 年次 | 秋 学期                                    | 冬 学期                           | 春 学期                                                |
|------|-----------------------------------------|--------------------------------|-----------------------------------------------------|
| 1 限  | JLP (日本語J3)                             | JLP (日本語J4)                    | JLP (日本語J5)                                         |
| 2 限  | JLP (日本語J3)                             | JLP (日本語J4)                    | JLP (日本語J5)                                         |
| 3 限  | International Perspectives on Education | Principles of Macro economics  | Peace Studies I                                     |
| 4 限  | Physical Education Exercise I           | Physical Education Exercise II | International Organization & United Nations Studies |
| 5 限  | JLP (日本語J3)                             | 中級日本語学習者のための読書・漢字1             | 中級日本語学習者のための読書・漢字2                                  |
| 6 限  | JLP (日本語J3)                             | Introduction to Christianity   | Physical Education Exercise III                     |
| 7 限  | Health Science                          |                                |                                                     |

すでに国際関係学を専攻したい気持ちがあったものの、自分自身の本気度を探るため、さまざまな分野の授業を履修しました。このアプローチにより、世界に対する視野と理解が広がりました。

★ **International History** 歴史的な視点から国際関係学の基礎的な理解を深め、大国が現代の国際システムを形成する役割に焦点を当てて学びました。私の国際関係学への興味を深化させ、研究の基礎を築いた授業でした。

| 2 年次 | 秋 学期                                        | 冬 学期                           | 春 学期                                               |
|------|---------------------------------------------|--------------------------------|----------------------------------------------------|
| 1 限  | JLP (日本語J6)                                 | JLP (日本語J7)                    | Politics and International Relations in Europe     |
| 2 限  | JLP (日本語J6)                                 | JLP (日本語J7)                    | Political Science (C)                              |
| 3 限  | World of Physics (B) - Answers from Physics | 西洋古典の世界                        | 環境研究                                               |
| 4 限  | Introduction to Film Studies                | Introduction to Foreign Policy | 環境研究                                               |
| 5 限  | メディアと記号                                     | 西洋古典の世界                        | 環境研究                                               |
| 6 限  | メディアと記号                                     | 西洋古典の世界                        | 環境研究                                               |
| 7 限  | Peace and Intergroup Relations              | Basic Theory of Music I        | Politics and International Relations in South Asia |

私にとって多くの刺激を受けた学期でした。ヨーロッパ、南アジア、アフリカに焦点を当てた国際関係学の授業を複数履修し、世界の各地域の歴史や文化、政治について深く掘り下げることができました。

★ **Politics and International Relations in South Asia** 南アジアの政治史、国際関係、社会経済的課題について深く掘り下げました。植民地主義、分割、ナショナリズム、民主主義、権威主義、地域紛争などについて活発に議論を行い、国際関係学への興味が高まりました。

メジャー「専修分野」選択

3 年次

秋 学期

冬 学期

春 学期

|     | MON                            | TUE                     | WED                                       | THU                     | FRI                            | SAT |
|-----|--------------------------------|-------------------------|-------------------------------------------|-------------------------|--------------------------------|-----|
| 1 限 |                                | Foreign Policy Analysis |                                           |                         |                                |     |
| 2 限 |                                |                         |                                           |                         |                                |     |
| 3 限 |                                | International Law I     |                                           | International Law I     |                                |     |
| 4 限 | Principles of American Studies | Persuasion and Language | Principles of American Studies            | Persuasion and Language | Principles of American Studies |     |
| 5 限 |                                |                         |                                           |                         |                                |     |
| 6 限 |                                |                         | Foreign Policy Challenges in Indo-Pacific |                         | Constitutional Law II          |     |
| 7 限 |                                |                         |                                           |                         |                                |     |

| MON                                | TUE | WED                                        | THU                                           | FRI                  | SAT |
|------------------------------------|-----|--------------------------------------------|-----------------------------------------------|----------------------|-----|
|                                    |     |                                            |                                               |                      |     |
|                                    |     |                                            |                                               |                      |     |
|                                    |     |                                            |                                               |                      |     |
|                                    |     | Advanced Studies in International Security |                                               |                      |     |
|                                    |     |                                            | ★ Advanced Studies in International Relations |                      |     |
| Comparative Political Institutions |     |                                            |                                               | International Law II |     |
|                                    |     |                                            |                                               |                      |     |
|                                    |     |                                            |                                               |                      |     |

| MON       | TUE                                           | WED                         | THU | FRI                                      | SAT |
|-----------|-----------------------------------------------|-----------------------------|-----|------------------------------------------|-----|
|           | Politics and International Relations in China |                             |     |                                          |     |
|           |                                               | Beginning Rhythms and Dance |     |                                          |     |
|           |                                               |                             |     |                                          |     |
|           | A History of the World in Thirty Objects      |                             |     | A History of the World in Thirty Objects |     |
|           |                                               |                             |     |                                          |     |
| Spanish I |                                               |                             |     |                                          |     |
|           |                                               | Spanish I                   |     |                                          |     |
|           |                                               |                             |     |                                          |     |

3 年次 冬のポイント

国際関係学の上級コースを履修し、志を同じくする仲間の分析や議論を深く楽しむことができた学期でした。1年次から磨いてきた分析力と批判的思考力がどれだけ向上したかははっきりと確認できました。

★ **Advanced Studies in International Relations** 外交官、行政官、平和維持活動家、世界政治における国連事務総長の役割を探究しました。特に外交と紛争解決に関する議論がとても面白く、国際関係学、国際外交への情熱を決定づける授業となりました。

4 年次 卒業論文執筆／5 年プログラムへ向けて、大学院授業の履修開始





リベラルアーツを通して

知的好奇心の赴くままに  
越境した四年間。  
自分自身との出会いを、  
ICUは僕に与えてくれた

石井 海成

教養学部 4年  
千葉県／日本大学習志野高等学校出身

Major 社会学

■ 卒論タイトル：共食体験と宗教的アイデンティティの結びつき  
- インド・アムリトサルにおけるシク教徒の語りから  
(▶p.45)

入学直後は、開講されている授業数の多さと幅広さに圧倒され、とりとめもなくさまざまな授業を履修していたように思います。卒業後の夢や進路を決めきれていなかった私は、こうした授業に加え、好奇心の赴くままに学内外の学生団体での活動に力を注いでいました。

大きな転換点となったのが、2年次の秋学期に履修した社会学の授業で出合った「社会学的想像力」や「シンボリック相互作用論」という概念です。私たちの小さな日々の行動と社会全体との結びつきについて体系的に説明がなされており、感動の中でまるで恋に落ちるようにメジャーを選ぶことになりました。毎回の授業を通して、いままで自分が生きてきた社会の見え方が組み直されていく喜び。あたりまえだと思っていたことが議論の中で覆され、新たな知の地平線が次々と現れる楽しさ。ICUの授業では、社会学に限らず、そんな経験が幾度もありました。

一方で、社会学を研究することで私はどう世界のために貢献できるのだろう、と悩んだのもこの頃です。学問分野を越境することで、世界が異なる角度で見えることを学んでいた私は、大学という枠を越境してこの問いに答えることとしました。1年間の休学中は4社でインターンをし、経験と資金を積みながら、終盤には世界中をバックパッカーとして周り、問いへの答えと共に、卒業論文の「共食」というテーマも旅の中で見つけることとなりました。

しかし、こうした歩みは一人で行えたものではありませんでした。ICUの授業や学生団体で出会った、己と向き合い、悩みながらも行動することを是とする友人たちが、そばで共に悩み、支えてくれたことで、私は自分の可能性を少しずつ広げてくれたのだと思います。

これからもICUで得た学問、人、言葉との出会いを人生の根幹にして、時には遠回りもしながら、自分らしく歩んでゆきたいと思っています。

学びの軌跡

一人ひとり学び方が異なるのがICUの自然なスタイル。  
春・秋・冬の3学期制のなか、学期ごとに自分で学びをデザインします。（アカデミックプランニング▶p.47）

学びの  
ターニング  
ポイント

4年間の学びのなかで、振り返ればここが転機だったという学期の時間割を紹介します。

授業科目の凡例： ELA 一般教育科目 保健体育科目 専門科目  
授業時間<sup>※1</sup>： 1限 8:50～10:00 2限 10:10～11:20 3限 11:30～12:40 4限 13:50～15:00<sup>※2</sup>  
5限 15:10～16:20 6限 16:30～17:40 7限 17:50～19:00

※1 授業時間は、受講当時の時刻制です（2025年度から変更）。  
※2 火曜日と木曜日の4限は13:15～15:00です（～2024年度）。  
※授業名が日本語→日本語開講、英語→英語開講。  
※ELAの時刻制は、2023年度の開講実績から組んだモデルスケジュールです。

| 1年次         | 春 学期                                                                                          | 秋 学期                               | 冬 学期                               |
|-------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|
| 1 限         |                                                                                               | Academic Reading and Writing (ARW) |                                    |
| 2 限         | Academic Reading and Writing (ARW)                                                            | Reading and Content Analysis (RCA) | Academic Reading and Writing (ARW) |
| 3 限         | ★カルチュラル・スタディーズ入門                                                                              | 世界のことばと人々                          |                                    |
| 4 限         | Tutorial (ARW)                                                                                | Academic Reading and Writing (ARW) | Academic Reading and Writing (ARW) |
| 5 限         | Academic Skills (AS)                                                                          | Academic Skills (AS)               | Reading and Content Analysis (RCA) |
| 6 限         |                                                                                               | PEエクササイズ II                        | 健康科学                               |
| 7 限         |                                                                                               |                                    |                                    |
| 1 年次 春のポイント | 講義では自分の意見が求められ、発言の積極性が評価されるという、高校までの学びとは全く異なるスタイルに驚きました。これまで学び知っていると思い込んでいたことを根底から問い直された時期です。 |                                    |                                    |

| 2年次         | 春 学期                                                                                           | 秋 学期                                                                 | 冬 学期                                  |
|-------------|------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------|---------------------------------------|
| 1 限         |                                                                                                |                                                                      |                                       |
| 2 限         | Environmental Politics and Philosophy: Nature, Food, and Agriculture                           | Environmental Politics and Philosophy: Nature, Food, and Agriculture | Approaches to Sociological Research   |
| 3 限         | The World of Sign Languages                                                                    | Introduction to Contemporary Psychology                              | Research Writing (RW)                 |
| 4 限         |                                                                                                | Persuasion and Language                                              | Statistics for Business and Economics |
| 5 限         | 教育におけるICT活用の理論と方法                                                                              | Introduction to Contemporary Psychology                              | International Political Economy       |
| 6 限         | 中国語 I                                                                                          |                                                                      | Sociology of Religion                 |
| 7 限         |                                                                                                |                                                                      |                                       |
| 2 年次 秋のポイント | 学期のテーマを宗教に定めて履修。キリスト教概論の内容が宗教人類学の講義で繋がったり、政治学との関連が見えたりと、人や世界の営みに興味を深める窓が少し繋がって見えたような楽しさを感じました。 |                                                                      |                                       |

メジャー【専修分野】選択

3年次

春学期

秋学期

冬学期

|    | MON              | TUE                          | WED                                   | THU                          | FRI              | SAT |
|----|------------------|------------------------------|---------------------------------------|------------------------------|------------------|-----|
| 1限 |                  | 社会学的研究へのアプローチ                |                                       | 社会学的研究へのアプローチ                |                  |     |
| 2限 | History of Islam |                              | History of Islam                      | Religion and Global Politics | History of Islam |     |
| 3限 | 日本伝統芸能の世界        | Religion and Global Politics | 日本伝統芸能の世界                             |                              | 日本伝統芸能の世界        |     |
| 4限 |                  |                              |                                       |                              |                  |     |
| 5限 |                  |                              |                                       |                              |                  |     |
| 6限 |                  |                              | グローバル・エコシステムと生物学的多様性の視点から見たサステイナビリティー | ★<br>質的社会学分析Ⅰ                |                  |     |
| 7限 |                  |                              |                                       |                              |                  |     |

|  | MON    | TUE                           | WED                           | THU                          | FRI    | SAT |
|--|--------|-------------------------------|-------------------------------|------------------------------|--------|-----|
|  |        | Introduction to Film Studies  |                               | Introduction to Film Studies |        |     |
|  |        |                               | Comparative Study of Cultures |                              |        |     |
|  | 東洋思想概論 | Comparative Study of Cultures | 東洋思想概論                        |                              | 東洋思想概論 |     |
|  |        | 「災害」の人間・社会・文化                 |                               | 「災害」の人間・社会・文化                |        |     |
|  |        | アジア社会・文化論                     |                               | 質的社会学分析Ⅱ                     |        |     |
|  |        |                               |                               |                              |        |     |
|  |        |                               |                               |                              |        |     |

|  | MON   | TUE     | WED | THU     | FRI                        | SAT |
|--|-------|---------|-----|---------|----------------------------|-----|
|  |       |         |     |         |                            |     |
|  |       | 食と農の社会学 |     | 食と農の社会学 |                            |     |
|  |       |         |     |         |                            |     |
|  | 都市社会学 | 社会学概論   |     |         | Sociology of Organizations |     |
|  |       |         |     |         |                            |     |
|  |       |         |     |         |                            |     |

3年次 春のポイント

休学を経て得た実生活での気付きを社会学というフレームワークで見つめ直し、新たな視点で人の在り様や行動の本質について考察を進めることの楽しさを味わった1年でした。

★「質的社会学分析Ⅰ」講義では同じ受講生とグループを組み、研究理論も含めて社会学的調査の進め方を学び、2学期にわたってインタビュー調査を実施。研究することの難しさと楽しさを両方味わったカリキュラムでした。

4年次 卒業論文執筆



## 私が自分の道を決めるまで（学びのケーススタディ）

### CASE STUDIES IN LEARNING

Step 1



ICUで学んだのは、  
分からないことに向き合う楽しさ

位田 隼琉 教養学部 2025年3月卒業  
東京都／国際基督教大学高等学校出身

Major 言語学

■卒論タイトル：Phonetics and Phonology of Modifier Adjectives in Siswati (▶p.45)  
■夏期留学プログラムを利用。Freie Universität Berlin International Summer and Winter University (ドイツ)に留学

#### 言語学を学ぶため、 定評のあるICUを志望

小・中学校ではフィリピンや中国から来たクラスメイトと親しくなり、タガログ語や英語、中国語に触れて育ちました。ICU高校では2/3が帰国生という環境で学び、世界各国の言語の多様さに興味を持ちました。そうするうち、国によって異なる言語でも似たニュアンスや言葉づかいがあることに気付き、「なぜなのかを調べたい」という欲求が高まりました。調べてみると「言語学」という学問分野があり、しかもICUはその分野で定評のある大学でした。「多様な言語にあふれる環境で言語学を探究したい」。それがICUを選んだ理由です。

Step 2

#### 自分の思考と徹底して戦うこと、 それがクリティカル・シンキング

学問と向き合ううえで重要な気付きを得られたのは1年次に履修したELAです。さまざまなテーマで議論を行う際、先生はこうアドバイスしてくれました。「AかBかという答えを決めるとき、どちらでもないという結論だっていいんだよ。大切なのは自分の思考と徹底して戦うこと。それがクリティカル・シンキングだ」。これまで「正解を言わないといけない」という教育を受けていた自分に、自ら考えることの自由と、考えることから逃げてはいけない厳しさを教えてくれたのです。このことが結論のない課題に取り組む姿勢の原点となりました。

Step 3

#### 先生も学生も立場を超えて 切磋琢磨し合える環境

現在は、スワジ語の修飾形容詞の音韻論についての研究を進めています。言語学には自然科学のような目に見える根拠やデータを得られるわけではないので、歴史言語学や生成文法、音韻論や音声学などさまざまな分野での研究がなされ、学説も多岐にわたります。ある先生は「それだけ言語学には解明が難しいことが多く、実は言語学者も私自身も分からないことが多い。しかしだからこそ魅力的なのだ」と言いました。先生も学生も答えのない課題に挑む者同士として対等に議論と研究を重ねる。そんな学び心地のよさを、私はICUに感じています。



悩み、模索し、自分で道を切り拓く  
自由がここにある

形部 愛 教養学部 2025年3月卒業 ICU大学院 博士前期課程(5年プログラム)  
公共政策・社会研究専攻(社会文化分析専修)  
徳島県／徳島文理高等学校出身

Major 社会学(学部時代)

■卒論タイトル：「場所」は、なにを内包し、どのように愛着を形成するのか  
- 下北沢を事例にした質的研究 - (▶p.45)  
■交換留学プログラムを利用。アイスランド大学(アイスランド)に留学

#### 東京なのに、広大な森が 広がっていることに驚き

高校時代に初めてICUを訪れた際、「こんなに広いんだ」と驚きました。東京の大学はどこもガヤガヤしているのかなと思っていたのですが、ICUには広大な森が広がっていて、キャンパスの至る所で英語が飛び交い、学生や留学生、先生方が楽しそうに談笑していました。ICUに入学した高校の先輩から「勉強が好きなら絶対この大学だよ。学問の話で盛り上がりたり刺激し合ったりできる友達がたくさんいるから」と言っていたことは本当なんだ、と実感でき、入学を決めました。

#### 「運命は自分で切り拓くもの」。 その言葉でスイッチが入った

入学後、私に一つの転機を与えてくれたのは「キリスト教概論」での先生の言葉です。私はクリスチャンで「全ては神様の采配」といった宿命論にとらわれていた時期がありました。しかし先生は「神様があなたの運命を決めるわけではない。自分で切り拓くものだよ」と一言。そこから「自分は何を学び、どんな道を切り拓きたいのか」を悩み模索する日々が始まりました。「知らない世界を知り、知らない人と出会って話したい。そして知らない国に行って多くを学びたい」。そんな思いから社会学を専攻し、アイスランドへの留学を決めました。

#### 留学で芽生えた新たな興味と、 研究テーマ

留学先にアイスランドを選んだのは、人口約40万人と小国ながら、環境先進国、男女平等先進国と評される豊かな国に成長した理由を知りたかったからです。留学先での大きな成果は、「地域住民が街を愛し誇りを持てる都市計画をいかに進めるか」をテーマにした授業に出会えたこと。「地方創生にはお金をかけた開発だけではなく、住む人の想いが大切なのだ」。この気付きが「場所は、地域住民の愛着にどう作用するのか」という現在の研究につながっています。大学院進学後も「愛される場づくり、街づくり」をテーマに研究を進めるつもりです。



農業の未来を支える法曹へ

野口 瞭一 教養学部 2025年3月卒業  
愛知県／東海高等学校出身

Major / Minor 生物学／法学

■卒論タイトル：No Evidence of Sterile Inflammation or Traumatic Hyperglycemia After Injury to Hepatocyte-like Oenocyte Tissue (▶p.45)  
■SEAプログラムを利用。ウィスコンシン大学ミルウォーキー校(アメリカ)に留学

#### 先生との対話から生まれた、 人に尽くす思い

「理屈屋」だと高校時代の友人からは言われ、自分でもそう思っていました。ICUに入学後も、理屈や理論を積み重ねていくイメージのあった自然科学系のメジャーや法学を学びたいと思い、1年次から重点的に履修。そんな自分の転機となったのは、ある先生との対話でした。「神の愛とは何か」という私の質問に、先生は「親が子に対するように見返りを求めない愛」だと答えました。「自分は人に、何を差し出せるだろう」。ただ自分の知的好奇心を満たすのではなく、「誰かの役に立つ何かになりたい」という思いを抱くようになりました。

#### 生物学と法学の学びが 結びついた瞬間

次の転機となったのは、「自然科学総合演習」という授業です。農業会社の社員の方が講師として招かれ、遺伝子組み換え作物の安全性審査について話をしてくださいました。「ビタミン不足を解消するお米を遺伝子組み換えで開発したものの、激しい反対運動が起こり認可も下りなかった。遺伝子組み換え＝悪と決めつけるのではなく、科学的理解のもとにメリットとデメリットのバランスを総合的に考慮したうえで法的判断が下されてほしい」。興味のある生物学と法学が結びついた瞬間でした。農業や生命科学に知見のある法曹になるという目標意識が芽生えました。

#### 未来の農業ビジネスを支える 弁護士を目指して

もう一つ、現在の自分を形成するうえで重要だと思うのは、「ICU HONEY PROJECT」というキャンパス内での養蜂活動への参加です。ただ「生き物が好き」という興味で入ったのですが、環境保護活動に取り組んでいる学生や、養蜂業が抱える課題解決に挑んでいる学生など、常に何かに取り組んでいる実践者たちにたくさん出会うことができました。「だったら自分は？」。周りから刺激を受け見つけた自分なりの答えは、ロースクールへ行って弁護士を目指すこと。新たな品種開発の承認申請や知財管理など、未来の農業ビジネスを下支えする力になりたいと考えています。



# 私が自分の道を決めるまで（学びのケーススタディ）

## CASE STUDIES IN LEARNING

Step 1

### 英語文献 への 視野を広げたELA

「好きな化学を学びたい。将来先生になりたいので教育学も学びたい。英語でも教えられるようになりたい」。ICUでの4年間は、そんなとりとめもない学びへの期待が一つにつながる出会いの連続だったといえます。その一つめはELAです。英語の記事や論文を読み、先生との1対1の面談で丁寧な添削やアドバイスを受けながらレポートを英語で作成する。このトレーニングを続けるうち、日本だけでなく海外の化学に関する文献に目を通すことが苦でなくなり、学びや研究へ向けた情報収集の量が大きく変わったと実感しています。



漠然とした学びへの期待が  
一つにつながる出会いの連続

宮本 寛希 教養学部 2025年3月卒業  
東京都／安田学園高等学校出身

Major / Minor 化学／教育学

卒論タイトル：Science education in Japan ～Strategies for effective teaching and learning in chemistry laboratory classes～（▶p.45）

### 私の好奇心に、 リベラルアーツならきっと応えてくれる

私がICUを目指した原点は、高校生の頃に参加した海外プログラムで台湾少数民族の歌や舞踊に触れ、からだが震えるほど感動した体験にあります。人が音楽に心を動かされるメカニズムを学問的に探究したい思いから、音楽や心理学、言語学も学びたいと思い始めました。それと同時に、教育学にも関心がありました。そんな私の知的好奇心にICUのリベラルアーツなら応えてくれると思い入学しました。入学後の1年間は、心理学、言語学、音楽、教育学を中心に面白そうな分野をあれこれ履修。実際に学んでみると、興味が深まる分野が見えてくるようになりました。



心理学、言語学、音楽、教育学。  
迷ったからこそ本当に探究したいことに出会えた。

安田 菜々花 教養学部 2025年3月卒業  
ICU大学院 博士前期課程（5年プログラム）  
心理・教育学専攻（心理学専修）  
宮城県／宮城学院高等学校出身

Major / Minor 心理学／音楽（学部時代）

卒論タイトル：幼児期の音楽活動が認知・非認知スキルの発達に与える影響（▶p.45）

### 日本で物理を、 ネイティブな英語環境で学びたい

父の仕事の関係で小学時代と高校時代はアメリカで育ちました。大学は日本で進学したい気持ちと、「物理を学びたい」という希望の両方をかなえられるのがICUでした。ICUは日本の大学でありながら、先生方と「ネイティブな」英語で対話が期待できることも決め手となりました。入学後は、物理学をメインに関連する自然科学系メジャーの授業を幅広く履修。たまたまクラスメイトが「素粒子物理学は難解すぎる。難解すぎて楽しい」と話しているのを聞き、「だったら自分も!」とチャレンジすることにしました。はじめから授業を受けるだけで100%理解できるとは思っていませんでしたが、友人たちと研究論文や関連サイトをひたすら読みあさり情報交換する日々が続きました。



「専門を深めながら、視野を広げる」  
この姿勢を大切に素粒子物理学を究めたい

平野 美愛 教養学部 2025年7月卒業予定  
アメリカ／ウェストサイド高等学校出身

Major / Minor 物理学／数学

卒論タイトル：Microwave Response of Magnetic Vortices in Superconducting Thin Films（予定）（▶p.45）

Step 2

### 教育とはこんなにも クリエイティブなもの

二つめは、3年次に受けた「理科教育法」との出会いです。気圧への理解をうながすためにペットボトル内で雲を作るなど実験教材を自ら考案する授業で、「教育とはこんなにもクリエイティブでワクワクするものなのか」と感動しました。またサービス・ラーニングでは、小学生を対象としたNPO法人主催の科学教室に参加。自ら考案した実験教材で子どもたちが目の色を変えてワクワクする姿を目の当たりにし、「化学を楽しく教えられる教員になりたい」という意志を固めるきっかけとなりました。

### 心理学への関心と、 音楽との関わりを深める

「言語学はちょっと想像と違うかも。教育学はもう少し学んでみたいかも」。軸とするメジャーを決めかねていた私に一つの転機が訪れました。2年次に履修した「知覚心理学」です。錯覚を起こす脳の構造や認知プロセスについて学んだのですが、そこから「では、音や音楽が脳で処理されるプロセスは?」という新たな疑問が生まれました。ちょうどその頃、私は休眠状態だったICU歌劇団を再び立ち上げたり、ICU Glee Clubで歌唱に加え指揮者も務めたりと、課外活動で音楽との関わりを深めていました。

### 卒業論文は、 ロシアの研究生との共同研究

そんな自分にあるチャンスが訪れました。先生から「平野さん、つくばで行われるKEKサマーチャレンジに挑戦してみたら?」とお声がけいただいたのです。東海村にある巨大な高エネルギー加速器を用いた実験など、素粒子研究のダイナミックさを肌で感じる体験でした。この体験が、東京大学が実施するICEPP量子研究サマープログラムへの参加、同施設でのインターンシップ挑戦につながりました。現在は、ロシア人の研究者とパートナーを組み、量子コンピュータ開発につながる基礎研究を進めています。

Step 3

### いかに効率よく、効果的に、 子どもたちをワクワクさせられるか

しかし同時に、教育実習での答案添削などの作業を通じて教職がいかに手間ひまのかかる仕事を痛感しました。この体験が、効率化することで教員の作業負担を軽減し、かつ子供たちに効果的な授業を行うための教育手法をどのように考案するか、という卒業研究のテーマに結びついています。現在グループワークが学校教育でも積極的に取り入れられていますが、手法や進めかたによって一長一短があるという仮説を立て、ディスカッション型や作業分担型などさまざまな授業法を検証。子どもたちに学ぶワクワクを伝えられる教員としての足掛かりにしたいと考えています。

### これまでの学びと経験が 一つに結びつく運命の出会い

2年次から履修した5学期連続の心理学の研究法の授業で統計的アプローチに惹かれたと同時に、音楽理論の授業では音程やリズムの数学的なパターンに面白さを感じました。ここにさらに教育の要素を入れ、卒業研究は「幼児期の音楽活動が認知・非認知的スキルの発達に与える影響」をテーマに研究を行いました。大学院では、特に幼児の集団歌唱に焦点を当てながらこの研究を続ける予定です。学びたいことをあれこれ欲張り、じっくり悩み、試行錯誤してきたからこそ「これだ!」と確信できる学問に出合える。それがICUのリベラルアーツの魅力だと思います。

### 物理の世界に夢中だった自分に 新しい視点をくれたリベラルアーツ

まさに「科学こそがこの世界を解明するのだ」と思い学んできた私ですが、ICUのリベラルアーツで一つの啓示を得た体験がありました。それは4年次に履修した哲学・宗教学の授業です。授業を通して、このまま科学だけを突き詰めていて本当によいのか、言い換えれば、自分の専門分野を深めるだけでなく、もっと広い視点が必要なのではないか、という問いと向き合いました。この問いは、科学という枠に閉じこもっていた私に、科学そのものへの批判的思考と、より大きな世界への視野を与えてくれました。「どうすれば人は、世界は幸せになれるのか」。この問いを胸に、科学にできることを考え続けたいと思います。



学びの拡がり

# EXTENDING YOUR LEARNING

あなたが自分自身の問いや可能性を見だし  
それを存分に探究できるよう、自分だけの学びを組み立てます。

巻頭特集

ICUの教育の特長

学びをデザインする

学びの拡がり

進路支援

キャンパスライフ

大学院

入学者選抜概要



留学・海外体験

# INTERNATIONAL PROGRAMS

97 in 41 + 41  
Universities Countries and Regions Programs

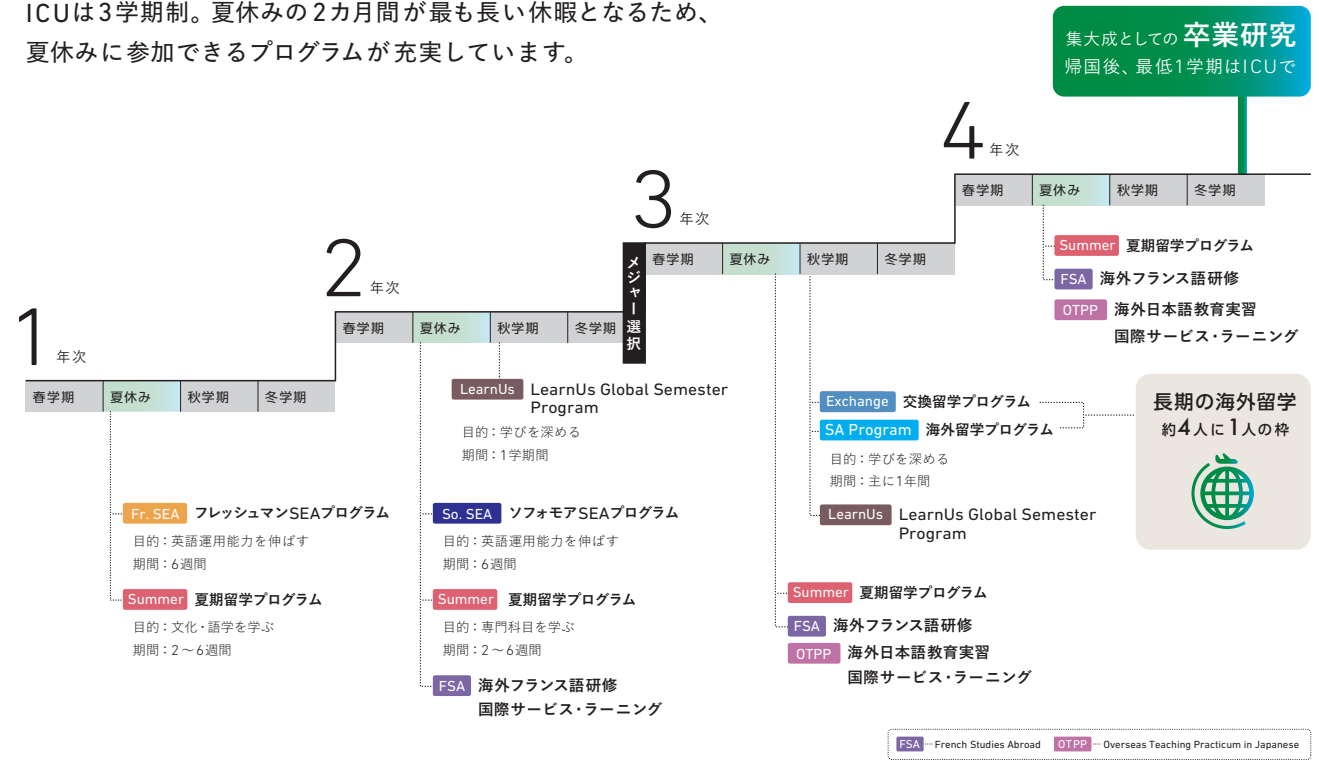
世界41カ国／地域 97大学 41プログラム。(2025年1月現在)  
国家の枠にとらわれない立場を目指すICUの使命を映すプログラム。

ICUの学びの特徴は、主体的な学びにあります。そのため、留学についても、参加を義務化することはなく、学生一人ひとりが自らの学びの計画・目的にあわせて留学を選択できる環境を整えています。留学をしている間もICU生であることに変わりはなく、留学先で修得した単位は審査を経て、ICUの単位として認定されるため、4年間で卒業することが可能です。異文化のもとで学び・生活することにより相互理解を深める留学は、ICUでの学びをさらに深めてくれます。



## ICUでの留学ステップ

ICUは3学期制。夏休みの2カ月間が最も長い休暇となるため、夏休みに参加できるプログラムが充実しています。

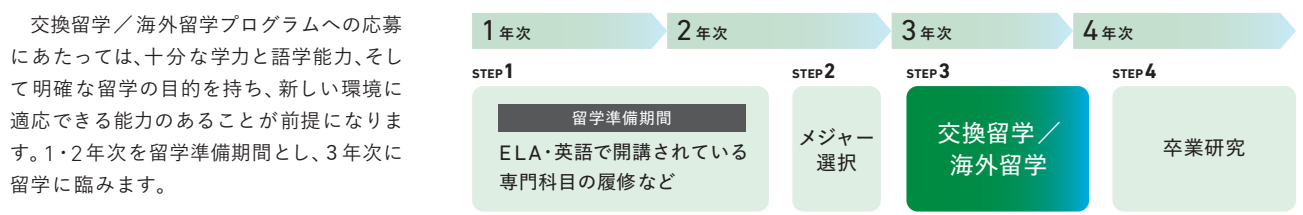


## 留学に向けた準備

留学までの道筋を整理し、4年間のスケジュールを考えることで、自分に必要な学びや時間の使い方が見えてきます。留学の目的を見極めTOEFL、IELTSなど英語力や成績の向上など、しっかり準備しましょう。(▶p.66)

ここでは交換留学／海外留学プログラムを利用して、3年次に1年間留学するケースを紹介します。

### ▶ 留学へのステップ



### ▶ 留学までのスケジュール

| 2 年次 |        |                                                          | 3 年次 |         |                                                      |
|------|--------|----------------------------------------------------------|------|---------|------------------------------------------------------|
| 秋学期  | 9月初旬   | 留学希望者への応募説明会                                             | 春学期  | 4月～6月下旬 | 派遣先大学から結果通知到着<br>(ビザ申請、寮の申し込みなど渡航準備)<br>第2回オリエンテーション |
|      | 9月下旬   | 留学体験報告会・留学フェア                                            |      |         |                                                      |
|      | 10月中旬  | 申請書提出                                                    |      |         |                                                      |
| 秋休み  | 11月中旬  | 書類選考(TOEFL、IELTSなどのスコア、申請時までの成績、留学目的についての英文エッセイなど) ▶p.66 | 夏休み  | —       | 渡航                                                   |
|      | 11月下旬  | 二次選考(書類選考合格者のみ)                                          | 秋学期  | —       | 派遣先大学での授業開始                                          |
| 冬学期  | 12月上旬  | 最終選考結果発表                                                 | 4 年次 |         |                                                      |
|      | 1月中旬   | 参加誓約書提出・参加申込金振込                                          | 夏休み  | —       | 帰国                                                   |
|      | 12月～4月 | 派遣先大学へ願書などの必要書類の提出                                       | 秋学期  | —       | 派遣先大学で修得した単位の編入手続き<br>ICUでの授業履修再開                    |
|      | 3月上旬   | 第1回オリエンテーション                                             | 冬学期  | —       | 卒業論文提出                                               |

●4年次以降に交換留学に参加することも可能です。ただし、その場合は卒業時期が異なります。



留学も学びの選択肢の1つ。主体的な学びを深める多彩なICUの留学プログラム

留学先は、世界41カ国／地域 97大学 41プログラムにわたります。国際交流室が支援する下記留学プログラムは、すべて単位取得を目指すプログラムです。留学中に取得した単位は帰国後、審査を経て編入することが可能です。

※2025年1月現在

海外英語研修（SEA）プログラム

Fr. SEA So. SEA

期間：6週間、7月～8月中旬（1・2年次対象）

夏休みを利用した6週間のプログラムで英語運用能力を伸ばす SEAプログラム ▶p.26／学生の声 ▶p.65

海外英語研修プログラム(Study English Abroad Program、略称SEAプログラム)は、夏休みを利用し、異文化体験をしながら集中的に英語を学習することで視野を広げ、英語でコミュニケーションできる力を身に付けるプログラムです。自分がマイノリティとなる経験を通して、自分を知る、自信を持つなど、自分自身の内面的成熟も期待されています。

1年次対象の「フレッシュマンSEAプログラム」と2年次対象の「ソフォモアSEAプログラム」のいずれか一方に参加できます。

海外留学を経験したことがない人には積極的に参加してほしいプログラムです。

交換留学プログラム

Exchange

期間：主に1年間（ICUの3学期間、秋～春学期）（3年次以上対象）

海外の大学で自身の学びを深める 学生の声 ▶p.65

ICUに在籍したまま留学先の大学で主に1年間学びます。参加学生はICUに通常の授業料を納め、原則として留学先大学の授業料が免除されます。そのほかの費用は本人負担となり、金額は留学先によって異なります。学生4人に1人ほどの割合で交換留学枠があり、留学に参加しても4年間で卒業することが可能です。

海外留学プログラム

SA Program

期間：1学期間～1年間（3年次以上対象）

学生のニーズに応える特色ある海外留学プログラム

ICUに在籍したまま、大学間協定のある世界トップレベルの海外大学、またはアメリカの非営利教育団体であるCIEE※1およびIES※2が実施するプログラムで、1学期間から1年間学びます。参加学生は協定校授業料またはプログラム参加費等を支払い、留学中のICUの授業料の納付はありません。

※1 CIEE＝Council on International Educational Exchange    ※2 IES＝Institute for the International Education of Students

▶CIEEプログラム

●Lego, Ghana ●Cape Town, South Africa ●Prague, Czech Republic ●Monteverde, Costa Rica ●Gaborone, Botswana

▶IESプログラム

●Vienna, Austria ●Paris, France ●Freiburg, Germany ●Dublin, Ireland ●Milan/Rome, Italy ●Madrid/Granada/Barcelona, Spain ●Galápagos Islands, Ecuador ●Buenos Aires & Santiago, Argentina & Chile ●Sydney, Australia ●Auckland/Christchurch, New Zealand

夏期留学プログラム

Summer

期間：2週間～6週間、主に7月～8月中旬（全学年対象）

夏休みを利用し海外の大学や研究機関で興味のある専門科目を学ぶ

本学の交換留学協定校等が開催するサマープログラムに参加する短期留学プログラムです。参加可能プログラムは年度により異なりますが、2025年度は、アジア、北米、欧州のプログラムと、CIEEが運営する中南米など世界各地で開催されるプログラムの中から、各学生の目的に合わせて参加することができます。留学期間は2週間～6週間と参加するプログラムにより異なります。短期の海外プログラム参加後に長期留学に挑戦する学生も多くいます。

▶その他の夏季実施のプログラム

●France 海外フランス語研修 FSA Université Toulouse Jean Jaurès ●Australia 海外日本語教育実習 「日本語教員養成プログラム」▶p.69 OTTP ●4 countries 国際サービス・ラーニング ▶p.67

FSA French Studies Abroad OTTP Overseas Teaching Practicum in Japanese

アジアキリスト教大学連盟（ACUCA）プログラム

ACUCA

期間：1学期間（主に 秋学期）（3年次以上対象）

アジアキリスト教大学連盟（ACUCA）を通した 留学（4カ国11大学）

アジアのキリスト教主義高等教育機関の相互協力のために発足したACUCA（Association of Christian Universities and Colleges in Asia、https://acuca.net/newacuca/）には、インド、インドネシア、韓国、タイ、台湾、フィリピン、香港、日本という8つの国と地域から50以上の大学が加盟しています。ICU生は、「Student Mobility Scheme」を通して、これら加盟校のうち4カ国11大学で、主に秋学期の1学期間学ぶことが可能です。

ミドルベリー大学との協定を通した留学制度

Middlebury

期間：1年間（ICUの3学期間、秋～春学期）（3年次以上対象）

Middlebury C.V. Starr プログラム

全米で常にトップ10に名を連ねるリベラルアーツ大学、ミドルベリー大学(Middlebury College)との交換留学協定を通じて、イギリス・オックスフォードまたはイタリア・フィレンツェで学ぶ留学制度です。参加学生は、ミドルベリー大学などアメリカの大学生と共にそれぞれの専門科目の学びを深めます。

LearnUs Global Semester Program

LearnUs

期間：1学期間（秋学期）（2年次以上対象）

日韓の仲間と共に一つのテーマを深く学際的に学ぶ

韓国の延世大学校Underwood International College(UIC)とICUが実施する秋学期1学期間の留学プログラムです。ICU、UIC 双方から約10名ずつ学生が集まり、前半はICUで、後半はUICで、テーマに基づいた講義やフィールドトリップに参加します。

派遣先大学一覧

▶ Europe 36 universities

Belgium

• Université Libre de Bruxelles Exchange

Denmark

• Aarhus University Exchange Summer

Estonia

• University of Tartu Exchange

Finland

• Tampere University Exchange

France

• Université Paris Cité Exchange  
• Université Toulouse Jean Jaurès Exchange FSA

Germany

• Freie Universität Berlin Exchange Summer  
• University of Münster Exchange

Iceland

• University of Iceland Exchange

Italy

• Sapienza Università di Roma Exchange  
• School in Italy Middlebury\*

Lithuania

• Vytautas Magnus University Exchange

Netherlands

• Maastricht University Exchange  
• Tilburg University Exchange

Poland

• University of Warsaw Exchange

Russian Federation

• The Moscow State Institute of International Relations Exchange

Slovak Republic

• Bratislava International School of Liberal Arts Exchange

Spain

• The Universidad de Málaga Exchange Summer

Sweden

• University of Gothenburg Exchange  
• Linnaeus University Exchange

United Kingdom

• Birkbeck, University of London Exchange  
• Cardiff University Exchange  
• University of Cambridge Summer  
• University of Durham Exchange  
• The University of East Anglia Exchange Summer  
• The University of Edinburgh Exchange  
• University of Essex Exchange  
• Goldsmiths, University of London SA Program  
• University of Leeds Exchange Summer  
• The London School of Economics and Political Science SA Program  
• University College London SA Program Summer  
• The University of Manchester Exchange  
• Newcastle University Exchange  
• The University of Sheffield Exchange Fr. SEA  
• University of Sussex Exchange  
• School in Oxford, England Middlebury\* Summer  
• School of Oriental and African Studies, University of London Exchange  
• York St John University Exchange

▶ Asia & Oceania 34 universities

China / Hong Kong

• The Chinese University of Hong Kong Exchange Summer  
• The University of Hong Kong Exchange  
• Hong Kong Baptist University Exchange ACUCA  
• Lingnan University Exchange ACUCA  
• Nanjing University Exchange  
• Nanjing Normal University Exchange

Indonesia

• Atma Jaya Yogyakarta University ACUCA  
• Parahyangan Catholic University ACUCA  
• Petra Christian University Exchange ACUCA  
• Soegijapranata Catholic University ACUCA

Korea

• Ewha Womans University Exchange Summer  
• Handong Global University ACUCA  
• Hannam University ACUCA  
• Keimyung University ACUCA  
• Korea University Exchange  
• Soongsil University ACUCA  
• Yonsei University Exchange Summer LearnUs

India

• Ashoka University Exchange  
• Lady Doak College Exchange

Philippines

• Ateneo de Manila University Exchange  
• De La Salle University ACUCA  
• University of the Philippines Exchange  
• Silliman University Exchange

Singapore

• National University of Singapore Exchange Summer

Taiwan

• Fu Jen Catholic University Exchange  
• National Chengchi University Exchange  
• Tunghai University Exchange

Thailand

• Mahidol University Exchange  
• Thammasat University Exchange

Australia

• The University of Queensland SA Program  
• Queensland University of Technology Exchange  
• (Local high schools) OTTP

New Zealand

• The University of Auckland Fr. SEA  
• The University of Waikato Exchange

▶ North & South America 28 universities

Canada

• University of Alberta Exchange  
• The University of British Columbia Exchange Fr. SEA Summer  
• British Columbia Institute of Technology Exchange  
• McGill University Fr. SEA  
• University of Victoria Fr. SEA So. SEA  
• University of Windsor Exchange

United States

• University at Buffalo, The State University of New York Exchange  
• University of California Exchange  
• Berkeley Summer  
• Davis  
• Irvine  
• Los Angeles  
• Merced  
• Riverside  
• San Diego  
• Santa Barbara  
• Santa Cruz  
• Drexel University Exchange  
• Duke University SA Program  
• Georgetown University Exchange  
• Grand Valley State University Exchange  
• Guilford College Exchange  
• University of Massachusetts Amherst Exchange

Chile

• Pontificia Universidad Católica de Chile Exchange

Colombia

• Pontificia Universidad Javeriana, Bogotá and Cali Exchange

Thailand

• Middlebury College Exchange  
• The University of North Carolina at Chapel Hill Exchange  
• The Ohio State University Exchange  
• University of Pennsylvania SA Program Summer  
• Pomona College SA Program  
• Rutgers, The State University of New Jersey Exchange  
• The University of Tennessee, Knoxville Exchange  
• Washington and Lee University Exchange  
• Washington State University Exchange  
• Western Washington University Exchange  
• Wilkes University Fr. SEA  
• The College of Wooster Exchange

\* 大学数には含まれていません



## 留学体験者の声

## 海外英語研修（SEA）プログラム（1・2年次対象）

留学先: The University of Auckland（ニュージーランド）SEAプログラム ▶p.63

吉澤 汀子

教養学部 2年  
千葉県／佐倉高等学校出身学び成長することの本質と  
楽しさに触れた6週間

「せっかく春学期に身につけた英語力。夏に磨かないのはもったいない」。夏休み期間を利用して留学できるSEAプログラムは、英会話に自信のない私にはうってつけでした。留学先は、マオリ族の文化や多民族国家に関心があったのでニュージーランドを選択しました。留学し始めたころは他国の学生とのグループワークになかなかついて行けない状態でしたが、2週目を過ぎたあたりで少しずつ思ったようにコミュニケーションが取れるようになりました。3週目にはむしろディスカッションが楽しいと思えるようになりました。そうしたなかで印象的だったのは、マオリ族の聖地とされる山に登ったフィールドワークで、引率の先生がどの学生よりも好奇心を全開にしてガイドの方に話しかけていた姿です。「うわあ、それは知りませんでした。勉強になりました!」。教える立場になっても、初めて知ること、学ぶことを純粋に喜び、楽しむ。私にとってこの留学は、英語力の向上だけでなく学ぶことの本質と楽しさに触れた6週間でした。

香港でしか出会えない  
自由と民主主義への熱い想いに触れた1年間

「言語と、国や民族のアイデンティティは、切っても切り離せない問題なのだ」。私は香港大学での交換留学を経験し、そのことを肌身で感じました。中国本土で主に使われている言語が北京語であるのに対し、香港の人たちは単語も発音も文法も異なる広東語を話しています。なぜそうなのかを現地の学生たちに聞くと、彼らは「香港の自由と民主主義を守りたい」と熱を持って語り始め、自身のアイデンティティとしての広東語に強いこだわりを抱いていることを知ったのです。私は言語学を専攻しており、科学的アプローチから研究を進めていますが、社会と言語と人の想いは密接につながっているということにも深い興味を覚えるようになりました。また香港大学では、言語によって擬音語・擬態語が全く異なることを授業で学び、留学前からの研究対象であった南アフリカの言語研究に新たなヒントを得ることもできました。日本では決して得られない出会いを数多く体験することが、留学の最大の魅力だと私は思います。

長谷川 康

教養学部 2025年3月卒業  
神奈川県／横浜国際高等学校出身

Major 言語学

## 交換留学プログラム（3年次以上対象）

留学先: 香港大学（香港特别行政区）

交換留学プログラム ▶p.63

## その他の国際交流

ICUキャンパスで実施される国際交流プログラムを通して国際的な視野を養う機会を多くつくるための取り組みがあります。

## ▶ 二つの語学交流プログラム

ICUでは、Language Buddies、Language Tablesという学生同士が語学を通して交流を深める2つのプログラムを実施しています。

Language Buddiesは英語学習者と日本語学習者をマッチングしてペアをつくり、1対1でそれぞれの言語の会話を楽しむオンライン言語学習・交流プログラムです。主に海外協定校の学生とICU生とが週1回程度自由に時間を調整して交流しています。

もう一つのLanguage Tablesは学期中のランチタイムに、日本語、英語、中国語、フランス語など、言語ごとのグループで集まり、複数人での会話を楽しむプログラムです。



## ▶ ICU国際サマープログラム（ISPJ）

毎年7月に、世界中の日本語学習者とICU生を対象としたICU国際サマープログラム（International Summer Program in Japan）をICUキャンパスで実施しています。

本プログラムは、二つのコースから構成されており、海外参加者を対象としたタスク方式の日本語の授業と、海外参加者とICU生を対象として、文化、歴史、社会、経済、哲学・宗教、芸術、環境など日本のさまざまな側面に焦点を当てたテーマ別のオムニバス形式の要素で構成されている日本研究コースがあります。



## ICU留学・体験学習支援奨学金

学業成績が優秀であるにもかかわらず、経済的な理由で留学や教育プログラムへの参加機会を失う学生を一人でも減らすことを目的に、ICU独自の奨学金として新たに2025年度から設置されました。各留学プログラム参加者を対象に募集と選考を行い、下記の項目を支援します。

▶ 海外英語研修（SEA）プログラム、夏期留学プログラム  
プログラム費一部▶ 海外フランス語研修  
渡航費一部▶ 交換留学プログラム／海外留学プログラム  
寮費一部▶ 海外留学プログラム  
派遣先授業料一部

なお、ICUの留学プログラム参加者のうち約72.5％が海外留学のための国もしくは民間の奨学金（給付型）を得て留学しています（2023～2024年度交換留学／海外留学プログラム参加学生実績）。

## FAQs

## Q. 留学するのに必要な成績・英語要件を教えてください。

A. プログラムによって異なりますが一例として、交換留学／海外留学プログラム学内選考の基準はGPA(累積)3.00以上、TOEFL 79点以上、IELTS6.0以上(6.5以上が望ましい)です。また希望する協定校が求めるGPAや英語要件を満たす必要があります。

## Q. 留学にかかる費用を知りたいです。

A. おおよその目安としては次の通りです(2024年度参考)。

## ● 交換留学プログラム

留学期間中ICUの授業料・施設費を納め、原則として派遣先大学の授業料は免除（一部例外あり）。

## ● 海外留学プログラム

派遣先大学の授業料またはプログラム参加費等を支払い、留学中ICUの授業料納付は無し。

※上記2プログラムについては、渡航費、海外旅行傷害保険料、住居費、生活費等は別途自己負担。

## ● 海外英語研修（SEA）プログラム

プログラム費、渡航費、海外旅行傷害保険料、住居費として約78万円～110万円。研修校により、住居費に食費を含む。

## ● 夏期留学プログラム

プログラム費、住居費として約20～100万円。渡航費、海外旅行傷害保険料等は別途自己負担。

※上記、いずれも派遣先によって金額が異なる。

WEBSITE

各留学プログラムの詳細は？  
学生はどんな留学体験をしているの？



## メジャーと組み合わせて学ぶ 「行動するリベラルアーツ」としての実践的科目

選択科目 サービス・ラーニング Service-Learning

### 世界や日本の地域社会でのサービスを通して「現場」を体験し、学び方も生き方も変える

サービス・ラーニング(SL)は、現場体験を伴う実践型教育プログラムです。学生は自発的な意思に基づいて約1カ月間無償でボランティア(サービス)活動に従事し、大学での学びを社会に還元すると共に、その経験の振り返りを通して学問的な学び(ラーニング)に生かします。プログラムでの経験や新たな視点が、その後の専修分野の選択、卒業論文、卒業後の職業選択の基盤となった学生も数多くいます。

「行動する地球市民を育てる」という教育理念のもと、ICUは、日本におけるサービス・ラーニングの先駆者として普及を牽引してきました。近年では教員主導サービス・ラーニング・コースの開講、SL奨学金制度の設置、メジャー科目での単位認定(コリスティング制度)の実現など、一層の充実を進めています。

#### ▶ 国際サービス・ラーニング

主にアジア圏のパートナー大学のプログラムに参加し、現地のNPOや公的機関でサービス活動を行います。2022年からは南アフリカのプログラムも展開しています。開発、教育、福祉などさまざまな分野で、世界をフィールドにサービス活動を通して学ぶことができます。

#### ▶ コミュニティ・サービス・ラーニング

国内のNPOや公的機関でサービス活動を行います。活動先は、ICUと長年関わりのある三鷹や全国各地の団体のほか、学生が自らの関心に沿った活動先を開拓することもできます。活動先を見つけるプロセスや現場を通じて、身近な地域社会について深く学ぶことが大きな魅力です。

#### ▶ JSL (Japan Service-Learning) プログラム

海外のパートナー大学から招聘した学生をICUの学生がサポートし、2～3週間、三鷹市周辺の小中学校や施設、およびキャンパスでさまざまな活動に携わります。多国籍の学生とICUの学生がコミュニティに共に関わることで、お互いの視点から地域社会やサービス・ラーニング活動について学びます。



#### Students' Voices サービス・ラーニングに参加した先輩たちの声

- |                                                                                                                                     |                                                                                                                             |                                                                                                                         |                                                                                                                            |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>● 旅行では行くことのできない農村での活動やホームステイを通して、インドネシアのリアルな生活を知ることができてとてもよかったです。</p> <p>インドネシア<br/>Petra Christian University<br/>での国際SLに参加</p> | <p>● プログラムは全体を通して興味深い内容で、環境問題や教育、貧困など、さまざまな分野に関して考えを深めることができました。</p> <p>南アフリカ<br/>University of Cape Town<br/>での国際SLに参加</p> | <p>● 核や平和についてアカデミックな内容と実社会での活動のアプローチをバランスよく感じられて、全体を通して非常に良い経験ができました。</p> <p>日本<br/>長崎平和推進協会・長崎大学<br/>でのコミュニティSLに参加</p> | <p>● 自分だけではこのような環境に飛び込むことはできなかったと思います。国境を越えていろいろな人の話を聞くことができたことが一番印象に残っています。</p> <p>日本<br/>栃木県・アジア学院<br/>でのコミュニティSLに参加</p> |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

#### ■ サービス・ラーニング奨学金制度

全ての学生が経済的背景にかかわらずサービスに携わること、リベラルアーツ教育にふさわしい経験的学修の機会を開くことを目的とした奨学金制度を設けています。選抜された学生に対して、費用の一部を補助します。

選択科目 教職課程 Teacher Certification Program

### 人を育てることを自らの使命とし、思考力・実践力を備えた教師の育成を目指す

教師という職業は、子どもたちの人生に関わる大変責任の重い職業で、自らの生き方をも問われます。それは、専門職として人間を相手に、「人のために役に立つ」「人を生かす」という生きがいと喜びを見いだせる素晴らしい職業です。

公立、私立を問わず、日本国内の学校において教職に就こうとする人は、必要な授業を履修し単位を修得したうえで、教員免許状を取得しなければなりません。計画的に履修することで取得を希望する校種・教科の教員免許状が得られます。

また、国際バカロレア(IB)認定校でIB教員として教壇に立つために必要な資格を本学の大学院で取得することもできます。



#### 取得できる教員免許状の種類

[中学校教諭1種免許状]

国語、社会、数学、理科、外国語(英語)、宗教

[高等学校教諭1種免許状]

国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語(英語)、宗教

選択科目 学芸員課程 Curatorial Training Program

### 博物館・美術館で働くエキスパートを育てる

博物館・美術館などで、資料の収集・保管・展示や、そのための調査・研究に携わる専門職員が「学芸員」です。

リベラルアーツに根ざしたICUの学芸員課程の特色と目的は、幅広い教養と学識を備え、国際性を支えるための語学力を持ち、さらに実務的能力にも長けた人材を養成することにあります。

2年次より履修を行い、実習を含む所定の単位を修得し、学位を取得すると「学芸員課程修了証書」が授与され、学芸員となる資格が与えられます。どのメジャーを選択しても、資格の取得は可能です。必修科目である博物館実習は、学内の博物館である湯浅八郎記念館で行います。





選択科目 日本語教員養成プログラム Japanese Language Teacher Training Program

日本語非母語話者に対する日本語教育者をめざすプログラム

日本語非母語話者に対する日本語教育に携わる人材の育成を目的としています。プログラムの核となる必修科目では日本語教員としての専門能力に不可欠な知識と技能を習得し、その一方で、日本語教育の背景をなす分野を選択科目として履修することにより、幅広い知識を身に付けます。履修要件を満たした学生は、夏休み期間を利用した3週間のオーストラリア中等教育機関での海外日本語教育実習に参加することもできます。所定の単位数を履修した者には、ICUより履修証明書が授与されます。

Pick up

国家資格「登録日本語教員」の取得が可能

2024年4月に国家資格「登録日本語教員」が創設されました。本学の日本語教員養成プログラムは、登録日本語教員の資格取得に係る経過措置としてCルート(ただし、2033年3月31日まで)の適用を受けています。本学のプログラムを修了し、文部科学省の「日本語教員試験」(基礎試験は免除、応用試験のみ受験)に合格することで、「登録日本語教員」の国家資格を取得することができます。実践研修も免除されます。

プログラムの理念

- 1 日本語教育の専門性と独自性を学問的に明確にすること
- 2 日本語教育の専門性において質の高い教員を養成すること
- 3 日本語教育現場では多言語・多文化接触が不可避であるため、教育者である前に一人の市民として豊かな国際感覚や人間性を備えている教員を育てること



他大学との連携

ICUは、教育と研究のさらなる発展を目標として国内の大学と組織的な教育研究の連携・交流を推進しています。

慶應義塾大学SFC との連携 ★

2021年11月、ICUと慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス(SFC)の総合政策学部、環境情報学部および大学院政策・メディア研究科(以下、慶應義塾大学SFC)は、両大学学部・研究科がそれぞれの特色および教育研究資源を生かして相互に連携・協力し、有為な若者の育成、教育の充実に寄与することを目的とした包括協定を締結しました。2022年度より両大学学部間での単位互換制度を実施しています。

長崎大学 との連携

2019年3月、ICUは長崎大学と「包括的連携協力に関する協定」を締結しました。この協定は、従来の研究者間の共同研究に加え、学部生・大学院生の教育や学術資料の共有など、今まで以上に幅広い分野での連携・協力を強化し、学術の発展と若者の育成に取り組んでいくことを目的としています。協定に基づき、学部生による長崎でのサービス・ラーニング活動が行われており、大学院レベルでは一部の研究科で双方の科目履修や研究指導を受けることが可能です。

多摩アカデミックコンソーシアム ★

多摩アカデミックコンソーシアム(TAC)は、1995年4月に結成された大学協力機構で、現在は多摩地区にあるICU、国立音楽大学、武蔵野美術大学、東京経済大学、東京外国語大学、津田塾大学の6大学が加盟しています。多摩地区の比較的小規模の特色ある大学が、相互協力と交流を深め、教育研究活動の推進をはかろうとするもので、下記のような活動を行っています。

多摩アカデミックコンソーシアム(TAC)の主な活動

- 単位互換
- 図書館の相互利用
- 地域社会との協調
- 学生・教職員の交流
- 大学共同の広報活動

東京外国語大学 との連携 ★

2009年4月、ICUは東京外国語大学と「教育・研究等の連携・協力に関する基本協定書」を締結しました。グローバルな視点に立脚した共通の目標を持ちながらも異なる特長を持った2つの大学が、交流を深め、さらに発展することを目指しています。学部、大学院での単位互換に加え、両大学図書館の相互利用を行っています。

北陸先端科学技術大学院大学 との連携

2014年8月、ICUは北陸先端科学技術大学院大学(JAIST、石川県能美市)と推薦入学協定を締結しました。JAISTは最先端の研究内容と優れた研究環境に加え、階層的で国際的な専門教育システムを誇る大学院大学です。JAISTとICUは、以前より教育研究連携協定を締結しており、連携講座を設置するなど学術交流を進めてきましたが、両大学の強みを生かした連携を強化するために、推薦入学協定を締結し、優秀な本学の学部生をJAISTが受け入れています。

筑波大学 との連携 ★

2016年4月、ICUと筑波大学は、両大学におけるトランスポーター化を推進することを目的とした連携および協力に関する協定(Campus-with-Campus)を結びました。キャンパス機能を相互に共有し、両者の教育研究資源を積極的に活用した教育を展開しています。ICUの学生は、1学期間もしくは2学期間、筑波大学においてメディカルサイエンス、スポーツ科学、芸術分野をはじめ、さまざまな分野において卒業研究指導を受けることが可能であり、学生寮に入寮することもできます。また、科目履修も可能です。

上智大学 との連携 ★

2018年5月、ICUは上智大学と教育・研究の特色および資源を生かして相互に連携・協力し、有為な若者を育成し、教育の充実をはかることを目的に、「連携及び協力に関する包括協定」を締結しました。キリスト教精神を根幹に持ち、社会のために奉仕する学生を育むICUと上智大学は、創立当初より日本の大学の国際化を牽引してきました。従来の研究交流、教職員間の交流・情報交換に加え、単位互換を実施しています。

グローバル5大学(G5) 連携

2012年8月、ICU、国際教養大学、上智大学、立命館アジア太平洋大学、早稲田大学は、グローバル5大学連携協定を締結しました。日本の高等教育のグローバル化を一層推進するために、グローバル社会に貢献可能な若者を育てる教育方法や学生支援体制に関する情報共有、共同教育やファカルティ・ディベロップメント、スタッフ・ディベロップメントの共同運用などを目指し、交流が行われています。

\*本協定は、2010年4月にICU、国際教養大学、立命館アジア太平洋大学、早稲田大学が締結した4大学間協定に、上智大学を加え、新たに5大学間協定として締結したものです。

東京農工大学 との連携 ★

2013年10月、ICUは東京農工大学と両大学のさらなる発展を目指して、教育、研究を中心に幅広く連携をはかり、また、双方の学術研究の成果を広く世界に発信・還元することを目的に、「連携・協力の推進に関する基本協定書」を締結しました。

東京農工大学は、農学、工学およびその融合領域を基盤とした教育・研究に強みを持つ大学で、ICUの5キロ圏内と近く、教員・学生間での教育・研究分野での交流や、単位互換制度を実施しています。

奈良先端科学技術大学院大学 との連携

2016年3月、ICUは奈良先端科学技術大学院大学(NAIST、奈良県生駒市)とグローバル人材の育成等を推進するため連携・協力の推進に関する基本協定を締結しました。以前より本学教員による集中講義を含む交流が行われてきましたが、今後は、双方の講義を利用したカリキュラム設計、学生交流などの教育連携、シンポジウム、ワークショップの共同開催、さらには共同研究やそれに基づく教育への発展等が期待されます。

★=単位互換制度あり



## 5年プログラム

# 5-YEAR PROGRAM

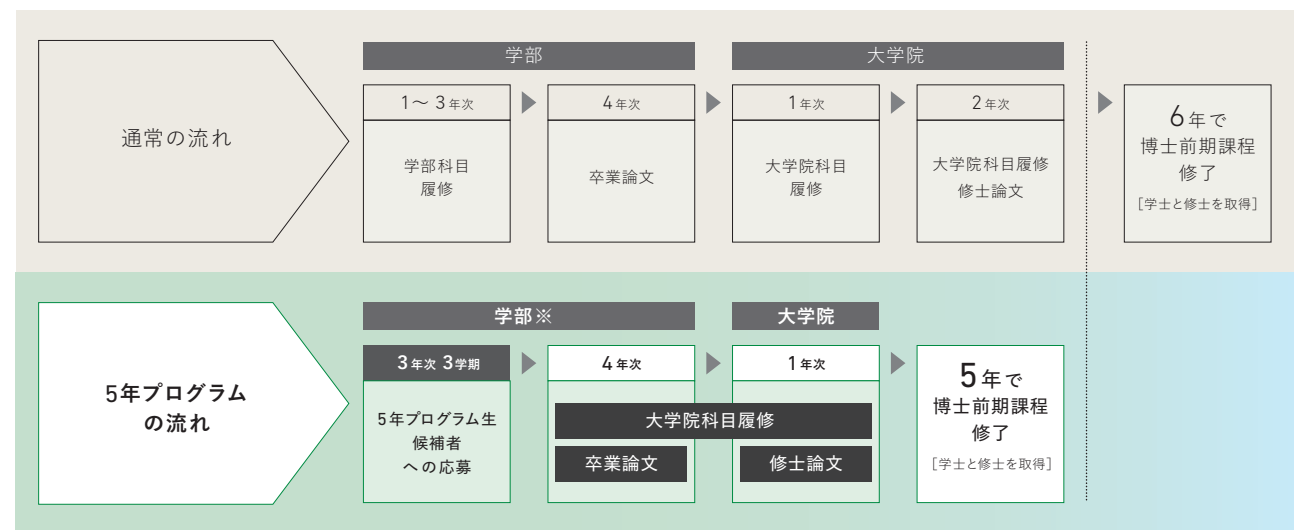
5年で学士と修士を取得 + 大学院の入学金も免除

学部4年＋大学院1年で、リベラルアーツの素養を持ったプロフェッショナルへ。  
博士前期課程修了により進路の選択肢がさらに多様に広がります。

5年プログラムは、学部で優秀な成績を収めた学生を対象とし、最短1年で博士前期課程修了を可能とするものです。早期により高度な学位を得られることで、大学院修了後には、さらに多様な可能性が広がります。

5年プログラムでは、大学院の入学金が免除されるほか、大学院新入学生奨学金に採用されれば、さらに1～3学期の授業料(施設費を含む)も免除され、大学院での納付金負担は0～2学期分の授業料(施設費を含む)で済みます。

### 学士と修士取得までの比較



※学部在籍中に休学をした場合は、5年プログラムへ参加できません。

## 5年プログラムのキーワード

### 1 「大学院進学」はグローバルスタンダード

国際機関をはじめ、グローバル企業や教育機関などでは修士の学位の取得が重視される傾向にあり、大学院への進学はグローバルスタンダードと言っても過言ではありません。研究者を目指す人だけでなく、企業や団体等で働く人にとっても、大学院での学びが求められる時代が始まっています。

### 2 1年早く次のステップへ

専門的な研究に触れたうえで、就職、博士後期課程への進学といった次のステップへ早い段階で進めることは、大きなアドヴァンテージです。修士の学位取得が要件となる就職先や、教員専修免許の取得を目指す人も、学部プラス1年でその先への道が開けます。

### 3 プラス1年で広がる可能性

学部で培った広い視野と豊かな思考力に加え、大学院で一つの分野を掘り下げること、新たな視点と深い学識が得られます。卒業後どのような道に進むとしても、リベラルアーツの素養と専門性の両方を手にすることで可能性が大きく広がります。

### 4 4年次から大学院生と共に学ぶ

ICUの大学院では海外からの留学生が5割前後と、欧米諸国のみならず世界中からさまざまなバックグラウンドを持つ人びとが在学しています。4年次から大学院科目を履修し、多様な経歴・文化背景を持つ大学院生と共に学ぶことで多くの刺激が得られ、自身の研究の発展や視野に拡がりを与えます。

### 5 研究の成果を修士論文に結実

学部で取り組んだ研究をプラス1年でさらに発展させ、修士論文に結実させることができます。「もう少し学びたい」「時間をかけて研究を深めたい」という学生の意欲に応えるプログラムです。

### 6 教職員のサポート

5年プログラムの場合、博士前期課程(2年)に比べて短期間で単位を修得し、修士論文執筆を行う必要がありますが、教員や大学院事務グループのスタッフが一人ひとりと向き合い、きめ細かにサポートします。

ICUの学士とミドルベリー大学大学院(MIIS)の修士を最短5年半で取得可能なプログラムもあります。(▶p.74)

## 5年プログラム参加方法

### 1 5年プログラム生候補者へ応募

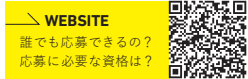
|                |                                                                                                                                                                                          |
|----------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 申請時期           | 本学教養学部3年次 第3学期                                                                                                                                                                           |
| 応募資格<br>(一部抜粋) | 1. 学部3年次第2学期終了時までのGPAが3.20以上、または、200番台以上の科目のみのGPAが3.40以上であること。<br>2. 学部3年次第3学期終了時点で、教養学部の卒業に必要な単位が卒業論文を含めて25単位以下(見込み)であること。<br>3. 大学院での研究について、輪郭の明瞭な研究計画を用意し、修論アドバイザー(予定)からの指導内諾を得られること。 |
| 選抜方法           | 書類審査                                                                                                                                                                                     |

### 2 5年プログラム生として大学院入学選考へ出願

|                |                                                                    |
|----------------|--------------------------------------------------------------------|
| 出願時期           | 4月入学生：大学院4月入学<br>秋季選考/春季選考<br>(いずれかの選考のみ出願可)<br>9月入学生：大学院9月入学選考    |
| 出願資格<br>(一部抜粋) | 出願する直前の学期終了時までの成績がGPA3.20以上であること、または、200番台以上の科目の成績がGPA3.40以上であること。 |
| 選抜方法           | 面接試験                                                               |



## 5年プログラム生の声

開発研究メジャーから理学専攻へ  
さまざまなアプローチから環境問題に取り組む

真辺 爽風

博士前期課程（5年プログラム）  
2025年3月修了  
理学専攻（生命科学専修）  
高知県／土佐塾高等学校出身

文系専攻から理学専攻へ。ICUの5年プログラムに挑戦することを決めたのは、学部2年次の授業がきっかけでした。私は国際協力の道を志してICUに進学しました。その原点となったのが、高校時代のスイス留学で、アフガニスタン難民の方々と出会ったことです。紛争によって故郷を追われた人々の現実を目の当たりにし、人道支援に関わる道を志して入学した当初は、国際関係学や世界経済など幅広く国際協力について学びました。そんななか、学部2年次の国際関係学の授業で「気候難民」という問題に出会いました。干ばつや洪水、熱波などの気候変動による影響で住む場所を奪われ、難民化する人々がいる。さらに、紛争や政変だけでなく、私たちの消費活動によるCO<sub>2</sub>排出も、難民問題の一因になっていると知り、大きな衝撃を受けました。そこで、気候難民の問題を理解し、解決策を考えるには、

環境問題のメカニズムを学ぶ必要があると考え、社会科学系の開発研究を専攻しながら、理学の視点から環境問題の原因と解決策を探究する道を選びました。現在は、プラスチックを分解する蛾の幼虫「ワックスワーム」の生分解能力について研究を進めています。環境負荷を減らす可能性を探るなかで、科学の力が社会に貢献できることを強く実感しています。「研究室で研究するだけでなく、問題解決の方策を考え、社会に還元することが私たちの使命だ」。この先生の言葉は、今も私の指針となっています。卒業後は環境事業にも力を入れるITコンサル企業に就職予定です。どのような道を選んでも、社会に貢献する姿勢を大切にしながら、挑戦を続けていきたいと思っています。

「何よりも興味を持つこと」。先生の言葉で、  
真に探究したいテーマにたどり着いた

鄭 文博

博士前期課程（5年プログラム）  
2025年3月修了  
公共政策・社会研究専攻（公共経済学専修）  
中国／  
Shandong Taian No.1 Senior High School 出身

今は銀行経営の効率性について、会計学的な視点から研究を進めています。具体的には、銀行においてどのようなマネジメントを考え実施すればより効率的な経営ができるか、どうすれば組織的なパフォーマンスをより高めることができるかを研究するという内容です。5年プログラムへの挑戦を考え始めた3年次は約30年ぶりの円安ドル高が話題となった時期でもあり、為替レートが変動するシステムについて研究する案もありました。しかし2年次から会計士の資格取得の勉強を始めていたこと、会計学の知識を生かした経済学のプレゼンテーションで評価をいただいていたことから、指導教員の先生に「自分の強みを生かした研究をする方がいい」とのアドバイスを受け、会計学的な視点から銀行経営について探究

する現在のテーマにたどり着くことができました。また先生はこうもおっしゃいました。「より深く研究を進めるには、興味を持つこと、楽しむことが何よりも必要だ」と。この言葉は、ICUでの学びを象徴していると私は思います。ICUでは誰もが学ぶこと、新たな知識や発見を得ることを楽しんでいて、授業中はもちろん学食ですら互いの研究テーマについて話し合っている学生をよく見かけます。5年プログラムの最たる魅力は、さらにその意欲が高い大学院生たちと学び合い、刺激し合い、テーマを深め合えることではないでしょうか。高い目標を持って挑戦し続けたい。そんな人には最適なプログラムだと思います。

## MIIS Middlebury Institute of International Studies at Monterey

～海外大学院での修士取得をより身近に～

## MIIS Accelerated Entry Program

全米で常にトップ10に名を連ねるリベラルアーツ大学、ミドルベリー大学（Middlebury College）の大学院（Middlebury Institute of International Studies at Monterey: MIIS）との間で、ICUの学士とMIISの修士の学位を取得するプログラム「Accelerated Entry Program」を実施しています。2017年に開始し、現在、通訳・翻訳、翻訳・ローカリゼーション管理および環境政策マネジメント、不拡散とテロリズム研究の分野に応募が可能となっています。ICUの学部で修得した所定の単位は、MIISの出願要件として認定されるため、選考を経て選ばれたプログラム参加者は、ICUの学士とMIISの修士の学位を最短5年半で取得することが可能です。また、修士課程の授業料を免除する奨学金制度があるなど、世界トップレベルの実践型学習を通して、キャリアを見据えた修士の学位取得をより身近なものにした独自のプログラムです。



小松 あろは

Accelerated Entry Program  
2024年1月MIIS入学  
MIIS：Middlebury Institute of International  
Studies at Monterey  
Conference Interpretation 専攻  
アメリカ／Palos Verdes High School 出身実務経験豊富な教員やクラスメイトから学べる  
実践的プログラム

8歳から18歳までアメリカで過ごし学んできた私にとって英語は第一言語と同じような感覚で、通訳に関しては誰にも負けない自信がありました。しかし、学部時代に挑戦したJACI（日本会議通訳者協会）主催のコンテスト「同時通訳グランプリ」では毎回優勝に至らず、上位は常にMIIS出身者が占めていました<sup>\*1</sup>。MIISには通訳・翻訳の専攻科があり、優れた通訳者を輩出することで知られる名門です。「悔しい。でもそれ以上に、世界トップレベルの環境で通訳スキルを磨きたい」。そんな思いから、私はMIISに挑戦しました。

実際に学んでまず感じたことは、想像以上のレベルの高さです。クラスメイトには実務経験豊富な社会人も多く、インハウス通訳者としてキャリアを重ねる方や、省庁勤務の経験がある方も学びに来ていました。そうしたクラスメイトたちの実践的な通訳スキルを目の当たりにして、「今の私ではかなわない」という危機感を持ちました。とくに痛感したのは、自分には背景知識が不足しているということです。授業では、世界の要人が臨む現場を想定して、経済アナリストによる世界経済の解説や政治家同士の交渉、特定の業界における経営者会議など、多岐にわたるテーマが取り扱われます。その際、経済学や政治学、ビジネスに関する知識、業界で用いられる専門的知識などを備えていないと的確な通訳・翻訳を行えず、クラスメイトから教わる場面も多々ありました。そうした体験から、意識的にさまざまなジャンルの文献に触れ、こうした場面で求められるであろう知識を貪欲に吸収するようになりました。現在興味を持ち始めているのは、女性の権利と社会進出に関する問題です。折しもアメリカでは大統領選に沸いており、前大統領の再選かアメリカ初の女性大統領の誕生かが話題となっていました<sup>\*2</sup>。彼らが対立する政策には人工妊娠中絶に関するものがあり、女性の人権を国や州はいかに守るべきかを考えさせられる時期でもありました。振り返れば、MIISでの学びは「世界で、世界への目を開く」体験の連続でした。開かれた目で、私は社会と女性の権利を見つめつつ、会議通訳のスペシャリストとしてキャリアを重ねていきたいと思っています。

\*1：MIIS入学後の2024年6月、「第6回JACI同時通訳グランプリ」で優勝。

\*2：取材した2024年10月当時



年に一度開催される通訳イベント、フォール・フォーラム。委員会に入ってイベントを一から作り上げました。



アーバイン・オーディトリウム の同時通訳ブース。ブースは全部で4つあって、他言語と通訳リレーもします。



テキサス州の大学で教える政治学の教授のゲストレクチャー。英語のレクチャーを逐次通訳で和訳しました。



## 大学院

# GRADUATE SCHOOL OF ARTS AND SCIENCES



## リベラルアーツ教育の伝統と革新性に根ざし 専門知とともに学際性を培う大学院

ICUの大学院は、1研究科・4専攻・13専修分野から構成される大学院で、リベラルアーツ教育の伝統と革新性に根ざし、国際性と教育力に定評のある大学の大学院として、優れたプログラムを提供しています。ICUの大学院では、狭い分野の専門知識を深めることを中心とする従来の大学院プログラムとは異なり、研究科内のどの授業も原則自由に受講することができます。そのため、専門性を深めながらも、学際的な研究を行うことが可能です。また、博士前期課程で全員に課される修士論文では、自分で課題設定を行い、先行研究の知見を学んで研究の問いを深め、研究課題にふさわしい方法論を学び、調査を行い、論文を執筆していきます。こうした学術的営みの全過程を、少人数教育を大切にしているICUの大学院だからこそ可能になる、きめ細かい指導でサポートしています。また、学部の授業においてティーチングアシスタントとして務める機会もあり、学部授業の運営について学ぶこともできます。

学士・修士を5年で取得修了する「学士・修士5年プログラム」は、一定以上の成績を収めたICUの学部生に開かれていて、5年間で学士・修士両方の学位を取ることが可能です。この5年プログラムへの参加希望者は、年々増加しています。

ICUの大学院は、世界中から留学生を受け入れていて、海外からの留学生は、希望すれば、日本語の語学プログラム(学部の授業)を履修することもできます。2019年4月から新たに「国際バカロレア(IB)教員養成プログラム」も開始されています。また、国際的な

人材交流・育成の場として、留学生受け入れプログラムの「ロータリー平和フェロー受け入れプログラム」・「人材育成奨学計画(旧・人材育成支援無償)JDSプログラム」を実施しています。こうした世界各国からの留学生と共に、少人数で大学院の科目を履修し、議論し、専門知識を身につけることが可能です。このような国際的な教育環境であるため、日本出身の学生にとっては、海外に留学し大学院教育を受けているような経験を得ることが可能です。また、海外からの学生にとっては、日本や他の国々からの学生と、多様で包摂的な環境で学ぶことが可能です。このように、専門知と学際性を培う、学生にとってはまたとない機会が与えられるのがICUの大学院の魅力です。



石生 義人

国際基督教大学大学院 アーツ・サイエンス研究科  
大学院部長／教授(社会学／アメリカ研究)

### Profile

1995年ミネソタ大学大学院にて社会学博士(Ph.D.)を取得。2000年国際基督教大学助教授として着任、2012年から教授。これまでに、学生部副部長、教養学部長を歴任。専門は政治社会学、主に、アメリカ人の愛国心に関する研究。

## 各専攻紹介

### ■ 博士前期課程 Master's Course

#### 心理・教育学専攻

Education and  
Psychology Program

- 教育学専修
- 心理学専修
- 言語教育専修

教育に関わる学問諸分野において、人類が平和的かつ創造的な営みのうちに共生するための教育的な諸条件を探究し、国の内外でその実現に向けて指導的な役割を果たす人材を養成します。修士(教育学)の学位を取得できます。

#### 公共政策・社会研究専攻

Public Policy and  
Social Research Program

- 政治・国際研究専修
- 社会文化分析専修
- メディアと言語専修
- 公共経済学専修
- 平和研究専修

公共政策を含む社会科学の研究分野を深く、かつほかの領域との関連も視野に入れながら広く学際的に研究し、国内および国際機関などにおいて、鋭い分析力と構想力を基礎に、柔軟な課題解決能力を発揮しうる指導的な役割を果たす人材を養成します。修士(行政学)、修士(国際関係学)、修士(社会文化分析)、修士(メディアと言語)、修士(公共経済学)、修士(平和研究)の学位を取得できます。

#### 比較文化専攻

Comparative Culture Program

- 日本文化研究専修
- 超学域文化研究専修

広義の文化の諸現象を、問題指向的な方法に基づき深く比較研究し、リベラルアーツの精神と高度な人文学の訓練とを結合した、未来への先見性と責任感を備えた指導的な役割を果たす人材を養成します。修士(比較文化)の学位を取得できます。

#### 理学専攻

Natural Sciences Program

- 数学・情報科学専修
- 物質科学専修
- 生命科学専修

理学の学問的諸分野および関連分野の専門的訓練と研究を行うと共に、科学全体の文脈の中で専門分野を理解し、さらには社会的文脈の中で科学そのものを位置づけることのできる指導的な役割を果たす人材を養成します。修士(理学)の学位を取得できます。

### ■ 博士後期課程 Doctoral Course

#### アーツ・サイエンス専攻

Arts and Sciences Program

研究分野について、自立して研究活動を行い、また専門的な業務に従事するために必要な高度の研究能力およびその基盤となる豊かな学識を備えた人材を養成します。博士(学術)の学位を取得できます。

## 大学院の特長

### 1 大学院共通科目の設定

研究方法や論文作成・発表スキルの向上を体系的にはかるため博士前期課程に共通科目を設定。コースワークの基礎を築きます。

### 2 学際的な研究が可能な博士前期課程4専攻

豊かな学識を養う柔軟で複合的な履修が可能です(共通科目や他専攻、他専修分野の科目も登録・履修できます)。論文は研究内容に近い専攻内外の教員3名で指導します。

### 3 在籍する学生の約半数が留学生

ロータリー平和フェローやJDS生(人材育成奨学計画奨学生)、文部科学省奨学生、私費留学生等を受け入れています。

#### ●高等学校教諭および中学校教諭専修免許状

所定の要件を満たすことで、次の高等学校教諭および中学校教諭の専修免許状が取得可能です。

英語(中・高)、国語(中・高)、数学(中・高)、理科(中・高)、社会(中)、地理歴史(高)、公民(高)、宗教(中・高)

#### ●5年プログラム(▶p.71)

5年で学士と修士の学位を取得できます。

### ■ 特色ある留学生受け入れのプログラム

#### ロータリー平和センター

Rotary Peace Center Rotary ICU

1999年、国際ロータリーとの協力により本学に開設されました。世界6カ国、7大学院と並び、ICUはアジアで唯一の修士学位取得のためのセンター指定校です。ICUでは毎年10名程度の学生を受け入れ、平和と紛争解決を中心とする国際問題研究に従事する機会を提供しています。

#### 日本政府による留学生受け入れプログラムへの参加

JDS Program

全国の約20(総計)の受け入れ大学の一つとして、人材育成奨学計画(JDSプログラム)に参加し、フィリピン、中国※、ベトナムなどの有望な若手行政官、研究者などを受け入れています。2003年の受け入れ開始以降、100名以上のプログラム修了生を送り出しています。

※中国若手行政官等長期育成支援事業



## 進路支援

CAREER  
SUPPORT

今までの自分が変わるほどの気づき。これからの人生を拓けてくれる出会い。  
挑戦した人だけがたどり着ける景色。あなただけの学びの果実がきっとあります。

自分ならではの生き方を  
実現してほしい  
長い人生を見据えて共に考える  
それがICUのキャリアサポート

就職・進学をゴールとせず、  
人生の目的を自らに問い続けてほしい

ICUの進路支援は、本学の理念と直結しています。それは、リベラルアーツの大学として学生たちにはリベラルであってほしいということ。リベラルというのは、あらゆるしがらみから自由なことです。学問領域の枠組みに縛られず、できる限り自由に自分の学びを追求してもらうことがリベラルアーツの本質です。それは卒業後の長い人生においても変わりません。就職した後も日々の糧を得るためだけに働くのではなく、常に立ち止まって「自分が今いる場所はこれでいいのだろうか」と考え続けてほしい。ファーストキャリアを最終的なゴールとすることなく、自分の生業と人生の目的との関係を絶えず考えながら生きていってほしいということなのです。

卒業後の進路は就職だけではありません。ICUでは、毎年約2割の学生が大学院などに進学していることが特徴です。進学した場合でも、自分が身を置いている学問分野や研究内容と自分自身を絶えず振り返り、「これでいいのだろうか」ということを自分自身に問い続けて、恐れずに変化することができる人間になってほしいというのが本学の考えです。

少人数制の大学ならではの  
学生一人ひとりの悩みに寄り添うサポート

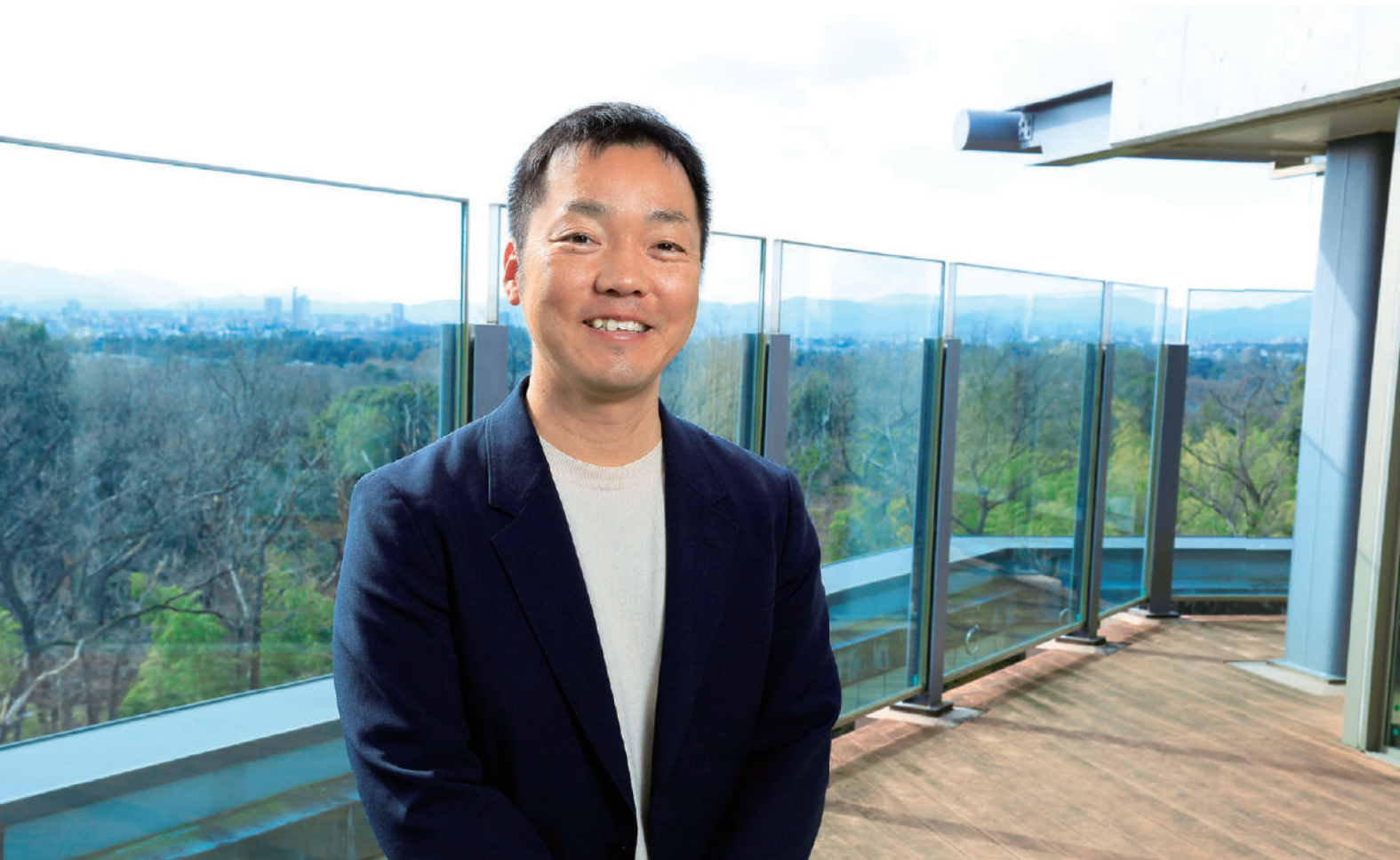
就職や進学など進路について悩みを抱えている学生に対して、ICUはさまざまなサポートを提供しています。教員は、学問的な相談だけでなく、就職か大学院進学かといった進路の相談にも柔軟にアドバイスしています。また、キャリアサポート・オフィスでは企業や業界の情報を提供したり、各種セミナーを開催したりするなど、さまざまな方法で就職活動を支援しています。

ICUが学生に求めているのは、就職活動をうまくしのぎ、内定を取るテクニックを身に付けるということではありません。ICUが大切にしているのは、それぞれの学生が抱えている悩みをどう解決するかということだけではなく、その悩みにどういう意味があるかということ、対話しながら明らかにしていくことです。学生の数だけ進路の考え方があるということを前提に、本学ではさまざまな支援を行っています。リベラルアーツで身に付けたリベラルな態度を卒業後の生き方に反映させ、自分が納得できる幸せな一生を送ってもらうために、教職員が学生に寄り添いながら一緒に考えることがICUのキャリアサポートです。



Interviews with ICU Alumni

## 卒業生インタビュー



収益を生み自然も豊かにする  
ビジネスを生み出す。  
ICUで身に付けた対話力を生かし  
挑戦を続けていきたい。

日本電気株式会社 (NEC)  
環境経営統括部

岡野 豊  
2000年卒業  
神奈川県／小田原高等学校出身

分かり合えなかった人たちと分かり合う喜び。それが対話の価値であり、ICUで身に付けられる力の一つです。

私はICU卒業後、環境分野の研究が盛んなカリフォルニア大学の修士課程に進み、その後はトヨタ自動車、日本電気 (NEC) の環境関連部署で仕事をしてきました。また、岡山県の西栗倉村に移住をして、「収益が出るほど自然環境が豊かになるビジネスづくり」の挑戦をしてきました。環境の仕事は対話の連続です。環境部署が「環境に配慮したい」と言うだけでは、企業は変わりません。例えば、設計部署の素材選びや物流部署の輸送方法に反映してもらう必要があります。設計部署はデザインや機能性を大事にしますし、物流部署は遅延なく安定した輸送を望みます。環境関連の取り組みを進めるためには、それぞれの考え方も深く理解する必要があります。大変ですが、さまざまな価値観を学びながら、一緒にものごとを進めていくことはとても楽しいです。そして、取り組みの継続には、経済性が必要です。どんなによいことをしても、続かなければ世界は変わりません。私はNECのデジタル技術で環境影響を見える化し、環境により取り組みにお金が回ることを目指しています。各国政府と仕組みづくりの議論をすることも多いですが、最近は世界が政治的に分断され、議論が難しい場合もあります。そんな壁を乗り越えるうえで生かされるのが、ICUで身に付けた対話力です。国や宗教など思考の土台や背景そのものが異なる学生たちと議論を重ねた日々。相手と考えが違うことを問題にするのではなく、「何が理由でその考えを持つようになったのか」を推察し、寄り添いながら対話を進める。そうしてより多くの人を巻き込みながら、「収益を生む環境活動」の輪を今後も広げていきたいと考えています。

女性らしさとは？  
性別違和を感じる苦しみとは？  
ICUでの学びが  
医師を目指す道につながった

岡山大学  
医学部 2025年3月卒業

兼城 一媛乃  
2020年卒業  
沖縄県／昭和薬科大学附属高等学校出身

私が医師への道をはっきり目指し始めたのは、ICUに入学しジェンダー・セクシュアリティ研究の授業に出合ったことがきっかけです。

私は高校時代から乳がんという病気に対し命を脅かされる恐怖だけでなく、体の一部を切除し女性としてのアイデンティティを失ってしまう恐怖を感じ、例えようのない恐怖感を抱いていました。その“失いたくない女性らしさ”の正体が、社会通念やメディアなどによって植え付けられた「男性から見た女性像」であることをジェンダー・セクシュアリティ研究の授業によって気付かされたのです。モヤモヤと言葉にならない感情を初めて言語化でき、正体のわからない恐怖を跳ねのけられたことに私は感動すら覚えました。

もう一つ、衝撃の出会いがありました。それはゲストスピーカーと呼ばれたトランスジェンダーの方が述べた一言。「性別違和の苦しさは、一生脱ぐことのできないぬいぐるみに押し込められている苦しさなんです」。そのとき、私は思いました。「私自身がICUの学びによって苦しみから解放されたように、苦しんでいる人たちの力になりたい」。形成外科医、乳腺外科医という目標が定まった瞬間でした。ICU卒業後、全国で2番目となるジェンダーセンターのある岡山大学医学部へ編入学し、大学病院などではスチューデントドクターとして現場で学ぶ機会も得ました。臨床研修で患者さんと向きあった際、私を支えてくれたのは、ジェンダーや医学の専門的な知識だけでなく、ICUのリベラルアーツで得た多角的視野と対話の姿勢でした。医学的見解だけでなく、多様なアプローチから患者さんの苦しみに寄り添える医師を目指しています。

WEBSITE  
GLOBAL ICU「卒業生の声」に取材記事の  
ロングバージョンを掲載しています。





Messages from ICU Alumni

卒業生からのメッセージ

先輩方、世界からICUを振り返る。

ICUの卒業生は、約3万人。決して大きな規模ではありませんが、それぞれがICUのリベラルアーツ教育を通じて、自分らしい道を見つけ、世界中のさまざまな場所で活躍しています。  
このページでは、そんなICU卒業生の多様な進路のほんの一部をご紹介します。ICUでの学びが、卒業後もどのように生きているのか ― その一端を感じてください。

※敬称略 ※リンク先内容は取材時のもの



マティアス・シェーパース

- フォルクスワーゲングループジャパン株式会社 代表取締役社長 兼 アウディジャパン ブランドディレクター (2001年卒業)



GLOBAL ICU  
「卒業生の声」



吉川 元偉

- 国際基督教大学特別招聘教授
- 元国連大使 (1974年卒業)



GLOBAL ICU  
「卒業生の声」



東梅 貞義

- 公益財団法人世界自然保護基金ジャパン (WWF ジャパン) 事務局長 (1990年卒業)



GLOBAL ICU  
「卒業生の声」



宮川 繁

- マサチューセッツ工科大学 言語学名誉教授 (1975年卒業)

ICUは、不安定に満ちた世界の中で、平和と聖なる空間です。友情、教育、そして人生について考えることを通じて、人類の未来に対する希望と信念を得ることができます。そこで築く友情は生涯にわたり、学びは、たとえ風向きが変わったとしても基盤となります。ICUは、誠実であること、勇気を持つこと、そして喜びを感じることを教えてくれます。



GLOBAL ICU  
「卒業生の声」



奈良橋 陽子

- 演出家
- 作詞家
- キャスティングディレクター
- 映画監督 (1969年卒業)



同窓会サイト  
「今を輝く同窓生たち」



GLOBAL ICU  
「卒業生の声」

皆さんに聞いた「ICUの好きなところ」(キーワード抜粋)

勇気 平和を願う  
希望と信念  
原動力 人がいい  
基盤  
自ら考える  
期待されている 生涯つながる  
深い学び  
バックグラウンドが多彩  
向きあう 面白い先生



森井 久恵

- スターバックス コーヒー ジャパン 代表取締役最高経営責任者 (CEO) (1997年卒業)



GLOBAL ICU  
「卒業生の声」



森本 あんり

- 東京女子大学学長 (1979年卒業)
- ICUとの長いかわりが本になりました。『魂の教育』(岩波書店)



同窓会サイト  
「今を輝く同窓生たち」



著書紹介サイト  
(外部サイト)



平井 一夫

- 一般社団法人プロジェクト希望 代表理事
- 元ソニー株式会社 代表執行役 社長 兼 CEO (1984年卒業)



同窓会サイト  
「今を輝く同窓生たち」



GLOBAL ICU  
「卒業生の声」



ジョン・カピラ

- ラジオ／テレビパーソナリティー (1982年卒業)



同窓会サイト  
「今を輝く同窓生たち」



堀内 佳美

- タイ国交易財団 アークどこでも本読み隊 代表 (2007年卒業)



GLOBAL ICU  
「卒業生の声」



平田 オリザ

- 劇作家
- 芸術文化観光専門職大学学長 (1986年卒業)



同窓会サイト  
「今を輝く同窓生たち」



学生寮サイト  
(インタビュー)

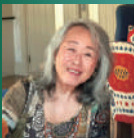


竹内 弘高

- 元ハーバード・ビジネス・スクール教授
- 一橋大学名誉教授
- ICU 理事長 (1969年卒業)



同窓会サイト  
「今を輝く同窓生たち」



松岡 佑子

- 通訳・翻訳家
- 静山社社長
- ハリー・ポッターシリーズ翻訳者 (1966年卒業)



同窓会サイト  
「今を輝く同窓生たち」



牧島 かれん

- 衆議院議員
- 元デジタル大臣 (2000年卒業)



同窓会サイト  
「今を輝く同窓生たち」



Mayu (Mayu E Room)

- インフルエンサー & YouTuber
- 通訳 (2019年卒業)



同窓会サイト  
「今を輝く同窓生たち」

■ 卒業生たちの活躍・ICUの動向を、公式サイト・同窓会サイトでぜひご確認ください。

ICU公式サイト

「インタビューで知るICU」



ICU卒業生のインビューをメッセージ内容で分類しています。項目は「学び・研究」「留学」「学生生活」「進路」「受験生へのメッセージ」。出身高校の地域でも絞り込めます。

ICU公式サイト

学報「The ICU」



「The ICU」は、年に2回発行される学報。在学生保証人、同窓生、FOI (Friends of ICU) 会員、その他関係者にお届けしている冊子です。その最新号とバックナンバーがPDFで閲覧できます。

国際基督教大学同窓会サイト

「interviews 今を輝く同窓生たち」



ユニークな仕事に就いたICU卒業生の、考え方や、きっかけ、生き方、そして、夢を、皆さまにお届けします。多くの人の“自分の可能性”について考える機会となるはずです。

ICU公式サイト

「アラムナイニュース」



「アラムナイニュース」は、年に2回発行される卒業生向けの冊子。その最新号とバックナンバーがPDFで閲覧できます。特別インタビューのほか、ICUの動向を別の角度から見ていただけます。



## 進路選択と支援の特長

# 進路を「就職」だけではない 「生き方」として捉える。

## 卒業後の人生の歩み方は人それぞれ。 それがICUのキャリア観

キャリア形成に対する考え方は人それぞれです。将来の目標から逆算したルートが設定できなくても、目の前の興味・関心に沿った歩みの結果がキャリアなのかもしれない。自身の好奇心に逆らうことなくICUで学んだ卒業生の多くが、このような価値観を共有しています。

Point 1  
多角的な視野と好奇心を持ち、幅広く就職活動を行っている。

Point 2  
働くことへの十分な理解をはかるため、自律的に情報収集を行っている。

Point 3  
自分が将来どうありたいか、自らの価値観を大切に、ファーストキャリアを選択している。

## 生き方を探索することこそが 進路選択の本質

進路を考える際には、「自分は何をしたいのか」を問うことになります。一人ひとりが持つべき最終目標は、社会でいかに生きるか、社会にいかに関与するかであり、例えば大企業に就職することが唯一の正解ではないはず。ICUのキャリアサポートは自分の生き方を見つけ、可能性を広げることを重視しています。さまざまなフィールドで活躍する社会人の生き方に触れるなど「気づき」の機会を提供しながら、多様な選択肢の中から個々の学生が自分の道を切り開いていく支援をしています。

### 2023年度の進路状況（2024年5月1日現在）

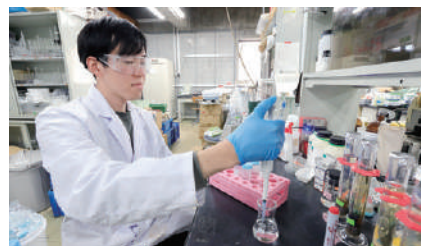
●学部卒業生610名の進路実績



## 「進学が約20%」、 国内外の大学院へ

リベラルアーツの学びを通して見つけた研究テーマを深めるため、また将来、高い専門性を生かして働くことを視野に入れ、多くの学生が大学院進学を選択します。

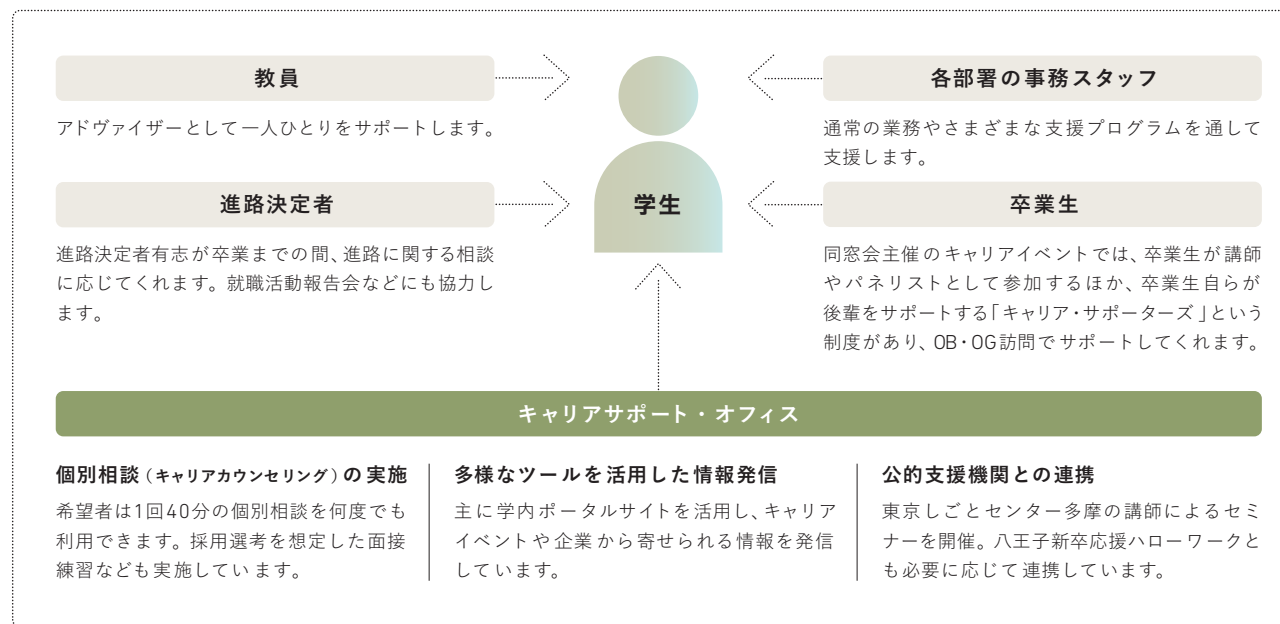
身に付けた英語運用能力をもとに海外の大学院を目指す学生も数多く、理系分野を学ぶ学生においては約50～60%が国内・海外の大学院に進学しています。教育・研究分野でも多くの卒業生が活躍中です。



## ICUの進路支援方針

自分と対話する。自分ならではのキャリアを見いだす。これからの生き方を探索する。

### ■少人数制だからこそ、見える、つながる、きめ細かなサポート体制。



### 一人ひとりへの「個の支援」（個別相談ほか）

コロナ禍でオンライン化が進み、就職活動の情報はいつでも入手可能になりました。しかし、情報過多の影響で混乱するICU生も少なくなく、キャリアサポート・オフィスではそのような学生からの個別相談を受け付けています。最近は低学年からの相談も増えてきました。ノウハウを全面的に指南するのではなく、「自走できるようになること」を目指し、一人ひとりの準備状態に寄り添った支援が特徴です。本格的な採用選考が始まると、エントリーシート作成支援や面接練習も実施しており、繰り返し利用する学生も数多くいます。

また、諸事情により進路選択に前向きになれない学生などには、時間をかけた継続的なキャリアカウンセリングを提供しています。とくに体調や障がいに配慮しながら進路選択に取り組む学生には、学内の他部署（カウンセリングセンター、学修アクセシビリティ支援室など）と連携した支援も行っています。

### 学生全体への支援（就職活動・キャリア形成支援行事）

就職活動の早期化・長期化にも対応するため、年間を通じて開催されており、学生はそれぞれの必要性に応じて参加しています。

毎年多くの企業・機関の協力を得て、学内企業研究会「ICU Career Session」を開催。学外大規模会場でのイベントとは異なり、参加人数を限定した落ち着いたのある環境で、じっくりと会社説明を聴くことができます。

また、就職活動へ向けた準備作業である「自己分析」「業界・企業研究」、選考対策として「面接・グループディスカッション」「エントリーシート」「適性検査（筆記試験）」などをテーマとした実践的なオンライン講座も実施。就職情報の入手ルートが多様化し、学生も容易にアクセスできる環境にある中で、ICU生だけを対象とした信頼性の高い情報提供とサポートを展開しています。

このほか、新たに低学年生を対象とした「Career Design Program」を設置。受講生はグループワークを通じてこれまでの経験を振り返り、自身の「興味・強み・価値観」を探索し、卒業後の「ありたい姿」をイメージできるようになることを目指します。





WEBSITE

卒業生の就職・進学先として  
人数が多い企業・大学院は？

主な進路支援行事（2024年度実績）

| 春学期（4～7月）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 秋学期（9～11月）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 冬学期（12～3月）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"><li>【中上級者向け】26卒向け就活キックオフガイダンス</li><li>【初心者向け】26卒向け就活キックオフガイダンス*</li><li>キャリアサポート・オフィス利用法</li><li>官公庁インターンシップ応募方法</li><li>業界地図・就職四季報を活用した業界研究法</li><li>就活生なら知っておきたい「ビジネスマナー入門」</li><li>交換留学参加希望者のための就職ガイダンス</li><li>英文レジュメセミナー</li><li>まだ何もしていない人のための「筆記試験対策セミナー」</li><li>ポストンキャリアフォーラム対策セミナー（基礎編）</li><li>ポストンキャリアフォーラム対策セミナー（実践編）</li><li>WEB模擬テスト受験会①</li><li>25卒就活再点検セミナー</li><li>Guidance on career &amp; job hunting in Japan for international students (Essentials)</li><li>25卒就活生向け求人紹介会</li><li>夏から始める！就活&amp;インターンシップ</li><li>交換留学参加決定者のための就職ガイダンス</li><li>WEB模擬テスト受験会②</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>秋から始める人のための「就活入門講座」</li><li>キャリアサポート・オフィス利用法</li><li>官公庁インターンシップ応募方法</li><li>【低学年向け講座】Career Design Program①</li><li>Introductory job hunting session for 1st and 2nd year international students</li><li>自分の探し方・見つけ方講座（自己分析入門）</li><li>公務員ガイダンス（公務員制度・試験制度解説編）</li><li>公務員ガイダンス（試験対策編）</li><li>コミュニケーションが苦手な人のための就活講座</li><li>【低学年向け講座】Career Design Program②</li><li>現役編集部員から学ぶ「出版企画ワークショップ」</li><li>【低学年向け講座】Career Design Program③</li><li>Guidance on career &amp; job hunting in Japan for international students (Practical)</li><li>【低学年向け講座】Career Design Program④</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>グループ面接講座（3クール実施）</li><li>【低学年向け講座】Career Design Program⑤</li><li>グループディスカッション講座 基礎編（3クール実施）</li><li>少人数制 Career Session（企業交流会）①</li><li>WEB模擬テスト受験会③</li><li>国家公務員ガイダンス（人事院）</li><li>少人数制 Career Session（企業交流会）②</li><li>障がいのある学生のための就職ガイダンス</li><li>グループディスカッション講座 発展編（3クール実施）</li><li>ゼロから始める！就活解禁直前講座</li><li>少人数制 Career Session（企業交流会）③</li><li>少人数制 Career Session（企業交流会）④</li><li>WEB模擬テスト受験会④</li></ul> |

※一部を除きオンラインで実施（2024年度実績）

FAQs

Q. 交換留学に行った場合、どのように就職活動を行うのでしょうか？

A. 留学を経験した学生に対する企業の採用意欲は高い一方で、採用スケジュールの早期化を踏まえた計画的な取り組みが求められます。日本企業も出展する海外のジョブフェア（ポストンキャリアフォーラムなど）や、毎夏国内で開催される就職イベント（東京サマーキャリアフォーラムなど）に参加する場合は、選考がスピーディーに進むため、事前の準備が重要となります。また、留学先でオンライン面接を受けるケースも増えており、渡航前の早い時期から情報収集に着手することをお勧めします。

Q. 9月入学の場合、就職活動はどうなるのでしょうか？

A. 9月生（7月卒業生）だけを対象とした選考スケジュールは用意されていませんので、4月生（3月卒業生）と同様に「春入社」を目指した就職活動を行うのが一般的です。例えば、2029年7月卒業の場合、2030年4月入社希望の学生を対象とした募集にエントリーし、2030年3月卒業予定者と一緒には就職活動を行います。なお、年度途中の入社を認める企業も一部にはあります。

進路支援についての詳細は「キャリアサポート・オフィス」までお問い合わせください。 TEL：0422-33-3067 / E-mail：career@icu.ac.jp

進路データ（2023年6月および2024年3月卒業生）

※ 順不同  
※ マーカー箇所は自然科学系メジャー 卒業生含む進路先

| 主要進学先                   |                 |                                                                   |                                                   |
|-------------------------|-----------------|-------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------|
| [ 国内大学院 ]               |                 | [ 海外大学院・大学・専門等 ]                                                  |                                                   |
| ●国際基督教大学大学院             | ●琉球大学大学院        | ●Middlebury Institute of International Studies at Monterey        | ●University of Sheffield                          |
| ●東京大学大学院                | ●多摩美術大学大学院      | ●University of Leeds                                              | ●The University of Melbourne                      |
| ●一橋大学大学院                | ●山形大学大学院        | ●University of Colorado School of Economics and Political Science | ●Carnegie Mellon University                       |
| ●筑波大学大学院                |                 | ●Trinity College Dublin, The University of Dublin                 | ●University College Dublin                        |
| ●京都大学大学院                | [ 国内大学（学部） ]    | ●University of the People                                         | ●Colorado State University                        |
| ●東京工業大学大学院（現 東京科学大学大学院） | ●お茶の水女子大学       | ●University College London                                        | ●University of Plymouth                           |
| ●東北大学大学院                | ●多摩美術大学         | ●King's College London                                            | ●Griffith University                              |
| ●神戸大学大学院                |                 | ●4CITIES                                                          | ●Wageningen University                            |
| ●日本大学大学院                | [ 国内専修学校等 ]     | ●Lancaster University                                             | ●The London School of Hygiene & Tropical Medicine |
| ●総合研究大学院大学大学院           | ●湖南馬事センター       | ●The University of Law                                            |                                                   |
| ●東京学芸大学大学院              | ●東京デザインプレックス研究所 | ●University of Leicester                                          |                                                   |
| ●北海道大学大学院               |                 |                                                                   |                                                   |
| ●大阪大学大学院                |                 |                                                                   |                                                   |
| ●青山学院大学大学院              |                 |                                                                   |                                                   |
| ●東京外国語大学大学院             |                 |                                                                   |                                                   |
| ●東邦大学大学院                |                 |                                                                   |                                                   |
| ●横浜国立大学大学院              |                 |                                                                   |                                                   |
| ●兵庫教育大学大学院              |                 |                                                                   |                                                   |
| ●早稲田大学大学院               |                 |                                                                   |                                                   |

POINT！

5年プログラム（▶p.71）などを利用して国際基督教大学大学院 への進学はもちろん、国内、海外問わずさまざまな大学院へ進学しています。

主要就職先

[ 鉱業・採石業・砂利採取業 ]  
●石油資源開発

[ 建設業 ]  
●鹿島建設  
●フレッシュハウス  
●三井ホーム  
●AQ Group  
●NENGO

[ 製造業 ]  
●コカ・コーラ ボトラーズジャパン  
●サントリーホールディングス  
●春華堂  
●日本食研ホールディングス  
●大日本印刷  
●凸版印刷  
●バイインターナショナル  
●P&G ジャパン  
●ジョンソン・エンド・ジョンソン  
●大塚製薬  
●第一三共  
●日本イーライリリー  
●エー・シーケミカル  
●三菱マテリアル  
●オチアイ  
●小松製作所  
●キーエンス  
●栗原医療器械店  
●三菱重工業  
●日東化工機  
●島津製作所  
●日本精工  
●京セラ  
●ソニーセミコンダクタソリューションズ  
●パナソニックインダストリアルマーケティング&セールス  
●リコー  
●アリスオーヤマ  
●日本電気(NEC)  
●シャープ  
●豊田自動織機  
●日産自動車  
●マツダ  
●トヨタ自動車  
●スズキ  
●エポック社  
●美津濃  
●日本テトラパック  
●パール楽器製造  
●カプコン  
●ヨネックス  
●セイコーウオッチ  
●シチズン時計  
●王子ホールディングス

●SHIFT  
●東宝  
●ティクス  
●オープンリソース  
●JSOL  
●中京テレビ放送  
●宝印刷  
●テクノプロ  
●アルテニカ  
●MIXI  
●ファースト  
●富士フイルムシステムサービス  
●Chatwork（現 Kubell）  
●日本ビジネスシステムズ  
●ディヴィッドプロダクション  
●ブレインバッド  
●日本経済新聞社  
●アドウェイズ  
●データアナリティクスラボ  
●時事通信社  
●Septeni Global  
●エイトビット  
●SK telecom Japan  
●日経BP  
●新書館  
●関西テレビ放送  
●マナーフワード  
●エヌ・ティ・ティ・コムウェア  
●アイスタイル  
●セールスフォース・ジャパン  
●Far East Broadcasting Company  
●KADOKAWA  
●PR TIMES  
●エスエスシステム  
●KDDI  
●東日本電信電話  
●三菱総研DCS  
●ビジュアルリサーチ  
●ダッソー・システムズ

[ 運輸業・郵便業 ]  
●日本郵船  
●全日本空輸  
●日本航空  
●ANA成田エアポートサービス  
●シンガポール航空  
●ANA Cargo

[ 卸売業・小売業 ]  
●伊藤忠商事  
●長瀬産業  
●三菱商事  
●三井物産  
●プリティッシュ・アメリカン・タバコ・ジャパン  
●シャネル  
●原田産業  
●テリロジー  
●岡谷鋼機  
●伊藤忠ケミカルフロンティア  
●第一実業  
●IDOM  
●キャノンマーケティングジャパン  
●丸紅テクマテックス  
●伊藤忠プラントック  
●住友商事グローバルメタルズ  
●豊島  
●エアウィーヴ  
●双日食料  
●アマゾンジャパン  
●ユニクロ  
●良品計画  
●イオンリテール  
●ファーストリテイリング  
●島村楽器  
●ネクステージ  
●ヨドバシカメラ  
●ニトリ

[ 宿泊業・飲食サービス業 ]  
●星野リゾート  
●アパホテル  
●すかいらーくホールディングス  
●グリーンハウス  
●ホテルマネージメントジャパン

[ 金融業、保険業 ]  
●ジェーシービー  
●三井住友銀行  
●三菱UFJ銀行  
●日本銀行  
●シティグループ証券  
●大和証券  
●SMBC日興証券  
●住信SBIネット銀行  
●千葉銀行  
●三井住友ファイナンス&リース  
●BNPパリバ証券  
●福岡銀行  
●JA三井リース  
●AIG ジャパン・ホールディングス  
●日本生命保険

[ 不動産業、物品賃貸業 ]  
●GA technologies  
●森ビル

[ 学術研究、専門・技術サービス業 ]  
●アンダーソン・毛利・友常法律事務所  
●杉村萬国特許法律事務所  
●ビズリーチ  
●野村総合研究所  
●AlphaSights  
●EYストラテジー・アンド・コンサルティング  
●PwCコンサルティング  
●アクセンチュア

●アビームコンサルティング  
●エッグフワード  
●エン・ジャパン  
●ケンブリッジ・テクノロジー・パートナーズ  
●デロイト トーマツ コンサルティング  
●デロイト トーマツ ファイナンシャルアドバイザリー  
●レイス  
●リヴァンプ  
●レイヤーズ・コンサルティング  
●日本アイ・ビー・エム  
●ビジョン・コンサルティング  
●有限責任監査法人トーマツ  
●PwC Japan有限責任監査法人  
●PwC アドバイザリー  
●ADKホールディングス  
●電通グループ  
●ラディウス・ファイブ  
●シンプレクス  
●キャップジェミニ  
●ロータスビジネスコンサルティング  
●HR Force  
●アイ・ティー・エス・ジャパン  
●オークファム  
●スカイライト コンサルティング  
●令和アカウンティング・ホールディングス  
●グローピング  
●日本総合研究所  
●フロンティアインターナショナル  
●ロッチペンチャーズ・ジャパン  
●東京中小企業投資育成  
●日鉄エンジニアリング  
●コーエイリサーチ&コンサルティング  
●トレイルズ  
●図書館流通センター  
●ウィークデー  
●トータルメディア開発研究所  
●丹青社  
●UUUM  
●マイナビ  
●サーキュレーション  
●ゼロイン  
●アパナード  
●ニューズベース  
●TBWA HAKUHODO  
●パーカーエンジニアリング  
●Hakuhodo DY ONE

[ 公務 ]  
●裁判所  
●総務省

[ 地方公務 ]  
●川崎市役所

[ その他 ]  
●長島大陸まちデザイン  
●Shijir-Anu Co.,  
●芸能活動  
●起業  
●フリーランス

[ 生活関連サービス業・娯楽業 ]  
●ベストブライダル  
●Klook Travel Technology  
●エクスペディアホールディングス  
●ノバレーゼ  
●Trip.com Japan  
●Detonation  
●バンダイナムコアミューズメント  
●JTBパブリッシング  
●OKAN  
●Plan・Do・See  
●エイチ・アイ・エス  
●オリエンタルランド  
●EXO Travel Japan  
●博多座  
●JTBグローバルマーケティング&トラベル

[ 教育、学習支援業 ]  
●Middlebury College  
●すこっぷ（東京都指定 児童発達支援事業）  
●立命館守山中学校・高等学校  
●オーストラリアの高校（詳細不明）  
●国際基督教大学  
●湘南ゼミナール  
●ベネッセコーポレーション

[ 医療、福祉 ]  
●LITALICO

[ サービス業（ほかに分類されないもの） ]  
●クリーク・アンド・リバー  
●国際人材協力機構  
●在日米国商会議所  
●日本貿易振興機構  
●ストライク  
●国際協力機構  
●RX Japan  
●パーソルキャリア  
●ユニコン・パートナーズ  
●パーソルテンプスタッフ  
●SThree  
●駐日パキスタン・イスラム共和国大使館  
●ヒューレックス  
●日本生産性本部  
●ヒューマンライツ・ナウ  
●マンパワーグループ  
●Apex  
●タウンキッチン  
●日本郵政コーポレートサービス  
●アイムファクトリー  
●大学改革支援・学位授与機構  
●みらいワークス  
●ペルー共和国大使館



## キャンパスライフ

## CAMPUS LIFE

4年間を通して学ぶ一般教育科目。  
学問領域の枠を超え、柔軟で幅広い思考を得るために。



## 年間行事

- 4月 春季入学式／オリエンテーション／  
春季授業開始／ICU献学記念日
- 5月 キリスト教週間(C-Week)
- 6月 夏季卒業生卒業論文提出／  
ICU創立記念日／春学期期末試験
- 7月 夏季卒業式／オープンキャンパス
- 8月 オープンキャンパス
- 9月 秋季入学式／オリエンテーション／  
秋学期授業開始
- 10月 全学リトリート／ICU祭
- 11月 秋学期期末試験
- 12月 冬学期授業開始／大学燭火礼拝  
クリスマス・年末年始休暇
- 1月 冬学期授業再開
- 2月 春季卒業生卒業論文提出／  
教養学部一般選抜
- 3月 冬学期期末試験／オープンキャンパス／  
春季卒業式



## 学生生活と幅広い「学び」をサポートする

皆さんの大学生活は、教室での「学び」とどまらず、とても多面的です。大学生活を送るということは、部活やサークル活動、寮生活、友人関係などで彩られるキャンパスライフを送ることを意味します。ICUは、皆さんのキャンパスライフをサポートしています。それは、キャンパスライフが大切な「学び」の場だからです。大学時代にどのような友人と出会うのか、どのような理想や思想に触れるのか、どのような経験を積むのか、ということが、皆さんの人格形成にとって非常に重要です。大学では、これまで遭遇しなかったであろう、さまざまな背景や考えを持った多様な人びとと出会うことになります。自分の視野や考え方が大きく広がる可能性がここにあります。しかし、そうした可能性は、これまで経験しなかった対立や問題に直面する可能性とも隣り合っています。でも、そのような困難に取り組む経験は、今後の皆さんの人生にとって貴重なものとなるはずです。

大学生活では勉強、友人関係、心身のコンディションなど、さまざまな悩みや問題に直面しますが、その全てを自分ひとりで解決しなければならない、というわけではありません。友人に助けられて問題を克服することもあるでしょう。アカデミックアドバイザーの教員やさまざまな窓口の職員にコンタクトを取ることもできます。心強いことに、ICUにはカウンセリングセンターがあり、多くの学生が利用しています。ICUの入学式では、新入生は「世界人権宣言」の尊重を誓います。このことは、学生を含めて、ICUに関わる人びとの人権を守る義務をICUが負うことを意味しています。もし権力、ジェンダー、性的指向、出身地、障がいなどに基づくハラスメントを受けた場合には、一人で抱え込むではいけません。人権相談の制度が対応します。大学生活には経済的な側面がありますが、ICUはさまざまな奨学金制度を通して、皆さんの経済的なニーズに対応しています。また就職活動もしっかりとサポートする体制を持っています。

このような支援体制を通して、皆さんの学生生活、そして幅の広い「学び」をサポートしたいと思います。



木部 尚志

学生部長／教授（政治学）

## Profile

1995年、チュービンゲン大学にて博士号取得。2000年、ICUに着任。2011年から2014年、2021年から2022年に平和研究所長を務める。



施設紹介

CAMPUS

自然と共に学び・暮らす  
ほかに類を見ないキャンパス

ICUのキャンパスは、「生物多様性の保全が図られている区域」として、環境省が主導する「自然共生サイト」に認定されています。「ICU三鷹キャンパスの森」と名付けられた自然豊かなキャンパスは、約62万平方メートル、東京ドーム約13個分の面積を有し、その中では希少種を含めたさまざまな動植物が生息をしています。

この恵まれた環境の下では、動植物や自然の保全等に関する教育・研究活動、養蜂や農作物の栽培などの学生活動が行われているほか、9棟の学部生用学生寮と30戸超の教職員住宅があり、全学生数、全教員の25%ほどが暮らしています。都内にありながら、自然の恵みや生態系などについて実体験を通して学ぶことができ、そしてその自然とともに暮らすことが可能なキャンパスはほかになく、ICUならではの特徴の一つとなっています。



WEBSITE  
広大な敷地？四季折々の自然って  
どんなキャンパスなの？

24時間いつでも世界中どこからでも  
ICUのキャンパスを体験できます！

VR Campus Tour

VRキャンパスツアーで  
ICUのキャンパスを  
探検してみよう！



キャンパス紹介動画

ICU在学生在キャンパスと  
ICUの特徴を紹介します！



Topics

1

年老いた自然を再生させる  
「雑木林再生プロジェクト」始動

「ICU三鷹キャンパスの森」は、自然豊かな森ですが、近年は樹木の老齢化が進み、倒木やナラ枯れ病の蔓延、外来種の侵入による生物多様性の低下などが問題となっています。そこで、老齢化した自然を豊かな生態系を持つ若い自然に再生させていくプロジェクト「雑木林再生プロジェクト」を2024年に始動しました。

キャンパスの一部のエリアを対象に、10年間かけて自然を再生する本プロジェクトは、在学生・教職員・卒業生に加えて地域の方などの協力を得ながら進めています。2024年度には、老齢化した樹木を全て伐採。2025年度以降は、外来種を駆除しながら、実生木などの若い樹木を育成し、生物多様性が豊かな雑木林を再生させていきます。キャンパス内で自然再生に携わることは、これからの未来を築くうえで大変貴重な経験となることは間違いないので、是非入学した際は参加してください。

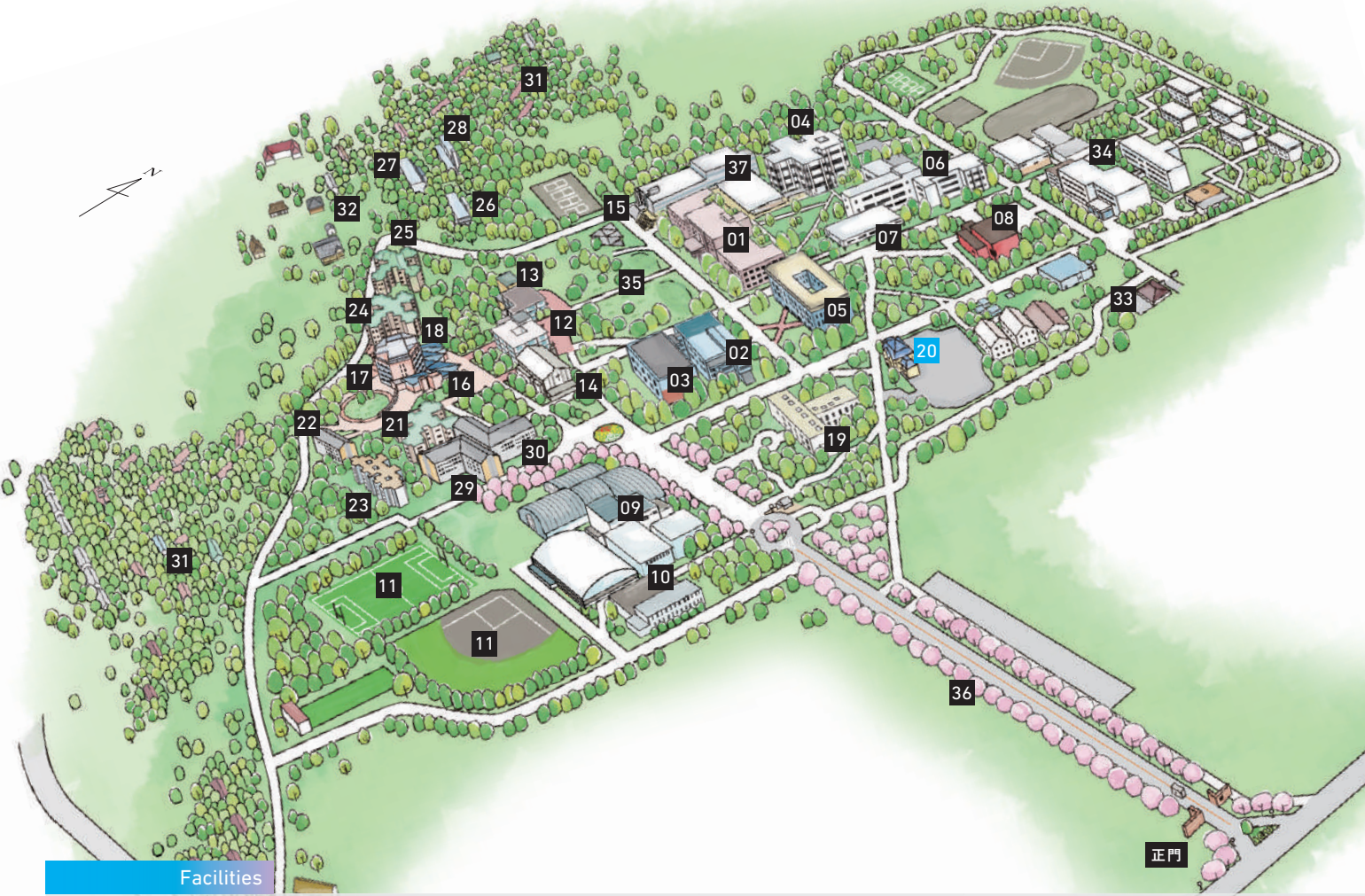


Topics

2

「ICU三鷹キャンパスの森」を活用  
農と食を通じたさまざまなプロジェクトが始動しています

「ファームプロジェクト」、「養蜂」、「コンポスト」、「わさび田の復興」など自然を活用したさまざまなプロジェクトが進行しています。これらのプロジェクトは、授業の一環として作業が行われるもの、学生・教職員の有志が主導で進めているもののほか三鷹市をはじめとする地域の方々と共同で進めているものもあります。さまざまな立場の人と一緒に作業をしながら、対話し、考え、授業としての学びだけでは得られない、人生の糧となる経験を得る場となっています。



Facilities

- 01 大学本館
- 02 03 図書館
- 04 理学館
- 05 教育研究棟
- 06 第2教育研究棟
- 07 総合学習センター
- 08 博物館 湯浅八郎記念館

- 09 10 体育館／スポーツ・クラブハウス
- 11 グラウンド／フィールド
- 12 13 ディッフェンドルファー記念館 東棟・西棟
- 14 大学礼拝堂
- 15 シーベリー 記念礼拝堂

- 16 大学食堂
- 17 東ヶ崎潔記念ダイアログハウス
- 18 カウンセリングセンター
- 19 本部棟
- 20 アラムナイハウス（受験生はこちらにお越しください）
- 21 ~ 30 学生寮

- 31 教職員住宅
- 32 泰山荘
- 33 ユリカ・ハウス
- 34 国際基督教大学高等学校
- 35 芝生広場
- 36 マクリーン通り
- 37 トロイヤー 記念アーツ・サイエンス館



# CAMPUS



## 2025年春 リニューアルオープン

### 01 大学本館

キャンパスの中心に位置し、大学の顔ともいえる本館は、1953年に完成。2024年には、大規模なリニューアル工事をを行い、建物の安全性を高め、学生・教職員がより安心・快適に利用できる環境を整えました。ICUの教育の特徴である少人数授業が多く開講されるため、全教室の約7割が定員30人以下の小教室であることは、本館の特筆すべき事項です。教室のほかに、ラウンジや自習ができるスペース、戦前からあるこの本館の歴史を振り返る歴史展示スペースなどもあり、授業の合間も多くの学生がここで友人たちと過ごす姿が見られます。



### 02 03 図書館（本館／ミルドレッド・トップ・オスマー図書館）

図書や雑誌がある本館と、自由に話しながら学修できるグループレARNINGエリアなどがあるオスマー図書館の2つで構成されています。資料探しや集中して勉強するなど、毎日たくさんの学生がさまざまな目的で利用しています。



### 37 トロイヤー 記念アーツ・サイエンス館

2023年に竣工した教室・研究棟。自然科学系の研究室や実験室などの設備のほか、1・2年生を中心に全学生が利用することになる大教室、また5つの人文・社会科学系の研究所などがあります。



### 36 マククリーン通り

正門から続く長さ600メートルの桜並木。創立時に平和を祈念して植えられた桜が満開を迎える春は、ときを忘れる美しさ。卒業後もこの景色に思いを寄せる人は多く、現在、寿命を迎えた桜の植え替えが寄付金などをもとに進められています。



### 35 芝生広場

学生・教職員の憩いの場。友人とおしゃべりしたり、お昼ごはんを食べたり、昼寝をしたり、思い思いに過ごしています。芝生に座る・寝転がる学生・教職員の姿がキャンパスの日常としてあることは、ICUの自由な雰囲気の一部となっています。



### 16 大学食堂

みんなの胃袋を支える場所、お昼時には学生でにぎわいます。リサイクル容器「リ・リパック」やフェアトレードコーヒーの導入、地産地消メニューの提供など、学生からの提案でさまざまな取り組みが実施されています。



### 12 13 ディッフェンドルファー 記念館 東棟・西棟

部室が入るなど課外活動の中心となる建物です。東棟は大規模な修繕工事を経て、戦後モダニズム建築の特徴を残しつつ、多くの学生が集う活気あふれる場へとよみがえりました。2023年2月に国の登録有形文化財（建造物）として登録されました。



### 07 総合学習センター

さまざまな角度から学生・教員の教育・研究を支援する共同利用施設です。



### 11 グラウンド／フィールド

人工芝フィールドは雨が降ったあとでも使用可能。保健体育の授業はもちろん、課外活動や寮生のスポーツ行事、また空き時間にスポーツを楽しむなど、さまざまな目的で利用されています。



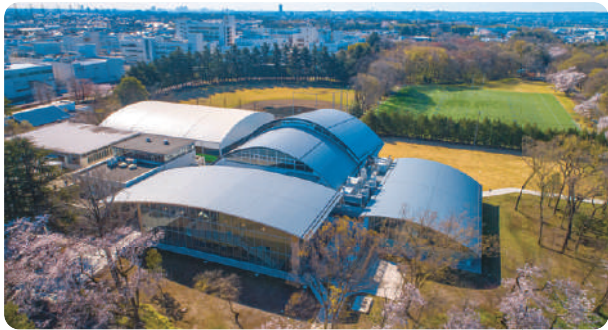
### 08 博物館 湯浅八郎記念館

初代学長 湯浅八郎 博士を記念した博物館。日本の民芸品とキャンパス内で発掘された考古遺物が主な収蔵品で、常設展示に加え、年3回の特別展や公開講座を開催しており、学芸員課程の実習はここで実施しています。



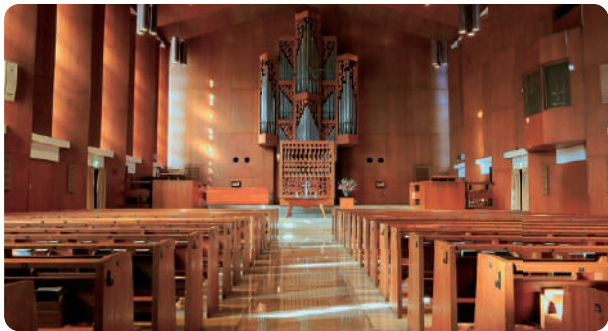
### 18 カウンセリングセンター

大学生活における学生の心理的な悩みについて相談を受け、一緒に考え、問題解決の援助をしています。センターのスタッフは、臨床心理士や学生相談の経験豊富なカウンセラーと精神科医です。



### 09 10 体育館／スポーツ・クラブハウス

体育館はガラス張りの明るい建物です。プール棟、屋根付きテニスコートもあり、保健体育の授業やクラブ・サークル、空き時間などに利用され、多くの学生が運動を楽しんでいます。



### 14 大学礼拝堂

大学の精神的支柱で、入学式や卒業式などの式典もここで行われます。室内にはオーストリアのリーガー社製の大きなパイプオルガンが設置されています。学期中は毎週1回、参加自由の大学礼拝（チャペルアワー）があります。



### 37 ヘルスケアオフィス（トロイヤー 記念アーツ・サイエンス館1階）

保健師スタッフが勤務し、健康相談のほか、けがの応急処置や体調不良のケアを行っています。学生、教職員を対象とした健康診断を実施しています。



### 20 アラムナイハウス

1階にはパブリックリレーションズ・オフィスがあります。キャンパス見学の際は、まずこの建物をお訪ねください。資料セットをお渡しします。

WEBSITE  
T館特設サイトは  
こちら

大学見学については  
こちら



学生寮

LIVING & LEARNING COMMUNITY

多様な学生たちと、暮らす中で学ぶ

ICUの広大なキャンパスには、9棟（総収容定員約900人）の学部生・大学院生用の寮があり、それぞれの寮で学年や国籍、文化背景の異なる学生が共同生活を送っています。

掃除の役割分担や共用スペースの利用ルールを決めたり、寮内で起きた問題を話し合いで解決したりするなど、寮は学生たちが主体となって運営されています。寮は単なる生活の場ではなく、共に暮らし共に学ぶ「教育寮」なのです。

各居室の定員は原則2名で、学年の違う学生が同室となります。各寮には共用のソーシャルルーム、キッチン（簡易キッチン）、浴室、洗面所、トイレなどがあります。



学生寮での生活



共有ラウンジ（銀杏寮）

居室内の学習デスク（カナダハウス）

共有ラウンジ「ウィステリアホール」（桜・楓寮）

学生寮の概要 キャンパス内に点在する9棟の学部生寮

| 寮名                               | 収容定員                         | 室定員             | 寮費（年額）   | 建築年             | 備考                                              |
|----------------------------------|------------------------------|-----------------|----------|-----------------|-------------------------------------------------|
| カナダハウス                           | 34名                          | 2名／1名           | 322,000円 | 1962年           |                                                 |
| グローバルハウス                         | 68名<br>（うち4名は大学院生チューター）      | 1名<br>（1ユニット4名） | 539,000円 | 2001年           | 1ユニットは共有スペースと4つの個室で構成されています。1・2階に男子、3・4階に女子が居住。 |
| 櫻（けやき）寮<br>銀杏（いちよう）寮<br>榎（かしのき）寮 | 各寮126名                       | 2名              | 513,000円 | 2010年、<br>2011年 | 1階に男子、2・3階に女子が居住。                               |
| 第3女子寮                            | 40名                          | 2名              | 257,500円 | 1958年           |                                                 |
| 第4女子寮                            | 32名                          | 2名              | 310,000円 | 1964年           |                                                 |
| 桜（もみのき）寮<br>楓（かえで）寮              | 桜寮192名（7階部分に大学院生）／<br>楓寮128名 | 2名／1名           | 515,000円 | 2017年           | 2階に男子、3～5階に女子が居住。6～7階は男女混住フロアになります。             |

- 入寮時には上記の寮費以外に一律62,000円の入寮費が必要です。 ●寮費は学期ごとに徴収します。
- 上記に記載されている寮費は年間在寮期間である10カ月分の費用です。7・8月は原則として閉寮となります。残寮対象者が残寮する場合は別途残寮費がかかります。
- 入寮費および寮費は2025年度現在の金額です（年度ごとに変更になる可能性があります）。

FAQs

Q. ICUの寮に入るには？

A. 入寮選考に応募する必要があります。ICUの寮は「教育寮」。背景の異なる多様な学生を受け入れるために、誰でも応募することができます。選考においては、「寮に入りたい理由」「共同生活に対する心がまえ」などからうかがえる人となりも重視します。

Q. 寮生活での部屋割りやサポートについては？

A. 部屋割りはバックグラウンドや生活リズムを考慮し寮生が決めますが、寮に入った直後は上級生や管理人が早く寮生活に慣れるようサポートしてくれます。

寮についての詳細は「ハウジングオフィス」までお問い合わせください。

TEL: 0422-33-3069 / E-mail: dormapply@icu.ac.jp

ハウジングオフィスウェブサイト



共有ソーシャルルーム（カナダハウス）

居室での様子（銀杏寮）

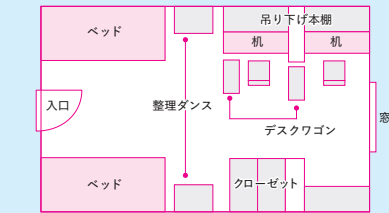


共有キッチン（銀杏寮）

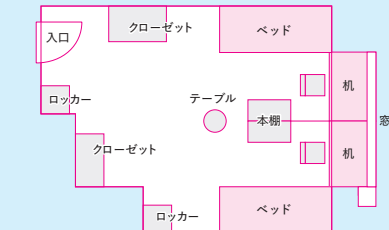
居室での様子（カナダハウス）

LAYOUT

■2人部屋の例（カナダハウス）



■2人部屋の例（銀杏寮）





クラブ & サークル

CLUB ACTIVITIES

文化系 クラブ・サークル団体

Cultural Activities

- CMS管弦楽団
- DJ、音楽 (Drag Verble)
- Her Campus ICU
- ICONfront
- ICU祭実行委員会
- ICUサステナ
- ICU地産地消プロジェクト
- ICUハンドメイドサークル
- ICU落語研究会
- TED x ICU
- Snaction
- ICU Time Travelers
- Worship Night
- アイルランド文化愛好サークル (Rince)
- アカベラサークル (UNBRAND)
- アナログゲーム・TRPG研究同好会D6
- アルバム制作 (Yearbook委員会)
- 映画部 (きらきら星)
- お笑い研究会
- 音響集団
- 学生新聞 編集・発行 (Weekly GIANTS Co.)
- 歌劇団
- 教職サークル (結「Yui」)
- キリスト者学生会 (KGK)
- 軽音楽 (ロック) (Melody Union)
- 軽音楽 (Jazz Funk Keystation)
- 劇団 黄河砂
- 劇団 虹
- ゴスペルクワイヤー (The Clumsy Chorus)
- 混声合唱サークル (ICU Glee Club)
- 茶道部
- 写真部 (Lucida)
- ジャズビッグバンド (Modern Music Society)
- 自然観察サークル (やんもり)
- 照明委員会
- 書道部
- 吹奏楽 (ICU Wind-Brass Ensemble)
- スペイン語・ラテン文化 (Spanish Speaking Society)
- 箏曲部 生田流如月会
- 泰山荘プロジェクト
- ディベート部 (Debating Society)
- 点訳サークル
- 長唄研究会
- 日本・イスラエル・パレスチナ学生会議
- 人形劇研究会 (ばべっと)
- 野尻キャンプ
- 畑同好会
- ハンドベルクラブ (ICU Bell Peppers)
- ペン (先) クラブ
- みかん同好会
- Culture and Diversity in Japan (CDJ)
- ICU. compost
- ICU 天文サークル
- IRIS (アイリス)
- Map the Better
- STUDY FOR TWO ICU支部
- チェス (ICU Chess Club)
- 美術愛好会

(2025年4月現在)



混声合唱サークル (ICU Glee Club)

TED x ICU

茶道部

ゴスペルクワイヤー (The Clumsy Chorus)



ラテンアメリカ音楽愛好会 (ICU LAMBS)

女子サッカー部

ラグビー部

クラシックバレエサークル (L'écryn)

体育系 クラブ・サークル団体

Athletic Activities

- 合気道部
- アーチェリー部 (ARTEMIS)
- アメリカンフットボール部 (Apostles)
- 空手道部
- 競技ダンス部
- クラシックバレエサークル (L'écryn)
- 剣道部
- 硬式庭球部
- 硬式野球部
- ゴルフ部
- サイクリング部
- 男子サッカー部
- 女子サッカー部
- 女子ラクロス部
- ICU サーフ ライフセービング クラブ
- ストリートダンスサークル (Smooth Steppers)
- 雪面滑走競技部
- ソフトボール部
- ダイビングサークル (Skin & Scuba Diving ORCA)
- ダンスサークル (PUCAPASS)
- チアリーディング部 (ICU ANGELS)
- テニスサークル (PAPOOSE)
- テニスサークル (FOOTLOOSE)
- 日本舞踊研究会
- バスケットボールサークル (IBL)
- バスケットボール部
- バドミントン部
- バレーボールサークル (ICU Halcyon)
- バレーボール部
- ハンドボール部
- フットサルサークル (Calcio)
- フライングディスク部 (WINDS)
- ボルダリング部
- ラグビー部
- ラテンアメリカ音楽愛好会 (ICU LAMBS)
- 陸上競技部
- 国際基督教大学和太鼓部
- ワンダーフォーゲル部
- ICUレスリング
- アーチェリーサークル (ARC)
- 柔道部
- ソングリーダー部 (Capellas)
- ボディメイク

(2025年4月現在)

SKY AVIATION

これからもワクワクするイベントを企画開発し、  
学生と航空業界の懸け橋に



航空業界といえば、誰もが一度は抱いた空への憧れ、ワクワクや挑戦、新たな物語の始まりといった印象を持ちませんか。SKY AVIATIONは、そんな航空業界と学生との懸け橋となり、パイロットや管制官、CAなどの夢を仲間と一緒に追いかけて挑戦できる環境をつくっています。2年前、わずか2人のパイロット志望者から始まった当学生団体。設立1年目に大手航空会社や空港との共催によるビジネスコンテストを開催。2年目にはシンガポール航空と羽田空港で100人規模のイベントを実現。現在は学内外のメンバーが50人以上所属するインカレ・学生団体へと成長しました。そんな急成長を実現できたのは、ICU生ならではの貪欲な挑戦心と、コミュニティの温かさがあったからだと思います。議論好きな学生の気質も手伝って、イベントを企画立案するためのコミュニケーションも綿密に重ねることができ、この積み重ねがイベントに参加した方々の圧倒的な満足度につながっていると思っています。そんなICU生の長所を生かし、今後も空港でのイベント開催など、ワクワクする企画開発に挑戦したいと考えています。

和太鼓部は、設立35周年を迎えた歴史ある団体です。毎年10月のICU祭や、3月の卒業公演などの学内演奏だけでなく、毎年春に開催される学外での公演にも参加するほか、アメリカやフィリピンでの海外公演など、和太鼓という日本文化を世界に発信する活動も行ってきました。和太鼓部の魅力であり自慢したい点は、何といても息ピッタリの「仲のよさ」です。部員はお互いにあだ名で呼び合う文化があり、学年関係なく和気あいあいとした雰囲気があります。練習では互いに教え合いながら切磋琢磨し、オフの時間はみなでご飯を食べに行ったり、旅行に出かけたり。いつの間にかたくさんの同じ時間を共有し、長期休暇などで会えない時間が続くに寂しくなるほどです。その中で「やっぱりみんなICU生だな」と感じるの、馴れ合いではなく、太鼓でも勉強でも私生活でもお互いに高め合える関係であることです。学年を越え、さらには層の厚いOB・OGの方々とのコミュニケーションを大切にし、一曲、一公演を全員で丁寧に創り上げていく。そうして生み出したICUならではの「音」を、日本と世界にこれからも響かせていきます。

国際基督教大学和太鼓部

部員全員で生み出すICUならではの「音」を、  
日本と世界に響かせたい





## 奨学金・学費

## FINANCIAL AID &amp; TUITION

受験生が経済的な理由で進学をあきらめることがないように。ICUは同窓生をはじめとする多くの方々からのご寄付、および大学が保有する基金の運用益を原資として奨学金の拡充を図っています。毎年約3人に1人の学生がICU独自の奨学金や外部機関による経済的支援を受けています。

| ■ 主な学内奨学金と利用の流れ<br>(各奨学金に採用された場合の給付・免除／貸与額) | 入学前                                     | 1 年                                |     |     | 2 年          |     |     | 3 年          |     |     | 4 年          |     |     |
|---------------------------------------------|-----------------------------------------|------------------------------------|-----|-----|--------------|-----|-----|--------------|-----|-----|--------------|-----|-----|
|                                             | 入学金の支払い                                 | 春学期                                | 秋学期 | 冬学期 | 春学期          | 秋学期 | 冬学期 | 春学期          | 秋学期 | 冬学期 | 春学期          | 秋学期 | 冬学期 |
| ICU Peace Bell 奨学金(免除) ①                    | 入学金、年間授業料および施設費、入寮費、年間寮費(7・8月を除く)を4年間免除 |                                    |     |     |              |     |     |              |     |     |              |     |     |
| ICU Cherry Blossom 奨学金[予約採用型](免除) ②         | 入学金+                                    | 春・秋学期<br>の学費                       |     |     | 春・秋学期<br>の学費 |     |     | 春・秋学期<br>の学費 |     |     | 春・秋学期<br>の学費 |     |     |
| ICUトーチリレーHigh Endeavor 奨学金(免除) ③            | 入学金+初年度第1学期<br>の学費                      |                                    |     |     | 第1学期<br>の学費  |     |     | 第1学期<br>の学費  |     |     | 第1学期<br>の学費  |     |     |
| ICUトーチリレー 在学生奨学金(免除) ④                      |                                         |                                    |     |     | 春学期<br>の学費   |     |     | 春学期<br>の学費   |     |     | 春学期<br>の学費   |     |     |
| ICU奨学融資制度(貸与) ⑤                             |                                         | 初年度第1学期を除く全ての学期の学費について利用可能(最大11学期) |     |     |              |     |     |              |     |     |              |     |     |

## 4年間継続して学費が免除される、本学独自の奨学金制度が拡充されました

入学金・学費・入寮費・寮費(7・8月を除く)が全て免除

1都3県以外の高等学校等出身者向け予約採用型奨学金

## 1 ICU Peace Bell 奨学金

免除型／出願と同時に応募

## ICU生の模範となる学生を4年間にわたりサポート

創立50周年に本学礼拝堂に寄贈され、世界平和への祈りを込めて毎日定時に鳴る平和の鐘。ICU生の模範となる学生、Peace Bell スカラー を入学前に募集し、採用された方を4年間にわたり金銭面で支えます。

- 採用予定人数: 14人
- 金額: 入学金 & 学費(授業料・施設費) & 入寮費 & 寮費(7・8月を除く)を原則4年間免除(2026年度: 約2,422,000円) ※寮費は概算です。

## 3 ICUトーチリレー High Endeavor 奨学金

免除型／出願と同時に応募

## 入学金と各年度第1学期の学費(4年間)を免除

ICUの大学歌「ICUソング」の“in a pledge of high endeavor(高い志を持って学ぶと誓う)”というフレーズにある通り、経済的な困難に負けることなく、高い志を持って挑戦する方を応援するため、原則4年間にわたり第1学期目の授業料および施設費を免除します。

- 採用予定人数: 24人
- 金額: 入学金 & 各年度第1学期の学費(授業料・施設費)を原則4年間免除(2026年度: 約807,000円)

## 5 ICU奨学融資制度(貸与奨学金)

貸与型／入学後(在学中)に応募

## 提携金融機関より低利で融資を受けられる制度

大学が保証人となり、学生が本人名義で提携金融機関から低利で融資を受けられる制度です。返済は卒業後に始まります(在学中の利子は大学が負担します)。募集は学期ごとで、初年度第1学期を除き、毎学期の申請も可能です。

※ICUトーチリレー 在学生奨学金以外の奨学金と併用可能です。

- 採用実績: 2024年度延べ146人(ほぼ全員利用できるのが特長)
- 金額: 入学後第1学期目を除く学期の全学費

採用予定人数は1年あたりの人数です。詳細はそれぞれの奨学金募集要項にてご確認ください。

各奨学金の併用には制限がある場合があります。あらかじめ各奨学金の募集要項をご確認のうえ、ご不明点がある場合は学生グループにお問い合わせください。なお、外国人留学生には専用の奨学金が設けられています。

▷ 各奨学金についてのお問い合わせ: 学生グループ奨学金担当 E-mail: scholarship@icu.ac.jp

免除型／出願前に採用者を決定

## 2 ICU Cherry Blossom 奨学金[予約採用型]

## 学業成績が優秀な学生を4年間にわたりサポート

1都3県(東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県)以外に設置された国内高等学校等の出身者が対象です。入学金および各年度第1・2学期の学費(授業料・施設費)が免除されます(一部の入試は対象外)。

- 採用予定人数: 20人
- 金額: 入学金 & 各年度第1・2学期の学費(授業料・施設費)を原則4年間免除(2026年度: 約1,314,000円)

## 4 ICUトーチリレー 在学生奨学金

免除型／入学後(在学中)に応募

## 毎年度申請できる、免除型の奨学金

教養学部2～4年次に在籍する学部生が対象です。授業料および施設費の第1学期分が免除され、毎年度申請することができます。

■2024年度は申請者の約75%が給付を受けました。

- 採用予定人数: 56人
- 金額: 第1学期の学費(授業料・施設費)を免除

## 6 経済的困窮学生 かけこみ生活支援制度

給付型／入学後(在学中)に応募

## 経済的支援を受けることが困難な学生を支える生活費支援募金

修学意欲が十分にありながらも、さまざまな事情により保護者や親族からの経済的支援を受けられず、明日の生活費に困窮している本学学生を支援する制度です。

## ICU Peace Bell 奨学金を利用

## ICU Peace Bell 奨学金が自己目標を常に意識し、結果にコミットするモチベーションに

ICUには、まさに学びの無限性があります。環境、学び方など、多面的な自由さにあふれ、学問的にも個人的にも、自己を高める挑戦ができる非常に恵まれた空間です。そして、その自由な挑戦を、強力に後押ししてくれるのが、ICU Peace Bell 奨学金です。私にとって、ICU Peace Bell 奨学生に選ばれたことは、自己目標を常に意識し、結果にコミットしようという学びのモチベーションに繋がりました。現在は、「映像における情動効果」にとても興味が広がってきています。将来は、感情体験をコアとするエンターテインメント業界で、自分の研究テーマの基盤である「情動効果」を生かし、活躍したいと考えています。



瀬戸 紫英

教養学部 3年  
兵庫県／  
Marist Brothers International School  
高等部出身

## ICU Cherry Blossom 奨学金を利用

## 出願前の採用通知が「このチャンスを逃したくない!」という向学心につながった

父が定年を迎え、弟も大学進学希望であったことから、ICUには奨学金受給を条件に挑戦しました。「ICU Cherry Blossom 奨学金」のよかった点は、入試の出願前に採用通知が来ることです。経済面で受験を悩んでいた私にとって大きな安心材料になり、採用通知をいただいた後は「このチャンスを絶対に逃したくない!」と勉強に励むモチベーションにもつながりました。おかげで現在は、両親への 経済的負担を気にせず、充実した学生生活を過ごせています。中でもICUに入ってよかったと思うのは、どの先生方も「学ぶとは何か?」という根源的な問いかけをしてくださる点。また、周りの友人たちも、それに応えるように学問と社会を結び付けて考え合う、つまり「議論好きな人たちが多い」点です。そうした先生や友人たちと緑豊かなキャンパスで時間を忘れて語り合うことができる日々に、心から満足しています。



岩見 愛子

教養学部 3年  
兵庫県／県立長田高等学校出身

## ICU トーチリレー High Endeavor 奨学金を利用

## しっかりと自己管理をした上で、積極的に人に頼る姿勢が大切

実家からの通学が難しく一人暮らしにも費用がかかるため、奨学金を利用することを考えました。奨学金受給にはGPA3.0以上であることが求められるため、全ての授業でAもしくはBの評価を取得することを目標にしました。シラバスや授業効果調査による授業評価(TES)も参考にしながら、無理のない履修計画を立てました。ICUは卒業するのが大変な大学といわれていますが、奨学金受給はさらに大変さを増すような挑戦です。皆さんに私からアドバイスしたい第一のポイントは、自己管理能力を磨くということ。しっかりと学修計画を立て、自分で自分を管理することが必要です。第二のポイントは、積極的に人に頼るということ。ICUには、共に学び、共に高め合おうという意識を持つ人が多いので、あらゆる場面で相談に乗ってくれるはず。きっと多くの刺激を受けることにもつながると思います。



浅野 まな

教養学部 3年  
神奈川県／山手学院高等学校出身

## ■ 学費

ICUが学生一人あたりにかけている年間の教育費(251.1万円)は、私立大学連盟加盟大学平均(139.3万円)※の約2倍にあたります。広範な学問分野をカバーする一学部一学科のメジャー制、少人数教育、国際性を持った人材の育成のための日英両語の語学プログラムの実践など、大学理念の実現に欠かせない教育を行うために、多くの費用を注ぎ、学納金のほか、補助金、募金、基金運用益を支えとして、教育の質を高く維持しているのです。

※2022年度私大文系平均との比較。ICU調べ。

| (単位／円) |         |                           |                         |
|--------|---------|---------------------------|-------------------------|
|        | 入学金     | 授業料                       | 施設費                     |
| 2026年度 | 300,000 | 1,167,000<br>(1学期389,000) | 354,000<br>(各学期118,000) |
| 2027年度 |         | 1,203,000<br>(1学期401,000) | 354,000<br>(各学期118,000) |



## 入学者選抜概要

## ADMISSIONS

ICUの入学者選抜は、いわば、リベラルアーツ教育の実体験の場です。  
楽しんでチャレンジしてください。

ICUのミッションをいかに理解するか。  
入試はそこから始まります。

ICUの受験を考える方は、まずICUオフィシャルウェブサイトから入学者受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）を確認してください。そこにある「責任ある地球市民」、3つの使命、「リベラルアーツ」というキーワードは、ICUの原点であり、ICUの教育を貫く柱です。そのうえで、以下のような「求める学生の資質」を掲げています。

## Admissions Policy – 求める学生の資質 –

- ▶ 文系・理系にとられない広い領域への知的好奇心と創造力
- ▶ 的確な判断力と論理的で批判的な思考力
- ▶ 多様な文化的背景を持つ人々との対話ができるグローバルなコミュニケーション能力
- ▶ 主体的に問題を発見し、果敢に問題を解決してゆく強靱な精神力と実行力

例えばICUの入学者選抜において文系・理系の枠を超えたものごとの見方・考え方が問われるのも、このような人材を育てるICUの授業への「適性」を見るためです。重視されるのは知識の量よりも思考力です。記憶から解答を引き当てるというよりも、試験問題からも新たな知識を得て、考えを組み立てていく力が備わっているか。ICUを受験されるならば、高校での普段の学習も受験対策としてだけでなく、思考の訓練であると意識して取り組んでほしいと思います。今まで関心のなかったテーマの新書などを読解することも、思考訓練に役立つでしょう。

さまざまな学生を受け入れるための  
さまざまな入試。  
その先に広がる世界に参加するために。

ICUでは献学以来、世界中の学生を受け入れるため4月入学と9月入学を実施してきました。その後もさらに多様な入学者選抜制度を整備し、「世界の中のICU」という位置づけを固めています。これからも世界に開かれた大学として挑戦し続けていくでしょう。すなわち、あなたが利用する入口（入学者選抜制度）とは別の入口からも、多様なバックグラウンドを持った学生が入学してきます。「狭い門」は一つだけではありませんので自分にふさわしい「扉を叩いて」ください。

自分と異なる価値観の人びとや異文化に触れられるだけでなく、「世界中の意欲的な人びと」があなたの仲間になって、共に学ぶ……。そこで得られる経験と、あなた自身の成長を想像してみてください。

入試にあたって、ぜひ、楽しみながらチャレンジしてほしいと思います。



毛利 勝彦

アドミッションズ・センター長／  
教授（国際関係学）

## Profile

1994年カールトン大学(カナダ)でPh.D.(政治学)を取得。専門分野は、グローバル・ガバナンス論、地球環境と持続可能な開発。



# 入学者選抜制度

自己と世界の変革に挑戦するさまざまな可能性に満ちた多様な学生を受け入れるため、ICUでは多様な選抜方法と多面的な評価尺度による入学者選抜を実施しています。

- 一般選抜 ▶ p.102 ●転編入学制度 ▶ p.107 ●学校推薦型選抜＜4月入学専願＞ ▶ p.107
- 総合型選抜＜4月入学専願＞ ▶ p.108 ●総合型選抜＜4月入学＞帰国生 ▶ p.110 ●総合型選抜＜4月入学＞社会人 ▶ p.111
- 総合型選抜＜4月／9月入学＞English Language Based Admissions ▶ p.111 ●総合型選抜＜4月／9月入学＞EJU(日本留学試験)利用 ▶ p.112

◎ = おすすめ 重要 この表は目安であり、一部の例です。必ず入学試験要項で確認してください。

|               | 一般選抜<br>[ 人文・社会科学選択 ]<br>[ 数理・自然科学選択 ]<br>[ 日英バイリンガル面接利用 ]<br>[ 英語外部試験利用 ] | 総合型選抜                                                |                                     |                                                                 |                                           |
|---------------|----------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------|-------------------------------------|-----------------------------------------------------------------|-------------------------------------------|
|               |                                                                            | ＜4月入学専願＞<br>[ 英語外部試験利用 ]<br>[ 理数探究利用 ]<br>[ IBDP利用 ] | ＜4月入学＞帰国生<br>※継続して中高2年以上<br>外国の教育制度 | ＜4月／9月入学＞                                                       |                                           |
|               |                                                                            |                                                      |                                     | English Language Based Admissions<br>※英語による選考、英語外部<br>試験スコア条件あり | EJU (日本留学試験) 利用<br>※継続して中高6年以上<br>外国の教育制度 |
| 主な選考言語        | 日本語                                                                        | 日本語                                                  | 日本語                                 | 英語                                                              | 日本語                                       |
| 入学後の必修語学プログラム | ELA(英語) ▶ p.23                                                             | ELA(英語) ▶ p.23                                       | ELA(英語) ▶ p.23                      | JLP(日本語) ▶ p.27                                                 | ELA(英語) <sup>*</sup> ▶ p.23               |
| 入学時期          | 4月                                                                         | 4月                                                   | 4月                                  | 4月／9月                                                           | 4月／9月                                     |
| 日本の高等学校卒      | 日本の中学・高等学校で学んだ方                                                            | ◎                                                    | ◎                                   |                                                                 | 出願資格なし                                    |
|               | 留学経験のある方                                                                   | ◎                                                    | ◎                                   | ◎                                                               | 出願資格なし                                    |
|               | IB Diploma取得予定の方                                                           | ◎                                                    | ◎                                   | ◎                                                               |                                           |
|               | 在外教育施設に在学の方                                                                | ◎                                                    | ◎                                   |                                                                 | 出願資格なし                                    |
| 外国の学校卒        | 日本の中学・高等学校で学んだことのある方                                                       | ◎                                                    | ◎                                   |                                                                 | 出願資格なし                                    |
|               | 外国の教育制度で学んだ方                                                               |                                                      | ◎                                   | ◎                                                               | ◎                                         |
|               | インターナショナル・スクールで学んだ方                                                        |                                                      | ◎                                   | ◎                                                               |                                           |
|               | IB Diploma取得予定の方                                                           | ◎ IBDP利用                                             | ◎                                   | ◎                                                               |                                           |
|               | 英語・日本語以外の言語による教育を受けた方<br>(日本語学校で学んでいる方など)                                  |                                                      |                                     |                                                                 | ◎                                         |

※英語力によって必修語学プログラムにJLP(日本語)を選択できる場合があります。詳細は入学試験要項で確認してください。  
注)日本国籍を保持していない方が本学に入学するには、日本での適法な在留資格が必要となります。合格通知書受領後に行う入学手続きが完了していても、適法な在留資格を取得できなかった場合は本学への入学は許可されません。なお、本学が出入国在留管理庁に対して在留資格認定証明書を代理申請した場合、申請の結果について本学は一切の責任を負いません。

## FAQs

### 入学者選抜制度全般について

Q. 日本語も英語も同程度できるのですが、どの入学者選抜を受ければよいのでしょうか？

A. 出願資格を満たしていれば、どの入学者選抜にも出願可能です。ただし、合格した入学者選抜によって、入学後の必修語学プログラムや入学時期が異なります。入学後に必修科目として、どちらの言語運用能力を重点的に高めたいか、よく検討してください。

- English Language Based Admissions に合格した場合  
→日本語教育プログラム(JLP)(▶p.27参照)
- 総合型選抜＜4月／9月入学＞EJU(日本留学試験)利用に合格した場合  
→条件によって出願時にプログラム選択可(▶p.23、27参照)
- 上記2選抜以外に合格した場合  
→リベラルアーツ英語プログラム(ELA)(▶p.23参照)

Q. ICUの複数の入学者選抜を併願できるのでしょうか？

A. 各入学者選抜の出願資格を満たしていれば、併願は可能です。ただし、総合型選抜＜4月入学専願＞および学校推薦型選抜＜4月入学専願＞は、本学を第一志望とし、合格した場合は本学へ入学することを確約できる方を対象としており、両方を受験することはできません。また、4月／9月入学が可能なEnglish Language Based Admissionsは、年に1回しか受験できませんので注意してください。

Q. 入学後に必修語学プログラムの変更はできますか？

A. できません。ただし、必修ではない方の語学科目および関連科目に選択科目として履修できる科目がありますので、自身の語学力に応じて、日英両語の言語運用能力をさらに伸ばしてください。

ELA(リベラルアーツ英語プログラム)(▶p.23参照)履修対象生  
Stream1、2の学生は、JLPのプレースメントテストを受けることができます。その結果、必要と認められたJLP科目を選択科目として履修することが可能です。また、総合型選抜＜4月／9月入学＞EJU(日本留学試験)利用で合格した方についてはELAのStreamに関係なくJLPのプレースメントテストを受けることができます<sup>\*</sup>。

※英語力によって必修語学プログラムにJLPを選択できる場合があります。詳細は入学試験要項で確認してください。

JLP(日本語教育プログラム)(▶p.27参照)履修対象生  
JLP履修対象生用のacademic writing(英語)コースや上級総合英語等のELG(English Language General)科目を選択科目として履修することができます。

Q. 外国籍ですが、どの入学者選抜を受けることができますか？

A. ICUの入学者選抜において、国籍による区別はありません。ご自身の教育背景と言語運用能力に応じた入学者選抜に出願してください。ただし、EJU(日本留学試験)利用(4月入学)および一般選抜においては、入学時までに有効な中長期の在留資格(「留学」「永住」等。「短期滞在」は不可)を保持しない場合、出願することができません。

# 一般選抜

[ 人文・社会科学選択 ] [ 数理・自然科学選択 ] [ 日英バイリンガル面接利用 ] [ 英語外部試験利用 ]

ICUの一般選抜では、高等学校までの学習で蓄積した知識に加えて、入学後のリベラルアーツ教育において必要とされる適性が試されます。そのため、独自の試験方法を通して、受け身の学習を超えて主体的に学ぶことができる学生を選抜します。

### ▶教養学部(アーツ・サイエンス学科)

| 募集人員 | 出願区分         | 選考方法／試験科目                                                                                                  | 出願期間                            | 第一次選考       |              | 第二次選考        |              | 入学手続締切日      |
|------|--------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------|-------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
|      |              |                                                                                                            |                                 | 試験日         | 合格発表日        | 試験日          | 合格発表日        |              |
| 110名 | 人文・社会科学選択    | ●人文・社会科学<br>●総合教養<br>●英語                                                                                   | [ Web出願期間 ]<br>1月6日(火)～1月22日(木) | 2月7日<br>(土) | 2月13日<br>(金) | ――           |              | 2月24日<br>(火) |
| 40名  | 数理・自然科学選択    | ●数理・自然科学<br>●総合教養<br>●英語                                                                                   |                                 |             |              | ――           |              |              |
| 20名  | 日英バイリンガル面接利用 | 第一次選考：<br>●総合教養<br>●英語<br>第二次選考：<br>●オンライン個人面接<br>(日本語・英語)                                                 | [ 出願書類提出期限 ]<br>1月23日(金)        |             |              | 2月21日<br>(土) | 2月27日<br>(金) | 3月9日<br>(月)  |
| 10名  | 英語外部試験利用     | 第一次選考：<br>●総合教養<br>●英語(IELTS、TOEFL、Cambridge English、GTEC CBTのいずれかの公式スコア)<br>第二次選考：<br>●オンライン個人面接<br>(日本語) |                                 |             |              |              |              |              |

●2026年度入学者選抜の詳細は、必ず入学試験要項で確認してください。一般選抜の要項は2025年10月下旬頃から本学ウェブサイト<https://www.icu.ac.jp/admissions/>よりダウンロードできます。

※「日英バイリンガル面接利用」と「英語外部試験利用」の併願はできません。その他の区分の組み合わせは併願可能です。

## リベラルアーツの学び。それは入学者選抜からスタートします。

### ■一般選抜は、ICUの学びの体験

ICUの一般選抜は、高等学校での「教科」ごとの試験ではなく、大学での「学問」分野とその「学び方」に基づいた構成を採用しています。実際にICUに入学した後は、英語運用能力をELA(▶p.23)で磨きながら、一般教育科目(▶p.37)や専門分野の基礎科目などを履修していきます。その学問分野の大きな構成が、人文科学、社会科学、自然科学、学際分野という柱であり、在学中は複合的・横断的に自らの学びを深めていきます。

またどんな授業でも、講義を聴いたり論文を読んだりして、その内容を的確に把握して伝える能力が必要です。そして、これまでに学んできた知識や考え方を創造的に応用していくことも重要です。

これを体験するのが、ICUの一般選抜なのです。

### ■試験科目の構成(全ての科目において中央値補正による得点調整を行います) ※英語外部試験利用は素点

| 時間割        | 人文・社会科学<br>選択      | 数理・自然科学<br>選択  | 日英<br>バイリンガル<br>面接利用 | 英語外部<br>試験利用 |
|------------|--------------------|----------------|----------------------|--------------|
| 1限<br>約70分 | 人文・社会科学<br>80点     |                |                      |              |
| 2限<br>約70分 | 総合教養【ATLAS】<br>80点 |                |                      |              |
| 3限<br>約70分 | 英語<br>80点          |                |                      |              |
| 4限<br>約70分 |                    | 数理・自然科学<br>80点 |                      |              |

|           |  |  |                           |                        |
|-----------|--|--|---------------------------|------------------------|
| 第二次<br>選考 |  |  | オンライン<br>個人面接<br>(日本語・英語) | オンライン<br>個人面接<br>(日本語) |
|-----------|--|--|---------------------------|------------------------|

| 人文・社会科学                                                    | 数理・自然科学 |
|------------------------------------------------------------|---------|
| それぞれの分野での的確な判断力や論理的な分析力を評価します。選択する試験科目は入学後のメジャー選択には影響しません。 |         |

|                                                                    |                                                    |
|--------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------|
| 人間の生み出した文化や思想、社会に関わる学問分野(文学、哲学、芸術、宗教、政治、経済、歴史、社会など)からの論論文を読み解答します。 | 自然法則、サイエンスに関わる4つの学問分野(数学、物理、化学、生物)から2分野を選択して解答します。 |
|--------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------|

| 総合教養【ATLAS】                                                                                                                                               |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 総合教養とは、リベラルアーツの基礎となる適性を判断する総合問題です。<br>ICUの一般選抜において最も特徴的な科目で、大学の講義で扱う問題に対して、自分の考えを組み立てて解答するかたちをモデル化したものです。<br>①事前学習→②授業→③事後学習という一般的な学修プロセスに沿うかたちで構成されています。 |

| 英語                                                                          |
|-----------------------------------------------------------------------------|
| 入学後に英語で学問に取り組んだり、日英バイリンガルで対話を行ったりする適性があるかを評価します。リスニングを含む、コミュニケーション能力を重視します。 |



# 一般選抜

〔人文・社会科学選抜〕〔数理・自然科学選抜〕〔日英バイリンガル面接利用〕〔英語外部試験利用〕

 WEBSITE

前年度試験問題



## 総合教養【ATLAS】

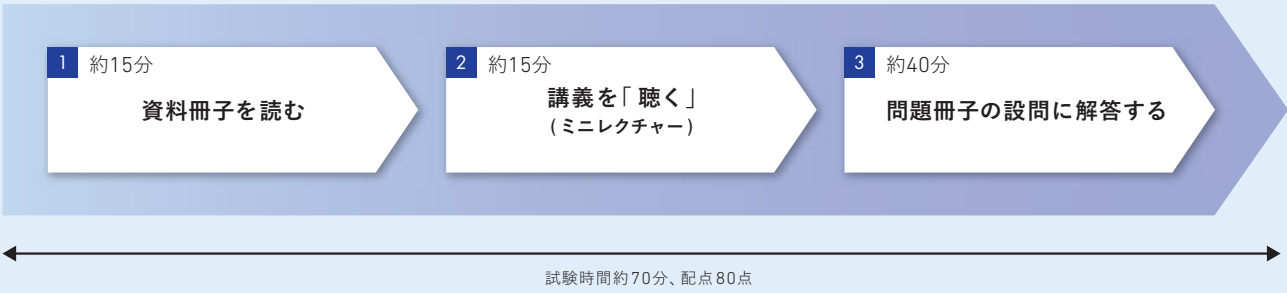
（多肢選択のマークセンス方式）試験時間約70分、配点80点

### 総合教養（ATLAS: Aptitude Test for Liberal ArtS）とは？

総合教養とは、リベラルアーツの基礎となる適性を判断する総合問題です。特定のテーマについての論述・資料と講義の内容およびそれに関連する設問に答えます。文系・理系にとられない広い領域への知的好奇心や論理的で批判的な思考力を養うICUの一般教育科目の授業を受けるつもりで取り組んでください。

### ■ 総合教養【ATLAS】の試験の流れ

①事前学習→②授業→③事後学習という一般的な学修プロセスに沿うかたちで、以下のように実施します。

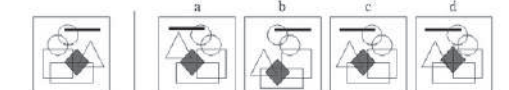


38. 物体アからウが平面上に配置されている。黒い線は、平面に対して垂直に置かれている鏡である。これらの物体のうち、図にある眼の位置から鏡を見たとき、鏡に映って見える物体はどれか。（三角形の鏡に向いている頂点を眼の中心とする。）



a. アとイ  
b. イ  
c. イとウ  
d. アとイとウ

39. あなたに向き合う面、つまりこのページの平面に鏡があったとする。左の図を裏返して、その鏡と向き合わせた場合、その鏡像となるのはどの図形か。



A  
11

※ 講義の音声や資料冊子、問題冊子などの過去の試験問題の詳細は本学ウェブサイトをご覧ください。

## 英語

（多肢選択のマークセンス方式）試験時間約70分、配点80点

入学後の「英語での学び」への適性があるかを評価します。通常の日本の大学入試に多く見られる英文和訳・和文英訳のような問題とは異なり、英語でものを考え、理解し、分析する能力を測ることを目的とします。全体の意味と各文の論理関係を理解する力が求められます。2部構成でまずリスニング(約25分)を行い、続いてリーディング(約45分)を行います。

24. According to the lecture, why do people enjoy looking back at painful experiences?

a. It helps them prepare for difficult situations in the future.  
b. It releases them from the bonds of group membership.  
c. It reminds them of the strong relationships they built.  
d. It makes them feel that the tasks were relatively painless.

※リスニングの音声やリーディングの設題を含む過去の試験問題の詳細は本学ウェブサイトをご覧ください。

一般選抜〔英語外部試験利用〕

一次総合教養【ATLAS】

英語(外部試験を利用)

二次オンライン個人面接(日本語)

一般選抜〔日英バイリンガル面接利用〕

一次総合教養【ATLAS】

英語

二次オンライン個人面接(日本語・英語)

## 英語（英語外部試験を利用する場合）

IELTS（アカデミック・モジュール）、TOEFL iBT、Cambridge English Qualifications、GTEC CBTのいずれかの公式スコアを利用します。出願要件はIELTS6.5、TOEFL iBT79、Cambridge English Qualifications175、GTEC CBT1300です。

※2024年2月1日以降に受験したスコアをご提出ください。  
※「日英バイリンガル面接利用」と「英語外部試験利用」の併願はできません。その他の区分の組み合わせは併願可能です。

## 人文・社会科学

（多肢選択のマークセンス方式）試験時間約70分、配点80点

本学教員が書き下ろした10ページ程度の論説文を読み、その内容に関連した設問に答えます。出題範囲については、文学、哲学、芸術、宗教、政治、経済、歴史、社会などの分野から出題され、思考力や判断力が必要となります。興味のあるテーマの新書や文庫などに読み慣れて、筆者との対話から理解した内容を的確に整理し、自分の考えを深めるクリティカル・シンキングの習慣をつけておくといでしょう。

15. ミシェル・ド・セルトーが『文化の政治学』の中で青年について論じたことと、夏目漱石の『三四郎』および森鷗外の『青年』との関連性について、資料に最も適合するものを選びなさい。

a. セルトーが19世紀における青年の把握のされ方を指摘したのに対し、『三四郎』と『青年』は20世紀日本での特殊な事情を取り上げており、セルトーが指摘しなかった権力の中央集中という新たな面を筆者は指摘する。

b. セルトーは19世紀のヨーロッパに詩的な「青春」というキャラクターが生み出されたことを指摘したが、『三四郎』と『青年』の主人公たちは文学用語である共通語を習得中であるところがセルトーの指摘と異なる。

c. 漱石の『三四郎』の主人公はセルトーが指摘した19世紀の「青年」に当てはまるが、それに対抗する作品として書かれた鷗外の『青年』には対極的な青年が主人公となっており、セルトーの指摘は当てはまらない。

d. 『三四郎』と『青年』の主人公である青年たちはセルトーが指摘した19世紀に誕生した「青年」の類型に当てはまるとともに、若者たちにとってこれらの小説は都会での生活を知りまた共通語を学ぶ手立てともなった。
16. 「言語による中央集権化」に当てはまるものを選びなさい。

a. 小学校の英語教育の必修化  
b. 石川啄木のローマ字日記  
c. 植民地における日本語教育  
d. 歴史的仮名遣いによる表記

※ 過去の試験問題の詳細は本学ウェブサイトをご覧ください。

## 数理・自然科学

（一部設問を除き多肢選択のマークセンス方式）試験時間約70分、配点80点

出題範囲については、数学、物理、化学、生物の4分野から2分野を選択して解答します。4分野全てにおいて中央値補正による得点調整を実施して公平な判定を行いますので、自分にとっての得意分野を選択してください。

PART I

$x$  座標と  $y$  座標が両方とも整数である平面上の点を格子点とよぶ。実数  $r > 0$  について、原点を中心とする半径  $r$  の円の内部および周上の格子点の集合を  $C(r)$  と記す。すなわち格子点  $(x, y)$  について、 $(x, y) \in C(r)$  は  $x^2 + y^2 \leq r^2$  と同値である。 $C(r)$  の要素の個数を  $N(r)$  と記して、 $N(r)$  の値を調べてみよう。すると、

- $0 < r < 1$  ならば  $C(r) = \{(0, 0)\}$  であり、 $N(r) = 1$  である。
- $1 \leq r < \sqrt{2}$  ならば  $C(r) = \{(0, 0), (1, 0), (0, 1), (-1, 0), (0, -1)\}$  であり、 $N(r) = 5$  となる。
- 格子点  $(3, 4)$  は  $r \geq 5$  のとき  $C(r)$  の要素であり、 $(3, 4) \in C(r)$  となっている。

1.  $r = 2.1 = \frac{21}{10}$  のとき  $N(r) = \boxed{\text{ア}}\boxed{\text{イ}}$  である。

2.  $N(r) = 25$  となるのは、 $\boxed{\text{ウ}} \leq r^2 < \boxed{\text{エ}}$  のときである。

3.  $(3, 1) \in C(r)$  となるのは  $\sqrt{\boxed{\text{オ}}\boxed{\text{カ}}} \leq r$  のときである。また  $r = \sqrt{\boxed{\text{オ}}\boxed{\text{カ}}}$  のとき  $N(r) = \boxed{\text{キ}}\boxed{\text{ク}}$  である。

※ 過去の試験問題の詳細は本学ウェブサイトをご覧ください。



# 一般選抜

〔人文・社会科学選抜〕〔数理・自然科学選抜〕〔日英バイリンガル面接利用〕〔英語外部試験利用〕

WEBSITE

2026年度入学試験要項  
(一般選抜は10月下旬公表予定)



## FAQs

一般選抜「総合教養【ATLAS】」について

Q. 「総合教養」は高校でどのような科目を履修していれば対応できますか？

A. 教科の枠を超えた横断的な総合問題ですので、高校で学んだ全ての教科・科目の知識をバランスよく活用し、出題テーマを自ら考え、探求する意欲を持って対応してください。

Q. 高校では文系コースを選択したので、理系科目はほとんど履修していません。文系の生徒には不利でしょうか？

A. とくに理系に特化した試験ではありません。文系・理系にとらわれない広い領域への知的好奇心と共に果敢に問題を解決していく勇氣を持つことができるかについての適性試験になっています。

Q. 「総合教養」の講義は日本語で行われますか？

A. 「総合教養」の講義は日本語で行われますが、講義や論述・資料では部分的に英語が使われる場合があります。しかし、「総合教養」は英語の能力を評価する試験ではありません。ICUには、主たる言語を日本語としつつも部分的に英語が使われるタイプの授業があります。ICUのリベラルアーツの特色であるバイリンガリズムの一端を垣間見るつもりで、楽しんで挑戦してください。

## FAQs

一般選抜について

Q. 「数理・自然科学」はどの教科が範囲となるのでしょうか？

A. 4つの分野の出題範囲については下記の通りです。

| 分野 | 教育課程                              |
|----|-----------------------------------|
| 数学 | 数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、<br>数学B(数列)、数学C(ベクトル) |
| 物理 | 物理基礎、物理                           |
| 化学 | 化学基礎、化学                           |
| 生物 | 生物基礎、生物                           |

Q. 「総合教養」の講義はどのくらいの時間聴くのでしょうか？

A. 15分程度です。講義を聴く際には、メモを取ってもかまいません。ICUでは多彩な文化と対話できるコミュニケーション能力を重視しています。そうした対話を成立させるためにも、他者の意見を注意深く聴きながら効果的なノートを取る習慣を身に付けておいてください。

Q. 「総合教養」では講義に対する設問のほかにどのような設問がありますか？

A. ICUの授業では、事前学習として、リーディング教材を読んできたことを前提に講義やディスカッションが行われています。「総合教養」でも、最初に読む論述や資料と、その後に聴く講義に関する設問が出題されます。

Q. 一般選抜「日英バイリンガル面接利用」「英語外部試験利用」の第二次選考（オンライン個人面接）は英語で行われるのですか？

A. 「日英バイリンガル面接利用」の面接は、日本語および英語で行われます。「英語外部試験利用」の面接は、原則日本語で行われます。

Q. 一般選抜のそれぞれの区分の検定料は同じですか？ また別の区分を併願した場合、検定料の割引はありますか？

A. 一般選抜のそれぞれの区分を単願で受験する場合の検定料は同額です。区分を併願する場合のみ検定料の割引を適用します。

| 区分数   | 検定料     |
|-------|---------|
| 単願    | 30,000円 |
| 2区分併願 | 40,000円 |
| 3区分併願 | 50,000円 |

## 2025年度 一般選抜結果

〔人文・社会科学選抜〕〔自然科学選抜※〕〔日英バイリンガル面接利用〕〔英語外部試験利用〕

※2026年度以降は数理・自然科学選抜

### 人数

人文・社会科学選抜

|     | 合計   | 転編入本科学学生(内数) |
|-----|------|--------------|
| 志願者 | 885人 | 52人          |
| 受験者 | 870人 | 52人          |
| 合格者 | 256人 | 6人           |

自然科学選抜※

|     | 合計   | 転編入本科学学生(内数) |
|-----|------|--------------|
| 志願者 | 198人 | 7人           |
| 受験者 | 193人 | 7人           |
| 合格者 | 73人  | 0人           |

※2026年度以降は数理・自然科学選抜

日英バイリンガル面接利用

|     | 合計   | 転編入本科学学生(内数) |
|-----|------|--------------|
| 志願者 | 132人 | 14人          |
| 受験者 | 131人 | 14人          |
| 合格者 | 19人  | 1人           |

英語外部試験利用

|     | 合計  | 転編入本科学学生(内数) |
|-----|-----|--------------|
| 志願者 | 93人 | 3人           |
| 受験者 | 92人 | 3人           |
| 合格者 | 6人  | 0人           |

### 現役・既卒別割合（外国の学校卒・高卒認定試験等を含む）

一般選抜計

|     | 現役   | 既卒   |
|-----|------|------|
| 志願者 | 923人 | 385人 |
| 受験者 | 914人 | 372人 |
| 合格者 | 279人 | 75人  |

### 都道府県別 内訳（一般選抜計）

●数字は合格者数／志願者数

中部

新潟 0/7 富山 2/6 石川 2/8 山梨 5/18 長野 8/18  
岐阜 1/2 静岡 7/25 愛知 18/51

中国

鳥取 2/3 岡山 1/7 広島 8/15 山口 0/3

九州

福岡 2/11 佐賀 0/3 長崎 1/4  
熊本 4/11 大分 0/3 宮崎 0/1  
鹿児島 3/5

北海道

北海道 4/22

東北

岩手 1/4 宮城 3/10 山形 0/1 福島 1/5

関東

茨城 4/39 栃木 3/14 群馬 1/8 埼玉 19/72  
千葉 20/66 東京 158/569 神奈川 31/120

近畿

三重 1/5 滋賀 0/2 京都 6/13 大阪 11/35 兵庫 5/19 奈良 3/6 和歌山 0/1

四国

徳島 0/3 香川 1/4 愛媛 0/5

沖縄

沖縄 7/19

その他（外国の学校卒・高卒認定試験など）  
11/65



## 転編入学制度

### ▶教養学部（アーツ・サイエンス学科）

| 募集人員        | 出願区分         | 出願期間                          | 第 一 次 選 考 |          | 第 二 次 選 考 |          | 入学手続締切日  |  |  |
|-------------|--------------|-------------------------------|-----------|----------|-----------|----------|----------|--|--|
|             |              |                               | 試験日       | 合格発表日    | 試験日       | 合格発表日    |          |  |  |
| 一般選抜<br>に含む | 人文・社会科学選択    | 〔Web出願期間〕<br>1月6日(火)～1月22日(木) | 2月7日(土)   | 2月13日(金) | ――        | ――       | 2月24日(火) |  |  |
|             | 数理・自然科学選択    |                               |           |          |           |          |          |  |  |
|             | 日英バイリンガル面接利用 | 〔出願書類提出期限〕<br>1月23日(金)        |           |          | 2月21日(土)  | 2月27日(金) | 3月9日(月)  |  |  |
|             | 英語外部試験利用     |                               |           |          |           |          |          |  |  |

●2026年度入学者選抜の詳細は、必ず入学試験要項で確認してください。転編入学制度（一般選抜）の要項は2025年10月下旬から本学ウェブサイト<https://www.icu.ac.jp/admissions/>よりダウンロードできます。

**出願資格** 以下の①～③のうち、いずれかの条件を満たすことが必要です。

- (1)日本または外国の大学で本科学生として1年以上在学<sup>※</sup>した者（見込みの者を含む）  
(2)日本または外国の短期大学を卒業（短期大学士／準学士／Associate Degree）した者（見込みの者を含む）  
(3)高等専門学校を卒業した者（見込みの者を含む）

※休学期間是在学期間に含まれません。

### 試験科目

一般選抜（▶p.102）と同じ。

### 出願書類

高等学校調査書に加えて以下の書類も必要です。

- ①日本または外国の大学で本科学生として1年以上在学した者（見込みの者を含む）→大学が発行した在学期間証明書（入学年月、休学有無および休学期間がわかるもの）  
②日本または外国の短期大学を卒業した者（見込みの者を含む）→短期大学（短期大学士／準学士／Associate Degree）の卒業証明書もしくは卒業見込み証明書  
③高等専門学校を卒業した者（見込みの者を含む）→高等専門学校（準学士）の卒業証明書もしくは卒業見込み証明書

※合否判定は一般選抜受験者と区別なく行われ、合格した場合、入学時の身分が「転編入本科学生」となります。

※英語外部試験利用の場合は、2024年2月1日以降に受験したスコアをご提出ください。（公式スコアの出願要件についてはp.104を参照）

### 他大学等における履修単位の認定

転編入本科学生がほかの大学（短期大学、高等専門学校含む）で履修した単位は、本学の授業科目と同等であり、また本学の卒業要件の一部とすることが適当であると認められた科目のうち100点満点の評点で70点以上を得たものについて、入学後に所定の手続きを経て単位の編入を認めます。

- 入学前の単位換算は行いません。

### 本学における在学期間

本学を卒業するためには、所定の卒業要件を満たし、最終学年を含め、3年以上本学に在学しなければなりません。

### メジャー（専修分野）の決定

転編入して3学期目の終わりに決定します。入学前にメジャー選択はできません。

## 学校推薦型選抜＜4月入学専願＞

### ▶教養学部（アーツ・サイエンス学科）

| 募集人員                                         |                   | 出願期間                            | 詳細             |
|----------------------------------------------|-------------------|---------------------------------|----------------|
| 国際基督教大学高等学校<br>本学が指定する高等学校<br>キリスト教学校教育同盟加盟校 | 80名<br>70名<br>50名 | 〔Web出願期間〕<br>11月4日(火)～11月10日(月) | 高等学校に確認してください。 |
|                                              |                   | 〔出願書類提出期限〕<br>11月11日(火)         |                |
|                                              |                   |                                 |                |

※上記の他に、「ELBA Recommendees (April/September Entry)」（募集人員10名）もあります。

- 2026年度入学者選抜の詳細は、必ず入学試験要項で確認してください。

### 出願資格

本学が指定する高等学校の生徒。

- 在籍する高等学校が指定校となっているかは、高等学校に問い合わせてください。指定校には毎年6月頃に高等学校長宛に入学試験要項を送付します。

※本学の総合型選抜＜4月入学専願＞との併願はできません。

### 2025年度 選抜結果

| 志願者  | 合格者  |
|------|------|
| 264人 | 263人 |

※「ELBA Recommendees (April/September Entry)」（2024年9月および2025年4月入学）を含む

### 研 究 生

4年制の大学を卒業した後に、特定の分野における研究を行う者として「研究生」を受け入れています。在学期間は原則として1年間です。研究課題を明記して出願します。詳細については、アドミッションズ・センター（admissions-center@icu.ac.jp）にお問い合わせください。

## 総合型選抜＜4月入学専願＞

〔英語外部試験利用〕〔理数探究利用〕〔IBDP利用〕

自らの積極性、意欲、社会的関心、多種多様な才能や経験、視点を志願者が十分にアピールできる選抜方法です。好奇心が旺盛で柔軟な思考を持ち、与えられるだけの教育では満足できず、社会的関心を深め、世界的な視野を持ちたいという学生に受けてほしいと思います。

### ▶教養学部（アーツ・サイエンス学科）

| 募集人員 | 出願区分     | 出願期間                                                       | 選考方法 |                                                                                             | 試験日       | 合格発表日     | 入学手続締切日   |
|------|----------|------------------------------------------------------------|------|---------------------------------------------------------------------------------------------|-----------|-----------|-----------|
| 60名  | 英語外部試験利用 | [Web出願期間]<br>9月1日(月)～9月9日(火)<br><br>[出願書類提出期限]<br>9月10日(水) | 一次   | 書類選考                                                                                        | ——        | 10月10日(金) | 11月12日(水) |
| 5名   | 理数探究利用   |                                                            | 二次※1 | 英語外部試験利用 オンライン個人面接<br>(日本語)                                                                 | 10月18日(土) | 11月4日(火)  |           |
| 10名  | IBDP利用   |                                                            |      | 理数探究利用 オンライン個人面接<br>(日本語、プレゼンテーション※2含む)<br><br>IBDP利用 オンライン個人面接<br>(日本語および英語、プレゼンテーション※2含む) |           |           |           |

- 2026年度入学者選抜の詳細は、必ず入学試験要項で確認してください。総合型選抜の要項は2025年6月上旬頃から本学ウェブサイト<https://www.icu.ac.jp/admissions/>よりダウンロードできます。

※1 第一次選考の合格者に対して面接を行います。 ※2自然科学分野の自主研究あるいは「理数探究基礎」や「理数探究」の授業で自主的に取り組んだ研究成果について。

※3「課題論文(Extended Essay)」の内容と成果（見込み）の要約について。

複数区分への出願はできません。「英語外部試験利用」「理数探究利用」「IBDP利用」のいずれか一つを選択してください。いずれの区分で入学した場合も、卒業要件上の必修語学科目は「英語」（リベラルアーツ英語プログラム）となります。

### 英語外部試験利用

**出願資格** 以下の①～④の条件を全て満たすことが必要です。

- (1)本学を第一志望とし、本学への入学を強く望む者。  
合格した場合は本学へ入学することを確約できる者。
- (2)日本の学校教育法の規程による、次のいずれかに該当する者。
- ①高等学校または中等教育学校を2023年4月1日から2026年3月31日までに卒業または修了（見込み）の者。
- ②通常の課程による12年の学校教育を2023年4月1日から2026年3月31日までに修了（見込み）の者。
- ③外国の教育制度で学校教育における12年以上の課程を2023年4月1日から2026年3月31日までに修了（見込み）の者。<sup>注1）</sup>
- ④文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を2023年4月1日から2026年3月31日までに修了（見込み）の者。<sup>注2）</sup>
- (3)出願時に高等学校成績全体の学習成績の状況が4.1以上である者。<sup>注3）</sup>
- (4)これまで本学の総合型選抜＜4月入学専願＞<sup>注4）</sup>に出願していない者。

### 理数探究利用

**出願資格** 以下の①～④の条件を全て満たすことが必要です。

- (1)本学を第一志望とし、本学への入学を強く望む者。  
合格した場合は本学へ入学することを確約できる者。
- (2)日本の学校教育法の規程による、次のいずれかに該当する者。
- ①高等学校または中等教育学校を2023年4月1日から2026年3月31日までに卒業または修了（見込み）の者。
- ②通常の課程による12年の学校教育を2023年4月1日から2026年3月31日までに修了（見込み）の者。
- ③外国の教育制度で学校教育における12年以上の課程を2023年4月1日から2026年3月31日までに修了（見込み）の者。<sup>注1）</sup>
- ④文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を2023年4月1日から2026年3月31日までに修了（見込み）の者。<sup>注2）</sup>
- (3)出願時に高等学校成績全体の学習成績の状況が4.0以上で、かつ数学または理科の学習成績の状況が4.2以上である者。<sup>注3）</sup>
- (4)これまで本学の総合型選抜＜4月入学専願＞<sup>注4）</sup>に出願していない者。

### 出願書類

- ①入学願書  
②高等学校調査書  
●出願時の高等学校成績全体の学習成績の状況が4.1以上であることが前提です。
- ③推薦状2通（所定用紙）  
●高等学校の担任または教員1通、その他（親族・本学の専任教職員以外）1通
- ④小論文（所定用紙：1,500字以内）  
⑤学校内外における自己活動歴と自己分析（所定用紙：800字以内）  
⑥英語の能力を証明する書類（2023年10月1日以降に受験したスコア）  
●IELTS、TOEFL iBT、英検、Cambridge English QualificationsまたはGTEC（4技能版）のいずれかの公式スコア（英検、Cambridge English Qualificationsは合格したものに限る）

注1)…外国の教育制度による課程を修了（見込み）の者は、出願資格(3)の成績基準について事前に本学に問い合わせること。  
注2)…当該在外教育施設の公式な卒業時期が4月以降の場合、「2023年4月1日から2026年3月31日までに修了（見込み）の者」を「2023年9月1日から2026年8月31日までに修了（見込み）の者」に読み替え、9月入学を認める場合がある。該当する在外教育施設に在学している者は出願期間前に本学に問い合わせること。  
注3)…高等学校在学中に留学した者で、留学中に修得した単位が卒業に必要な単位として編入されている場合は、留学中の成績を含めても学習成績の状況が4.1を損なわないことを在学する高等学校長が認めていること。  
・日本の高等学校在学中の学習成績の状況が4.1以上であることが前提です。  
注4)…2025年度までの総合型選抜を含む。

### 出願書類

- ①入学願書  
②高等学校調査書  
●出願時に高等学校成績全体の学習成績の状況が4.0以上で、かつ数学または理科の学習成績の状況が4.2以上であることが前提です。
- ③推薦状2通（所定用紙）  
●高等学校の担任または教員1通、その他（親族・本学の専任教職員以外）1通
- ④学校内外における自己活動歴と自己分析（所定用紙：800字以内）  
⑤自然科学分野の自主研究あるいは「理数探究基礎」や「理数探究」の授業で主体的に取り組んだ研究成果の要約（所定用紙：1,500字程度）

注1)…外国の教育制度による課程を修了（見込み）の者は、出願資格(3)の成績基準について事前に本学に問い合わせること。  
注2)…当該在外教育施設の公式な卒業時期が4月以降の場合、「2023年4月1日から2026年3月31日までに修了（見込み）の者」を「2023年9月1日から2026年8月31日までに修了（見込み）の者」に読み替え、9月入学を認める場合がある。該当する在外教育施設に在学している者は出願期間前に本学に問い合わせること。  
注3)…高等学校在学中に留学した者で、留学中に修得した単位が卒業に必要な単位として編入されている場合は、留学中の成績を含めても学習成績の状況が4.0以上で、かつ数学または理科の学習成績の状況が4.2以上を損なわないことを在学する高等学校長が認めていること。  
・日本の高等学校在学中の学習成績の状況が4.0以上で、かつ数学または理科の学習成績の状況が4.2以上であることが前提です。  
注4)…2025年度までの総合型選抜を含む。



## 総合型選抜＜4月入学専願＞〔英語外部試験利用〕〔理数探究利用〕〔IBDP利用〕

### IBDP利用

**出願資格** 以下の①～④の条件を全て満たすことが必要です。

- ① 本学を第一志望とし、本学への入学を強く望む者。  
合格した場合は本学へ入学することを確約できる者。
- ② 2023年4月1日から2026年3月31日までに、国際バカロレア・ディプロマ（IB Diploma）取得（見込み）の者。
- ③ 国際バカロレア・ディプロマ・プログラム（IBDP）において「日本語 A」（HL・SLいずれか）を履修済みまたは履修中であること。
- ④ これまで本学の総合型選抜＜4月入学専願＞<sup>※1）</sup>に出願していない者。

注1）… 2025年度までの総合型選抜を含む。

※国際バカロレア認定校であれば、学校教育法第1条に規定されている高等学校・国内外インターナショナルスクール等にかかわらず出願可能です。

※日本語DP、英語DPいずれも出願可能です。

※IB Diploma取得見込み者は、当該ディプロマを取得できない場合は本学への入学を認められません。

### 出願書類

- ① 入学願書
- ② IB Diploma Final GradesまたはPredicted Grades
- ③ 高等学校最終学年を含む3学年分の学業成績証明書
- ④ 推薦状2通（所定用紙）
  - IBコーディネーター・担任またはそれに準ずる学校関係者1通、その他（親族・本学専任教職員以外）1通
- ⑤ 課題論文（Extended Essay）の内容と成果（見込み）の要約（所定用紙、日本語：1,500字以内）
- ⑥ 学校内外における自己活動歴と自己分析（所定用紙、日本語：800字以内）
  - CASへの取り組みについて
- ⑦ 英語の能力を証明する書類（2023年10月1日以降に受験したスコア）
  - IELTS、TOEFL iBT、英検、Cambridge English Qualifications または GTEC（4技能版）のいずれかの公式スコア（英検、Cambridge English Qualifications は合格したものに限る）
  - IBDP で「英語 A: English A (‘Literature’ または ‘Language and Literature’)」を履修済みまたは履修中の者であれば、上記の公式スコアの提出は任意です。

### 2025年度 選抜結果

（「英語外部試験利用」「理数探究型」「IB認定校対象」の3つの区分の合算）

| 志願者  | 合格者  |
|------|------|
| 367人 | 117人 |

※ 2026年度以降は、「英語外部試験利用」「理数探究利用」「IBDP利用」

## FAQs

### 総合型選抜＜4月入学専願＞について

#### 調査書

**Q.** 高等学校の調査書ですが、2期制のため、出願期間の時点では、2年の終わりまでの成績しか提出できません。それでもよいのでしょうか？

**A.** 出願期間に提出できる最新の成績を求めているので、その時点で3年前期の成績が出ていない場合は、2年までの成績でかまいません。

**Q.** 「数学または理科の学習成績の状況が4.2以上である者」の計算方法で、1教科のみの学習成績の状況の計算はどうやって行うのでしょうか？単純にプラスして、科目数で割るということでしょうか？

**A.** 出願までに成績が出ている数学または理科において履修した全ての科目の学習成績の状況です。

#### 英語の能力を証明する書類

**Q.** 英語能力証明では何点(級)くらい取っていればよいですか？

**A.** 書類選考では、高校の成績、英語能力だけでなく、小論文や自己活動歴など、提出された全ての書類に基づき選考を行いますので、とくにスコアの指定はありません。

#### その他の提出書類

**Q.** 自己活動歴を800字以内の文章で書くと思いますが、新聞の切り抜きや写真などを一緒に提出してもよいですか？また小論文や自己活動歴を書くときに、原稿用紙に図表や写真を貼り付けて説明してもよいですか？

**A.** 文章のみで説明してください。自分自身の意見や考えを指定された長さの文章にまとめる能力があるかということも問われています。

**Q.** 研究成果の要約は、中学校時代に取り組んだ自然科学分野の自主研究や高校の理数探究で実施したグループ研究でもよいのですか？

**A.** 高校時代に発展させたものであれば、中学時代に開始した自主研究でもかまいません。グループ研究は、研究全体における志願者個人の貢献や志願者個人による研究全体像の説明が求められます。

## 総合型選抜＜4月入学＞

### 総合型選抜＜4月入学＞帰国生

十分な日本語能力を持ち、なおかつ自らの海外経験をリベラルアーツにおいて生かし開花させる資質を持つ学生を広く求めています。そのため、英語の試験としてIELTS、TOEFLまたはCambridge English Qualificationsの成績を利用し、コミュニケーションツールとしての英語力を測る一方で、日本語による書類選考と面接を通して深い洞察力や批判的かつ論理的な分析力を評価し、ICUが帰国生に求める資質が備わっているかどうかを確認します。

**入学後の必修語学プログラムについて：** 本選抜により入学した場合、卒業要件上の必修語学科目は「英語」（リベラルアーツ英語プログラム）となります。

#### ▶教養学部（アーツ・サイエンス学科）

| 募集人員 | 出願期間                                                      | 選考方法 |           | 試験日      | 合格発表日    | 入学手続締切日  |
|------|-----------------------------------------------------------|------|-----------|----------|----------|----------|
| 35名  | 〔Web出願期間〕<br>7月1日(火)～7月8日(火)<br><br>〔出願書類提出期限〕<br>8月7日(木) | 一次   | 書類選考      | ———      | 9月5日(金)  | 10月8日(水) |
|      |                                                           | 二次※  | オンライン個人面接 | 9月13日(土) | 9月22日(月) |          |

● 2026年度入学者選抜の詳細は、必ず入学試験要項で確認してください。総合型選抜＜4月入学＞帰国生の要項は2025年5月下旬頃から本学ウェブサイト<https://www.icu.ac.jp/admissions/>よりダウンロードできます。

※ 第一次選考の合格者に対して面接を行います。

**出願資格** 以下の条件を全て満たすことが必要です。

- ① 外国の教育制度で中・高等学校を通じ2年以上継続して教育を受けた者。
- ② 国内外を問わず、当該国の学校教育における通常の12年以上の課程を2024年4月1日から2026年3月31日までに修了（見込み）の者。

### 出願書類

- ① 入学願書（志望理由、ショートエッセイ、課外活動、表彰歴等を含む）
- ② 高等学校最終学年を含む3学年分の学業成績証明書
- ③ 高等学校の概要（認定機関、カリキュラム、成績評価方法など）が記載されているSchool Profile 等の資料
- ④ 高等学校の卒業（見込み）証明書
- ⑤ 外国の教育制度の在学期間証明書  
（外国の教育制度で在学していた期間および学年を証明する書類）
- ⑥ 英語の能力を証明する書類（2023年9月1日以降に受験したスコア）
  - IELTS、TOEFL iBT または Cambridge English Qualifications のいずれかの公式スコア（Cambridge English Qualifications は合格したものに限る）
- ⑦ 推薦状2通（所定用紙）
  - 推薦者は親族・本学専任教職員以外。2通のうち1通は、高等学校最終学年を含み遡って3年間の間に在学した高等学校の教職員。

出願資格や書類について疑問がある場合には、出願期間が始まる前にアドミッションズ・センター（admissions-center@icu.ac.jp）に問い合わせてください。

### 2025年度 選抜結果(帰国生)

| 志願者  | 合格者  |
|------|------|
| 332人 | 107人 |

## FAQs

### 総合型選抜＜4月入学＞帰国生について

**Q.** 出願資格の「中・高等学校を通じ2年以上」とは外国の制度ではどの学年を指しますか？

**A.** 12年の課程における7学年目以降（日本の中学校および高等学校に相当する6学年間）のうち2年、または13年の課程における8学年目以降のうちの2年となります。

**Q.** 日本の高校で国際バカロレアのコースを取っていますが、出願資格はありますか？

**A.** 国際バカロレア（IB）は外国の教育制度とみなすため、IBコースに在籍しIBディプロマ取得（見込み含む）であれば出願できます。ただし、取得見込みで出願し、合格された場合は、入学前までに当該ディプロマを取得することが必須となります。

**Q.** ICUのほかの入学者選抜と併願できますか？

**A.** それぞれの選考の出願資格を満たせば併願できます。ただし、総合型選抜＜4月入学＞帰国生で合格し、入学手続きを済ませた場合は、学校推薦型選抜＜4月入学専願＞での出願はできません。



# 総合型選抜＜4月入学＞

## 総合型選抜＜4月入学＞社会人

### ▶教養学部（アーツ・サイエンス学科）

| 募集人員 | 出願期間                                                  | 試験日       | 合格発表日    | 入学手続締切日  |
|------|-------------------------------------------------------|-----------|----------|----------|
| 5名   | [Web出願期間] 10月14日(火)～10月21日(火)<br>[出願書類提出期限] 10月22日(水) | 11月22日(土) | 12月1日(月) | 12月8日(月) |

●2026年度入学者選抜の詳細は、必ず入学試験要項で確認してください。総合型選抜＜4月入学＞社会人の要項は2025年6月中旬頃から本学ウェブサイト <https://www.icu.ac.jp/admissions/> よりダウンロードできます。

**出願資格** 以下の①～③のいずれかに該当するもので、かつ社会経験のある者

- ①日本の高等学校もしくは中等教育学校を2021年3月31日以前に卒業した者
- ②日本の学校教育制度における通常の課程による12年の学校教育を2021年3月31日以前に修了した者
- ③大学入学資格検定または高等学校卒業程度認定試験を2021年3月31日以前に合格した者で、2026年3月31日までに23歳に達する者

### 試験科目

本学にて小論文の試験および個人面接を実施

出願書類の一部として英語外部試験（IELTS、TOEFL iBT、TOEIC（L&R）いずれかの公式スコア）の提出が必須となります。

2023年11月1日以降に受験したスコアをご提出ください。

### 2025年度 選抜結果

| 志願者 | 合格者 |
|-----|-----|
| 6人  | 6人  |

# 総合型選抜＜4月／9月入学＞

## 総合型選抜＜4月／9月入学＞English Language Based Admissions

Type A

Type B

The following is information for degree-seeking (Regular/Transfer) students.

For non-degree-seeking status such as One-Year-Regular student or *Kenkyusei* (Special Student), refer to the information on our website.

In line with its goal to cultivate responsible global citizens, ICU seeks to admit students, irrespective of nationality, who can strive academically and personally at ICU. Type A applicants for English Language Based Admissions (April/September Entry) undergo a documentary screening process in English, which requires the submission of SAT, ACT Plus Writing, IB, or GCE A Level scores. If they do not fall into the Type A criteria\*, applicants take an online interview besides the documentary screening (this track is called Type B). Admission decisions are made holistically, and all the components are equally important, from academic transcripts, application essays, and letters of recommendation to the standardized test scores (for Type A applicants) or the online interview (for Type B applicants). The admissions process aims to identify students who can perform at a superior level in a liberal arts environment. Moreover, coming from diverse educational and cultural backgrounds, students are expected to enrich the ICU student body with different and innovative ways to meet the challenges of the new global age.

\*Depending on your educational background, there are some cases where you may not be able to proceed with the Type B application. Please be sure to check the latest Admissions Guide for the admission year for which you are applying.

Students entering through this admissions route must complete the Japanese Language Program (JLP) as part of their graduation requirements.

| Quota | Entry                                                           | Application Period <sup>*2</sup>                                                                                            | Online Interview (Only for Type B) | Notification of Decisions | Deadline for Matriculation Fee  |
|-------|-----------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------|---------------------------|---------------------------------|
| 100   | April 2026<br>Type A Type B                                     | Online entry: Oct. 1(Wed) – Oct. 9(Thu), 2025<br>Deadline for submission of all application documents: Oct. 9(Thu), 2025    | Nov. 22(Sat), 2025                 | Dec. 1(Mon), 2025         | Feb. 2(Mon), 2026 <sup>*3</sup> |
|       | September 2026 First Application Period<br>Type A <sup>*1</sup> | Online entry: Jan. 6(Tue) - Jan. 14(Wed), 2026<br>Deadline for submission of all application documents: Jan. 14(Wed), 2026  | —                                  | Feb. 27(Fri), 2026        | June 1(Mon), 2026               |
|       | September 2026 Second Application Period<br>Type A Type B       | Online entry: Feb. 16(Mon) - Feb. 26(Thu), 2026<br>Deadline for submission of all application documents: Feb. 26(Thu), 2026 | Apr. 3(Fri), 2026                  | Apr. 17(Fri), 2026        | June 1(Mon), 2026               |

<sup>\*1</sup> The first application period for September Entry is only available for Type A applicants, not for Type B applicants.

<sup>\*2</sup> One year interval is required for reapplication. For example, if you have applied to ICU for September 2025 entry, you may not reapply for April 2026 entry but may reapply for September 2026 entry. Similarly, if you have applied for April 2026 entry, you may not reapply for September 2026 entry but may reapply for April 2027 entry.

<sup>\*3</sup> Spring Term Tuition and Facilities Fee must be paid together with the Matriculation Fee for April Entry.

### Eligibility

#### [ Regular Students (First-Year Students) ]

- Applicants must have finished at least 12 years of formal education before enrollment at ICU.

#### [ Transfer Students (Second-Year Transfer Students) ]

Applicants must meet the criteria for Regular Students (First-Year Students) and also meet one of the following criteria at the time of enrollment to ICU:

- Completed at least one academic year of a bachelor's degree program as a degree-seeking student (excluding the period of leave of absence, if any) or
- Completed an associate's degree at an institution of higher education (university/college).

Criteria for Type A and Type B Applications:

**Type A** : Those who meet any of the following criteria must proceed via Type A.

- (1) Obtain a Japanese or US High School Diploma from an officially accredited school by the time of enrollment to ICU
- (2) Have an IB Full Diploma or UK GCE A Level by the time of enrollment to ICU
- (3) Do not meet either of the above (1) and (2) but will have completed secondary education with qualifications for university entrance in their country/region/educational system AND are able to submit SAT or ACT Plus Writing test scores at the time of application

**Type B** : Type B is only available for those who DO NOT meet the Type A criteria\* but have completed secondary education with qualifications for university entrance in their country/region/educational system.

\*Depending on your educational background, there are some cases where you may not be able to proceed with the Type B application, but must proceed with the Type A. For more details, please check the latest Admissions Guide for the admission year for which you are applying.

### Application Documents

#### 1) Application Form

#### 2) Personal Statement

#### 3) Short Essay

#### 4) Official Transcript

#### 5) School Report (in a designated form)

#### 6) Proof of English Proficiency (IELTS or TOEFL)

Minimum requirement: IELTS 6.5 or TOEFL iBT 79

#### 7) Two Letters of Recommendation

For Regular Students: Must be submitted from high school teachers

(one must be from an instructor who teaches a core academic subject)

For Transfer Students: Must be submitted from college/university faculty members

#### 8) SAT/ACT Plus Writing/IB/GCE A Level (only for Type A applicants)

Type A applicants must submit any of the following scores or certificates:

・SAT or ACT Plus Writing score report

・IB Full Diploma (Final Grades or Predicted Grade report)

・GCE A Level certificates (Final Grades or Predicted Grade report)

\*Although the details vary by educational background, additional documentation will be required to demonstrate the applicant's (prospective) qualifications for university entrance in their country/region/educational system in general.

### Admissions Results in Previous Years (ELBA)

| Enrollment     | Applicants | Admitted |
|----------------|------------|----------|
| September 2024 | 379(16)    | 192(7)   |
| April 2025     | 180(10)    | 95(5)    |

The number in parentheses indicates the number of transfer students.

## FAQs

### About English Language Based Admissions

**Q.** When do I receive the final admissions decision if I apply with predicted grades?

**A.** There are no conditional offers. You will receive the final admissions decision on the Notification of Decisions date.

**Q.** I am a native speaker of English. Do I still need to submit the proof of English proficiency such as TOEFL?

**A.** A proof of English proficiency including TOEFL is optional if you  
1) have spent both junior and senior high school years – the last continuous six school years – at an institution in which English is the language of instruction, OR 2) are an IB candidate and have taken IB English A (“Literature” or “Language and Literature”).

## 総合型選抜＜4月／9月入学＞EJU（日本留学試験）利用

「総合型選抜＜4月／9月入学＞EJU(日本留学試験)利用」では、第一言語が必ずしも日本語でも英語でもない、多様な学修背景を持ち、自己の文化的背景を日本と世界で生かす志のある人を求めています。日本留学試験の成績やIELTSまたはTOEFLのスコア等を利用した書類選考を行い、日本語と英語による面接を通して、ICUが求める資質を備えているかどうかを評価します。

### 入学後の必修語学プログラムについて：

本選抜により入学した場合の卒業要件上の必修語学科目は、原則リベラルアーツ英語プログラム(ELA)です。ただし出願時にIELTS6.5、TOEFL iBT79以上のスコアを提出した場合、必修語学科目として日本語教育プログラム(JLP)の選択が可能です。出願後に必修語学科目の変更はできません。なお、必修語学科目がリベラルアーツ英語プログラム(ELA)の場合も、日本語教育プログラム(JLP)のプレースメントテストを受け、能力に応じた日本語科目を選択科目として履修することが可能です。

### ▶教養学部（アーツ・サイエンス学科）

| 募集人員 | 入学時期      | 出願期間                                                | 選考方法 |                   | 試験日      | 合格発表日    | 入学手続締切日 |
|------|-----------|-----------------------------------------------------|------|-------------------|----------|----------|---------|
| 15名  | 4月入学／9月入学 | [Web出願期間] 12月1日(月)～12月9日(火)<br>[出願書類提出期限] 12月10日(水) | 一次   | 書類選考              | —        | 2月13日(金) | 3月9日(月) |
|      |           |                                                     | 二次   | オンライン個人面接（日本語・英語） | 2月21日(土) | 2月27日(金) |         |

●2026年度入学者選抜の詳細は、必ず入学試験要項で確認してください。総合型選抜＜4月／9月入学＞EJU（日本留学試験）利用の要項は2025年9月下旬頃から本学ウェブサイト <https://www.icu.ac.jp/admissions/> よりダウンロードできます。



# 総合型選抜＜4月／9月入学＞

# 私の受験体験

## 総合型選抜＜4月／9月入学＞EJU（日本留学試験）利用

**出願資格（共通）** 以下の(1)、(2)の条件を全て満たすことが必要です。

- (1) 国籍を問わず外国の教育制度のもとで高校最終学年から遡って継続して6年以上教育を受けた者（入学日前日※までに受ける見込みの者を含む）。
- (2) 次の(a) (b) (c)のいずれかに該当する者
- (a) 外国において、学校教育における12年以上の課程（12年未満の課程の場合はさらに文部科学大臣から指定された準備教育課程）を修了した者（入学日前日※までに修了見込みの者を含む）、またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者。
- (b) アビトゥア資格、バカロレア資格などを取得の者（入学日前日※までに取得見込みの者を含む）。
- (c) 本学による個別の入学審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、入学日前日※までに18歳に達する者。
- ※4月入学の場合は2026年3月31日、9月入学の場合は2026年8月31日を指しています。

- (注) ・日本国籍を有しない者で、入学時までには有効な中長期の在留資格を保持しない場合、4月に入学することができません。  
出願時に9月入学を選択してください。
- ・総合型選抜＜4月／9月入学＞EJU（日本留学試験）利用の4月入学と9月入学の両方に出願することはできません。
- ・出願資格の詳細については本学ウェブサイトまたは入学試験要項でご確認ください。

### 出願書類（共通）

- 入学願書
- 高等学校最終学年を含む3学年分の学業成績証明書
- 高等学校の概要（認定機関、カリキュラム、成績評価方法など）が記載されているSchool Profile等の資料
- 12年以上の課程を修了したこと、または修了見込みであることを証明する書類
- 「日本留学試験」の成績の写し  
指定科目:「日本語・総合科目・数学（コース1または2）」もしくは「日本語・数学（コース2）・理科（物理・化学・生物から2科目選択）」  
出願言語: 日本語  
利用可能な成績: 2024年6月／11月および2025年6月／11月実施分のいずれか1回
- IELTS または TOEFL iBT いずれかの公式スコア（2024年1月1日以降に受験したスコア）

### 過去の選抜結果（EJU利用）

| 入学時期    | 志願者 | 合格者 |
|---------|-----|-----|
| 2024年9月 | 9人  | 4人  |
| 2025年4月 | 46人 | 8人  |

## FAQs

### 総合型選抜＜4月／9月入学＞EJU（日本留学試験）利用について

**Q.** ICUのほかの入学者選抜と併願できますか？

**A.** それぞれの選考の出願資格を満たせば併願できます。

**Q.** 4月1日の入学時までには有効な日本の在留資格を持っていますが、4月入学に出願できますか？

**A.** 日本国籍を有しない者で、入学時までには有効な中長期の在留資格（「留学」「永住」等。「短期滞在」は不可）を保持しない場合、4月に入学することができません。出願時に9月入学を選択してください。

**Q.** ICUの日本語科目は必ず履修しなければなりませんか？

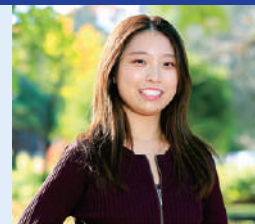
**A.** ICUでは、バイリンガル教育を実践しています。本選抜による入学者は、英語の語学プログラム（リベラルアーツ英語プログラム）が必修となりますが、日本語の語学プログラム（日本語教育プログラム）のプレースメントテストを受けることが可能です。積極的にチャレンジし、日英両語を身に付けてください。

※出願時にIELTS6.5、TOEFL iBT79以上のスコアを提出した場合、必修語学科目として日本語教育プログラム（JLP）を選択することが可能です。

### 一般選抜

幅広い分野や社会問題に触れ情報収集しておくことで強みになる。

総合教養【ATLAS】科目



津原 琴音

教養学部 2年 兵庫県／葦合高等学校出身

ATLASは、これまで身に付けてきた全ての知識を生かすチャンスがある試験だと思います。専門的な知識が過度に要求されることはない印象なので、得意科目がなくてもチャレンジしやすく、幅広い分野や社会のさまざまな話題に興味を持ち学んできたことは問題を解く際にきっと役立つはずです。私の場合は、個人的に芸術に関心があったことや、以前に国公立大学の受験を考えていて不得手ではあるものの理系科目を勉強していたことが功を奏しました。また、2024年度入試のATLASで取り上げられた里地里山や森林に関するテーマは、運良く高校時代の探究活動で扱った内容と重なっており、経験を振り返りながら楽しく問題を解くことができました。対策として、社会問題に対してアンテナを張り、過去を含めた世の潮流を大まかに把握しておくことやほかの受験科目と同様に過去問題を解いてATLAS独自のスタイルに慣れておくことが有効であると思います。

### 一般選抜

日頃からさまざまな分野の長文に触れておくことをお勧めします。

人文・社会科学科目



石原 莉々

教養学部 2年 埼玉県／浦和西高等学校出身

ICUの過去問題を見て感じたことは、さまざまなテーマから出題されること、読解すべき文章量がとても多いということです。このため、日頃から長文に慣れること、短時間で必要な情報を抽出し内容を理解できるようになることを目標に演習を重ねていきました。また、自分には少し難しいと感じる分野の長文にも意識的に触れるようにし、入試当日にどんなテーマが出題されても焦らないようにも努めました。そうした努力を続けるうち、入試、入学前から少しずつ、自身の中にある無関心や偏見などの垣根を取り払い、何事に対しても興味を持ちながら考える、という習慣が身に付いていたように思います。ICUを志望する皆さんの中にも、過去問題を見て膨大な文章量に驚いてしまわれる方がいるかもしれませんが、しかし根気強く練習を重ねれば、自分でも信じられないくらいの読解力が身に付きます。時間がかかる過程ではありますが、諦めずに続けてみてください。

#### 入学者選抜に関するお問い合わせ先

ICUアドミッションズ・センター E-mail: admissions-center@icu.ac.jp



# 私の受験体験

## 一般選抜

思考して気付きや発見が  
広がるワクワクを、  
入試で体験してほしい。

自然科学科目 ※2025年度科目名



宮野 太郎

教養学部 2年 愛知県／愛知高等学校出身

ICUの一般選抜を一言で表せば、「面白い」です。例えば、あるテーマに関して異なる分野から複数の論文が提示され、各論文の見解を基に回答するなど、テキストを読み解きながらもさまざまな発見や気付きを得ることができる入試でした。こうした入試を楽しみながら突破するためには、表面的な暗記中心の勉強法はお勧めできません。数学であれば、一つの問題に対して一つの解き方を覚えるという勉強方法ではなく、数学的な考え方や論理の組み立て方を知り、それをほかの分野だけでなく他の科目に応用して考えを深めていくような思考トレーニングを続けることをお勧めします。これは現在学んでいて感じるのですが、ICUの授業は文献や資料などを読み解き、先生や学生と発展的な議論を深めていくものばかりです。今にして思えば「あの入試はそうした学びの予行演習みたいなものだったのだ」と実感します。皆さんにも、考え抜いて気付きや発見が広がるワクワクを、ICUの一般選抜で体験してほしいと思います。

## 一般選抜（英語外部試験利用）

ICUの受験に向けた努力は、  
入学後の学びや成長に  
必ず生きてくる。



脇坂 滉

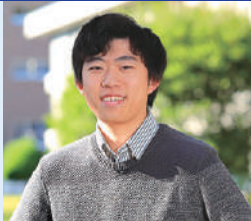
教養学部 2年 京都府／花園高等学校出身

英語外部試験利用を選択したのは、出願に必要な英語資格を持っていたことが理由です。入試においても語学力は大切だと考えていたので、高校の英語の授業にはとくに力を入れて臨みました。また、ICUの入試問題は個性的だと聞いていたので、慣れるために過去問を集中して解くトレーニングを続けました。実際の入試においては、記憶を探るのではなく、その場で考えることに重きを置いた試験問題が多かったような気がします。第一次選考の後は塾の先生にお願いをして面接練習を繰り返しました。面接も思考を巡らせながら質疑を繰り返す内容が多く、全体を通して思考力を問われている印象を受けました。とにかく、幅広い分野について学ぶ機会をICUの入試は提供してくれていると感じ、受けていてとても楽しかったです。ICUの受験は、英語資格、総合教養、面接とさまざまな対策が必要で大変に感じる人も多いと思います。しかし受験に向けた努力は、入学後の学びや自身の成長に必ず生きてきます。皆さんも手を抜かず頑張ってください。

## 一般選抜

集中力がものをいう入試。  
英語が得意な人も  
念入りな準備を。

英語科目



林田 航輝

教養学部 2年 神奈川県／サレジオ学院高等学校出身

ICUの英語試験はリスニング、リーディング共に量があり、かなり集中力を要するので入念な準備が必要だと感じていました。リーディングに関しては、ニューヨークタイムズの電子版記事を毎日1時間ほど読み続け、わからない単語は都度辞書で調べる「不明単語駆逐作戦」を実行して語彙力を高めるようにしました。リスニングに関しては、知的好奇心をくすぐるコンテンツが多数の動画配信サイトにあり、それらを活用していました。具体的には、1回目は字幕をつけずに視聴し、2回目は字幕をつけ、1回目に聞き取れなかった単語の確認をしていました。実際に試験を受けてみて「やはり集中力がものをいう試験だ」という印象を持ちました。リスニングもリーディングも題材自体は非常に興味深いものですが、それを素早く理解し解答する必要があります。何も知らずに受験すると、予想以上のボリュームに圧倒されてしまう人もいるのでは、と思うほどです。とにかく「英語は得意だから」と油断せず念入りな準備をしておく。それが私からのアドバイスです。

## 総合型選抜（英語外部試験利用）※2025年度選抜名

「なぜICUでなければ  
ならないか」。  
その熱意をぶつけてほしい。



上原 乃香

教養学部 2年 新潟県／新潟中央高等学校出身

はじめて拉致問題のことを学んだとき、日本の民間人が理由もなく他国へ連れ去られ、現在もお解決されていないことに大きな衝撃を受けました。私にとって身近な国際問題であるこの問題を解決するには、国際的な協力を得るための英語力と、多角的視点で問題を考えるリベラルアーツ的な知識と思考力が必要になると考え、ICUは、そうした自分にとって最適な大学だと思い志望しました。総合型選抜での受験にあたって準備したことは、ニュースや新聞、書籍で社会のさまざまなトピックに触れ、それらへの見解を自分の言葉で論理的に述べられるよう訓練をすることです。また、膨大な数であろう出願書類に目を通す先生方の心をつかむにはどうすればいいかを考え、ICUの献学理念と、私がICUで学ぶことにより実現したいことがいかに合致しているか、すなわち「なぜICUでなければならぬか」を強くアピールするよう心がけました。実際に受験して感じたことは、「やはりICUは“対話”を重視し、こちらの学ぶ意欲を知ろうとしている」という点です。これから受験する皆さんも、自分の熱意を書類と面接で存分に伝えてほしいと思います。

## 2026年度入試での各選抜・科目名称

- 一般選抜(自然科学選択)⇒一般選抜(数理・自然科学)
- 総合型選抜(英語外部試験利用)⇒総合型選抜<4月入学専願>英語外部試験利用
- 総合型選抜(理数探究型)⇒総合型選抜<4月入学専願>理数探究利用
- 総合型選抜(IB認定校対象)⇒総合型選抜<4月入学専願>IBDP利用

- ユニバーサル・アドミッションズ4月入学帰国生選抜⇒総合型選抜<4月入学>帰国生
- ユニバーサル・アドミッションズEJU(日本留学試験)利用選抜(4月/9月入学)⇒総合型選抜<4月/9月入学>EJU(日本留学試験)利用

## 総合型選抜（理数探究型）※2025年度選抜名

面接試験は  
ICUの対話型授業そのもの。



矢木野 龍之進

教養学部 2年 東京都／佼成学園高等学校出身

高校時代にシャープペンシルの構造について研究をするなど工学分野に興味があった点、数学と理科が得意科目だった点を理由にこの入試を選択しました。入試でアピールする研究活動に関しては、小学4年生から400本以上のシャープペンシルを分析し、製品がどのようなコンセプトや人間工学に基づいて生み出されているかを比較した研究内容をメインにプレゼンテーション。ほかにもアントレプレナーシップ活動やインターンシップ活動など、高校時代に力を入れて取り組んできたことをアピールしました。受験を振り返り感じることは、面接試験は、ICUの授業そのものだったということです。面接員の先生方からはさまざまな視点で私の研究について質問があり、その場で自分なりの答えを考える中でも新しい視点が見つかりました。まさに、ICUの「対話型」の授業といえる内容だったと思います。書類選考でも面接でも、そこにたどり着くまでのプロセスをしっかりと評価してもらえる受験方式だと感じたので、ぜひチャレンジしてみてください。

## ユニヴァーサル・アドミッションズ 4月入学帰国生選抜 ※2025年度選抜名

学生との議論や対話が  
好きな先生方がいる大学。



久田 桜子

教養学部 2年 カナダ／Brookwood Secondary School出身

私がこの入試を選択した理由は、高校でのカナダ留学(2年間)で得た経験や、留学で培った英語力を生かせると思ったからです。試験では英語力だけでなく、小論文やインタビューなどを通じて学びへの意欲も評価されます。「成績のみを重視するのではなく、個人の考え方も含めて幅広い観点から私のことを見てもらえる」。そう感じたことも、この入試方法を選ぶ大きな理由になりました。第一次選考の書類選考で提出する小論文については、自分のバックグラウンドである沖縄を通して見える多様性をテーマとし、生まれ育った沖縄の一都市というローカルな視点から見えるインターナショナルな課題について論じました。第二次選考のオンライン個人面接では、提出した小論文の内容を掘り下げような質問があり、返答に対してさらに質問が来るなど、まるで面接員の先生とディスカッションをしているような感覚でした。「学生との議論や対話が好きな先生方がICUにはきっと多いだろう」。そんな期待と共に入学意欲がさらに高まった受験体験でした。

## 総合型選抜（IB認定校対象）※2025年度選抜名

入試対策を通じて、  
自分の興味や自己理解が  
より明確になった。



大庭 真優

教養学部 2年 大阪府／大阪女学院高等学校出身

高校では国際バカロレアのプログラムを履修していたため、その資格を生かしたいと思い「IB認定校対象」を選択しました。入試の準備にあたっては、「なぜICUを志望するのか」や「将来の目標」について徹底的に自己分析を行い、一貫性を意識して小論文を作成しました。課題論文(Extended Essay/EE)の要約に際しては、限られた字数内に収めるためにはどこが重要な要素なのかを見極め、何度も書き直しをしながら頭に叩き込む作業を重ねました。面接やEEのプレゼンテーション対策では、高校のクラスメイトや先生と質問を予想し合いながら、本番直前まで繰り返し練習。こうした準備を通して、単に入試にパスするという目的以上に、将来の目標や自己理解をより明確化することができました。私は、高校時代から商品開発について興味があり、将来はマーケティングやイベント企画、商品開発などに携わりたいと考えていますが、一つの分野にこだわらず心理学や文学などの幅広い分野にも挑戦するつもりです。そして自分の興味や可能性をICUでじっくり見極めたいと思っています。

## ユニヴァーサル・アドミッションズ EJU（日本留学試験）利用選抜（4月入学）※2025年度選抜名

自分の考えを、  
自分の言葉で述べる準備を。



管 理哲

教養学部 2年 中国／南京田家炳高級中学出身

近年目まぐるしく変化する国際情勢や、いまだ解決が見えない世界の貧困問題に私は疑問を抱いており、そうした問題について英語で学び考える環境を求め、ICUを志望しました。EJU利用選抜は、第一言語が中国語である私に最適の入試区分でした。受験の準備としては、EJUで高い点数を取るための勉強から始め、並行して献学の精神や歴史などあらゆる面から大学研究を進めました。第二次選考のオンライン面接での主な質問内容は、私が探究したいテーマについてでした。現在の時事問題を絡めながら深い質問をされ、面接試験でありながらゼミや講義に臨んでいるような印象を持ちました。面接中は質問が聞き取れずに焦った場面もありましたが、どの先生方も親切に応じてください、次第にリラックスして思ったことを伝えられました。心を落ち着けて、自分の考えを自分の言葉で述べる。その心がけを忘れず臨めば、ICUの門戸は自ずと開かれるはずだと。

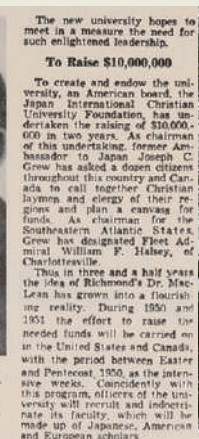




日本とアメリカを中心に世界各地で  
ICU設立のための募金活動が広がりました。



アメリカの新聞記事でICU設立運動  
について報じられました。



1949年6月15日御殿場会議。ICU創立。  
リベラルアーツはここから始まりました。



当時から多国籍の学生たちでにぎわう  
キャンパスがありました。



献学にあたり日本国内だけで1億5千万円  
(当時)もの寄付金が寄せられました。2万  
5千人を超える寄付者の記録は現在もキャン  
パス内にある歴史資料室(図書館本館  
1階)に常設展示されています。

# HISTORY OF ICU 平和を祈り、 問い続け、追い求める。

第二次世界大戦の深い反省から、  
キリスト教精神に基づく日本初のリベラルアーツ・カレッジは誕生した。

## 日本に新しい大学を… 日米双方の願いによって献学されたICU

1945年、第二次世界大戦敗戦から数週間ののち、教育に携わる日本のキリスト者の間で、キリスト教精神に基づく総合大学の設立計画が開始されました。この活動はアメリカに伝えられ、大戦後の国家間の和解と人類愛を求める人々の力強い意志と願いは、この事業に対する支援として具体化されました。日本でも全国で募金運動が展開され、キリスト者・非キリスト者を問わず数多くの人びとからの募金が寄せられ(募金協力者の95%が非キリスト者でした)、東京・三鷹の広大な土地が校地として購入されました。

1949年6月15日には、日米の教会・教育関係者が、静岡県御殿場のYMCA東山荘に集い、大学の基本構想を審議。リベラルアーツ教育の実践である「教養ある市民を教育するに適する一般教育を推進すること」、キリスト教精神の持つ「善とは何か? 真実とは何か?」というような哲学的、精神的な問いかけができる」「民主的思想に基づく人生哲学と実践力を持ち、新しい時代のさまざまな問題を正しく批判し、解決することのできる知性の持ち主」を育むことを目的として、新しい大学のかたちを目指し、国際基督教大学が正式

に創立されました。

1953年3月23日、文部省(当時)より学校法人国際基督教大学の設立認可を得て、同年4月1日開学。さまざまな変遷を経て完成したカリキュラムは、「日英両語を使うバイリンガルの学生を育成する」「幅広い教養教育に重きを置く」という、当時の日本の大学とは全く趣を異にする方針に基づくものでした。

## 日本初のリベラルアーツ・カレッジとして

「教養ある市民を育むための教育を、日本に」。ICUはまだ戦後間もない頃、日米の多くの人びとの熱意によって生まれました。当時まだ日本にはなかった、4年制教養学部大学の始まりです。学問分野の垣根を越えた幅広い学びを可能にするカリキュラム、学生が受け身ではなく自律的に学んでいく少人数教育といった特長は、今も変わりません。このようなスタイルの大学は「リベラルアーツ・カレッジ」と呼ばれ、17世紀に欧米で生まれました。広く学問の土台を築いたうえで専門分野を学ぶことは、欧米ではむしろスタンダードなのです。リベラルアーツ教育、日本語と英語を公用語とするバイリンガリズム、

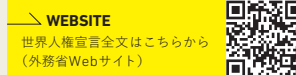
## ICUと「学生宣誓」

私は国際基督教大学の学生として／  
大学の目的と理想との実現のために／  
世界人権宣言の原則にたち／法を尊び／  
学則ならびに指示に従うことを／入学にさいし／  
ここに厳粛に宣誓します。

1953年4月29日、最初の入学式に出席した新入生は一人ひとりが紹介され、それぞれが大学の原則を支持し、国際連合が採択した「世界人権宣言」(1948年12月10日国連総会決議により採択)に従って大学生活を送る旨を記した誓約書に署名しました。同年5月27日には、世界人権宣言の草案に関わったエレノア・ルーズベルト元米大統領夫人がICUに来学して「世界人権宣言と自由」と題した講演会が開かれました。講演終了後、学生たちとの活発な意見交換が行われたことが記録に残っています。今では、この学生宣誓は毎年の入学式における伝統となっています。



入学式では、全員が「学生宣誓」にサイン。その後、代表者による宣誓がなされます。



さらに世界各国の大学と互換可能な諸制度(厳格なGPAや3学期制など▶p.20)を兼ね備えているからこそ、ICUは「世界基準」の大学といえるのです。

## ICUとキリスト教

ICUは、その名前においてキリスト教精神を大学の理念とする強い意志を表明しています。そして国籍、人種、宗教、文化の違いを超えて誰にでも開かれた大学として献学されました。学生がICUで出会う「キリスト教精神」とは、キリスト教が歴史において、そして今も、社会に問いかけている人間の根本的普遍的問いと誠実に向き合うことを意味します。キリスト教精神との出会いは、一人ひとりの良心の自由と責任においてのみ可能となる事柄です。ですから、大学礼拝やキリスト教週間など、学内で行われているプログラムは全て自主的な活動です。カリキュラムでは、「キリスト教概論」を全学必修としていますが、その内容もキリスト教に対する学生の自主的応答を助けることを目標としているのです。ICUは、全ての学生に自らの使命を探究してほしいと願っています。

## CHRONOLOGY

|      |      |                                   |
|------|------|-----------------------------------|
| 1949 | 6/15 | 御殿場会議 国際基督教大学 創立                  |
| 1952 | 4/1  | 語学研修所開設                           |
|      | 4/29 | 献学式挙行                             |
| 1953 | 3/23 | 学校法人国際基督教大学設置認可                   |
|      | 4/1  | 国際基督教大学教養学部献学                     |
| 1957 | 4/1  | 大学院開設                             |
| 1978 | 4/1  | 国際基督教大学高等学校開設                     |
| 1984 | 6/25 | 創立35周年記念式典挙行                      |
| 1999 | 5/26 | 創立50周年記念式典挙行                      |
| 2002 | 9/11 | 一万田記念「平和の鐘」設置                     |
| 2008 | 4/1  | 教養学部6学科制をアーツ・サイエンス学科に改組し、メジャー制を導入 |
| 2010 | 4/1  | 大学院4研究科をアーツ・サイエンス研究科に統合           |
| 2013 | 4/1  | 献学60周年                            |
| 2023 | 4/1  | 献学70周年                            |





## ICUのリベラルアーツ教育を体験する（高大接続プログラム紹介）

2024年度開催事例

### PROGRAM 1

## 「キャンパス宿泊」プログラム

高校生がICUキャンパス内の学生寮に宿泊しながらリベラルアーツ教育に触れる機会として「ICU Global Challenge Forum」「Reconsidering Peace in Liberal Arts」を毎年夏期に開催しています。多様な背景をもつ参加者やICU生（ファシリテーター）と共に、ディスカッションや探究学習を行い、最終日にはグループ発表を行います。

#### プログラム詳細

2025年8月  
実施予定

### Global Challenge Forum 2024 Summer ポストヒューマンの時代を生きる ～人間とは何か、人が人であること～

- 担当教員：生駒 夏美 教授（文学、ジェンダー・セクシュアリティ研究）  
【人間解体 - わたしたちは怪物かもしれない】  
毛利 勝彦 教授（国際関係学、政治学、グローバル研究）  
【国際関係学における人間観と世界観の変容】  
山崎 歴舟 准教授（物理学）  
【ニュートリノはニューロンの夢を見る？】  
森島 泰則 特任教授（心理学）  
【心は脳の産物なのか？そして、コンピューターは心を作り出せるのか？】



2024年度の様子

ICUで行われている一般教育科目の一つである『リベラルアーツから問う「ポストヒューマン論争」』を3泊4日に集約した特別プログラムです。プログラムを通して高校生たちはさまざまな「答えのない問い」を投げかけられ、ICU生（ファシリテーター）と共にディスカッションを重ねていきます。同世代の仲間と対話するなかで打ち解け、互いの意見を聞きながら新たなアイデアへ発展させていく体験は、今後の学びの意欲に繋がるよい刺激となるようです。最終日のポスターセッションでは、各グループが工夫を凝らしたポスターを制作し、互いに発表を行います。教員を交えて活発な意見交換が行われ、さらに学びを深める機会となります。仲間と熟考する中で新たな視点が生まれ、文理を超えたさまざまな分野から学術的にアプローチし、今まで慣れ親しんだ価値観・常識を「問い直す」ことで、ICUのリベラルアーツ教育の一端に触れることができる4日間です。

#### 参加者コメント

講義はとにかく「なるほど」という納得や驚き、「なぜ？」という問いの連続だった。リベラルアーツについて理解しているつもりだったが、実際に体験をすると自分のリベラルアーツに対する想像を超えた学びがあった。（一部抜粋）

#### プログラム詳細

2025年8月  
実施予定

### ICU・ミドルベリー大学共催 Reconsidering Peace in Liberal Arts ～Use Your Voice to "Give Peace A Chance"～（英語開講）

- 担当教員：ICU  
ESKILDSEN, Robert 特任教授（歴史学、日本研究）  
【Stories of War and Peace】  
ALBERG, Jeremiah L. 特任教授（哲学・宗教学、平和研究）  
【Does Difference Cause Conflict?】
- ミドルベリー大学  
MULLINS, Kristen Assistant Director  
(Intercultural and Global Programs)
- プログラムコーディネーター  
EDA, Sanae 客員准教授（言語学）  
ISHIMURA, Alyssa  
(MA Candidate, Middlebury Institute of International Studies)



2024年度の様子

ミドルベリー大学との共催で行われる「英語開講」のワークショップです。ミドルベリー大学は、ICUの協定校であり、全米のリベラルアーツ・カレッジのランキングで常にトップ10に位置する大学です。このプログラムは、ミドルベリー大学の大学院であるミドルベリー国際大学院モントレー校のジェームズ・マーティン不拡散研究センターが主催する高校生向け軍縮・不拡散教育プログラム「Critical Issues Forum」を参考に、日本の高校生向けに企画されました。英語で授業やディスカッションに参加できるレベルの英語運用能力がある高校生を対象としています。国内外から集まった多様な背景（帰国生、インターナショナルスクール在校生、海外在住等）・価値観を持つ参加者がレクチャーやディスカッションを通してさまざまな視点で「平和」についてアプローチし、考えを深めていきます。ゲストスピーカーにはミドルベリー大学（オンライン講義）とICUより教員を迎え、英語を活用して徹底的に考え抜くという体験は、参加者にとって挑戦でもあり、成長できる環境となります。最終日はグループごとにプログラムで学んだことや「自分たちの考える平和」を表現するという課題が与えられ、高校生らしい自由な発想で、映画や紙芝居など独創性にあふれるプレゼンテーションが行われます。大学での学びに必要なアカデミック・スキルを体験しながら、さまざまな専門分野を通して「平和」について学ぶ4日間です。

#### 参加者コメント

Looking at things from different perspectives can really change your thoughts 180 degrees. Talking with many people made me feel this way, and cooperation with other people enabled us to understand each other. （一部抜粋）

### PROGRAM 2

## 「オンライン」プログラム

#### プログラム詳細

2025年度  
継続実施予定

### サイエンスカフェ Science Cafe at ICU 2024



2024年度の様子

自然科学の分野を専門とする教員がサイエンスとリベラルアーツについて話すオンライン・プログラムです。ICUの特徴でもある文理の枠組みを超えた「リベラルアーツで学ぶサイエンス」についてわかりやすく解説し、なぜその分野を志し、現在の研究に至ったのかなど、自身の経験を基に研究テーマ等について話します。ICUらしく対話を重視し、参加者の質問にも一つ一つ丁寧に答えていきます。理系に関心のある文系生徒や、これから文理選択を考える中高生にも参加してもらいたいプログラムです。

#### 過去の開催例

- 化学・環境研究（2025年3月） 貴重な資料の中身を触らずに分析するー素粒子ミュオンを使えばできるー
- 環境研究（2024年7月） 廻るよ廻る、全てが廻る、どうやって!?
- 生物学（2024年3月） 他人の空想？ハエとヒト？
- 物理学（2023年7月） ダイヤモンドってどんな物質？ダイヤモンドって作れるの？
- 情報科学（2023年7月） ～XRとリベラルアーツ～ 現実とバーチャルな世界をつなぐ
- 生物学（2022年12月） ヒトは、ヒトのみで生きるにあらず～リベラルアーツで地球環境を理解する～
- 数学（2022年7月） シューベルトの数の上げの幾何学～現代数学の源流にみるリベラルアーツ
- 生物学（2022年3月） 植物が季節変化を知覚する仕組み

#### プログラム詳細

2025年12月～  
2026年3月  
実施予定

### Global Challenge Forum 2024 Winter



2024年度の様子

リベラルアーツの学びを通して、無限に広がる学問の世界の一端に触れ、主体的な学びの先につながる現実世界の課題に対峙できる次世代の育成を目指すオンライン・プログラムです。複数の分野から3～4コースを設け、少人数でのグループワークやディスカッションを行います。全4回（12月～3月）のオンライン授業では、日本全国から集まる多彩な背景・価値観を持つ高校生やICU生（ファシリテーター）と一緒に、文理の枠組みを超えたICUらしいユニークな学びを体験します。

#### 2024年実施コース

- 岡野 健 教授（物理学、環境研究）  
【ダイヤモンドってどんな物質？ダイヤモンドって作れるの？】
- 園山 千里 教授（文学、日本研究）  
【文学にみる自然の声】
- 有元 健 上級准教授（メディア・コミュニケーション・文化、ジェンダー・セクシュアリティ研究）  
【メディアの力を考えるー記号から情動へー】

### PROGRAM 3

## 「1日体験」プログラム

#### プログラム詳細

### ICU Culture Day

学生一人ひとりが主体性を持って学ぶICUのリベラルアーツ。これを支えるのは、ICU生や教職員が築く「ICUの文化」です。授業だけでなく、キャンパス内の全ての人や場所、モノ、コト、がICUの文化を形成し、この場所でき得られない学びの機会を提供しています。ICU Culture Dayは、対話型授業体験や五感で感じるICUをテーマに「ICUを食べる」、「ICUを聴く」、「ICUを鑑(み)る」、「ICUを歩く」、「ICUを読む」、「ICUを語る」と称したさまざまなイベントを通して、ICUの文化を体験します。



2024年度の様子



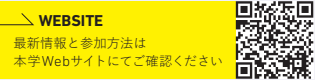


# ICU OPEN CAMPUS2025┃2026

## EVENT INFORMATION

### ▶ オープンキャンパス 事前エントリー制

ICUのオープンキャンパスを各地で開催！ キャンパスの雰囲気を感じ、対話を楽しんでください。



オープンキャンパス 10:00-16:00

東京 三鷹キャンパス

2025 7/19 (SAT) 8/15 (FRI)・16 (SAT) 2026 3/20 (FRI)

ミニ・オープンキャンパス（三鷹キャンパス） 10:00-15:00

Open Campus in English 2025 7/5 (SAT) ICU Science Day リベラルアーツで学ぶサイエンス 2025 11/29 (SAT)

出張オープンキャンパス 13:30-16:30

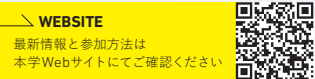
大阪 梅田 アクセス梅田フォーラム（大阪富国生命ビル12F） 2025 6/7 (SAT) 福岡 博多 JR博多シティ 2025 6/22 (SUN) 愛知 名古屋 ウィンクあいち 2025 6/29 (SUN)

Instagramでは、情報を随時更新しています！

ICU マスコット「はちろう」♥

### ▶ その他イベント 完全予約制

ICUでは、オープンキャンパスのほかにもICU生やスタッフと話せるイベントを定期的に開催しています！



#### ICU生と話そう！ オンライン・リベラルアーツ・ラウンジ

高校生・受験生の皆さんが知りたい、聞きたいことをZoomで直接ICU生に聞くことができる双方向型オンラインイベント。毎回異なる学生3名が登場し、ICUでの学び・生活に関するさまざまな疑問・悩み事にお答えします。定期的に開催しています。



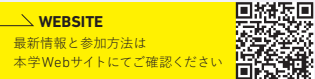
#### ●2025年度スケジュール

| 開催日時      |             | テーマ                       |
|-----------|-------------|---------------------------|
| 9月29日(月)  | 19:00～20:00 | Introduction to ICU（英語開催） |
| 10月27日(月) |             | 学校推薦型選抜                   |
| 11月17日(月) |             | 学生寮                       |
| 1月26日(月)  |             | 総合型選抜（高校1、2年生対象）          |

※スケジュールは予定です。都合により変更となる場合があります。

### ▶ 進学相談会

全国各地で行われる進学相談会に参加しています！

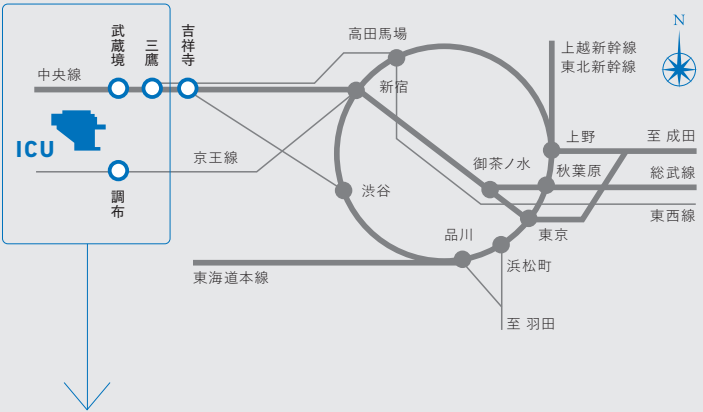


| 場所  | 会場               | 相談会名                 | 開催日              | 開催時間        |
|-----|------------------|----------------------|------------------|-------------|
| 札幌  | ACU-A            | 4大学合同進学フェア           | 2025年 6月 8日(日)   | 13:00～16:30 |
| 茨城  | つくば国際会議場         | 世界を学べる大学2025         | 2025年 9月23日(火・祝) | 12:30～16:30 |
| 群馬  | ピエント高崎ビッグキューブ    | 大学進学セミナー             | 2025年 5月25日(日)   | 11:00～16:00 |
| 東京  | サンシャインシティ        | 大学フェア2025            | 2025年 6月15日(日)   | 11:00～16:00 |
| 神奈川 | パシフィコ横浜 展示ホールA   | 大学進学フェスタ in YOKOHAMA | 2025年10月 5日(日)   | 10:00～16:00 |
| 石川  | 金沢駅もてなしドーム       | 国公立大学＆著名私立大学 進学相談会   | 2025年 9月15日(月・祝) | 12:30～17:00 |
| 静岡  | レイアupp御幸町ビル      | キリスト教6大学進学相談会        | 2025年 6月15日(日)   | 11:00～16:00 |
| 愛知  | ウィンクあいち          | 4大学合同進学フェア           | 2025年 5月18日(日)   | 12:00～17:30 |
| 愛知  | 名古屋サンスカイルーム      | 世界を学べる大学2025         | 2025年10月13日(月・祝) | 12:30～16:30 |
| 京都  | みやこめっせ（京都市勧業館）   | 大学進学フェスタ in KYOTO    | 2025年 9月28日(日)   | 10:00～16:00 |
| 大阪  | 上智大学大阪サテライトキャンパス | キリスト教5大学進学相談会        | 2025年 5月25日(日)   | 11:00～16:00 |
| 兵庫  | 神戸 サンボーホール       | 大学進学フェスタ in KOBE     | 2025年 9月23日(火・祝) | 10:00～16:00 |
| 岡山  | 岡山コンベンションセンター    | 国公立大学＆著名私立大学 進学相談会   | 2025年 8月31日(日)   | 12:30～17:00 |
| 長崎  | 出島メッセ            | 4大学合同進学フェア           | 2025年 6月29日(日)   | 13:00～16:00 |
| 熊本  | 国際交流会館           | キリスト教6大学進学相談会        | 2025年 5月24日(土)   | 11:00～16:00 |

詳細はパブリックリレーションズ・オフィスへお問い合わせください。▶ TEL：0422-33-3058 / E-mail：pro@icu.ac.jp

※諸事情により中止／変更となる場合があります。最新の情報は各イベント公式ウェブサイトにてご確認ください。

## Access



### 遠隔地からICUまで

#### ■航空機利用の場合

東京モノレール  
または京急空港線

JR山手線・  
京浜東北線

JR中央線

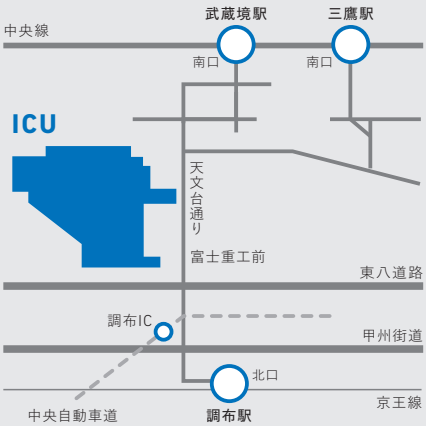
羽田空港第1ターミナル  
駅または羽田空港第2  
ターミナル駅～浜松町  
駅、または京浜急行で  
羽田空港～品川駅

浜松町・品川駅～  
東京駅

東京駅～三鷹駅  
または武蔵境駅

#### ■新幹線利用の場合

東海道・東北・山形・秋田・上越・長野・北陸新幹線で  
東京駅 → JR中央線で東京駅～三鷹駅または武蔵境駅



### 最寄り駅からICUまで

#### ■JR中央線武蔵境駅（南口）

- 小田急バス「国際基督教大学」行き乗車、終点下車（乗車時間約10分、大学構内まで入ります）
- 小田急バス「狛江営業所」、「狛江駅北口」、「吉祥寺駅」行き乗車、「富士重工前」下車（乗車時間約10分）、徒歩10分

#### ■JR中央線三鷹駅（南口）

- 小田急バス「国際基督教大学」行き乗車、終点下車（乗車時間約20分、大学構内まで入ります）
- 小田急バス「武蔵小金井駅」、「調布駅北口（西野御塔坂下経由）」行き乗車、「富士重工前」下車（乗車時間約20分）、徒歩10分

#### ■京王線調布駅（南口）

- 小田急バス「武蔵境駅南口」、「三鷹駅（西野御塔坂下経由）」行き乗車、「富士重工前」下車（乗車時間約20分）、徒歩10分

## Information

国際基督教大学パブリックリレーションズ・オフィス

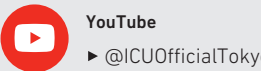
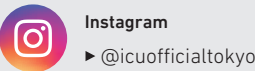
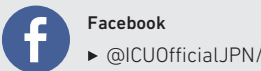
〒181-8585 東京都三鷹市大沢3-10-2

TEL ▶0422-33-3058 FAX ▶0422-33-3355 E-mail ▶pro@icu.ac.jp

<https://www.icu.ac.jp/>



### SNS



国際基督教大学は、教育方針、入学選抜、財政支援、雇用もしくはその他の大学プログラムまたは諸活動の運営にあたって、人種、肌の色または国籍等による差別をいたしません。

ICU does not discriminate on the basis of race, color or national origin in the administration of its educational policies, admission policies, financial aid, employment, or any other University programs or activities.

在校生および卒業生のプロフィール等は発行時のものです。名前・校名・企業名・制度名等については、変更になっている場合があります。

Issued by : International Christian University



## 国際基督教大学 教養学部／アーツ・サイエンス学科

美術・文化財研究  
Art and Cultural Heritage

音楽  
Music

文学  
Literature

哲学・宗教学  
Philosophy and Religion

経済学  
Economics

経営学  
Business

歴史学  
History

法学  
Law

公共政策  
Public Policy

政治学  
Politics

国際関係学  
International Relations

社会学  
Sociology

文化人類学※  
Cultural Anthropology

生物学  
Biology

物理学  
Physics

化学  
Chemistry

数学  
Mathematics

情報科学  
Information Science

言語教育  
Language Education

言語学  
Linguistics

教育学  
Education

心理学  
Psychology

メディア・コミュニケーション・文化  
Media, Communication and Culture

日本研究  
Japan Studies

アメリカ研究  
American Studies

アジア研究  
Asian Studies

ジェンダー・セクシュアリティ研究  
Gender and Sexuality Studies

開発研究  
Development Studies

グローバル研究  
Global Studies

平和研究  
Peace Studies

環境研究  
Environmental Studies

※2026年4月より、人類学メジャーは文化人類学メジャーへ名称が変更になります。



国際基督教大学 パブリックリレーションズ・オフィス  
〒181-8585 東京都三鷹市大沢 3-10-2  
TEL : 0422-33-3058 FAX : 0422-33-3355  
E-mail : pro@icu.ac.jp

<https://www.icu.ac.jp/>



This is our Communication on Progress  
in implementing the Ten Principles of the  
United Nations Global Compact and  
supporting broader UN goals.  
We welcome feedback on its contents.

United Nations  
Academic Impact

ICUは国連グローバル・コンパクト、  
国連アカデミック・インパクトに参加しています。

